

講談社現代新書 二〇一八年三月

下段の数字は二〇一八年三月現在の本体価格(税別)ですが、変わることがございますのでご了承ください。☑マークの作品は電子版配信中です。

書名
サブタイトル

著者名

内容

本体
価格

ISBN

2
光源氏の一生

池田弥三郎

日本最高の文学『源氏物語』を多年研究した著者が、光源氏の一生に焦点をあてて再編成し、その世界を現代にあますところなく再現。源氏物語入門として最適の書。

760

4-06-115402-8

13
論語

現代に生きる中国の知恵

貝塚茂樹

わたしたちの血肉となる人生指針の名言集『論語』を新しい視点で解釈し、その今日的意義を平易に解説。堅苦しい従来の註釈と異なる自由な立場で註釈した書。

700

4-06-115413-3

27
禅のすすめ

佐藤幸治

禅は科学性と宗教性を合わせもつ宗教以上のものだと主張する著者が、心理学者の立場から、その科学性と宗教性を解明し、だれにもできる禅の方法を示した。

720

4-06-115427-3

66
哲学のすすめ

岩崎武雄

根本的なことから「考える」ことの重要性を説いたユニークな哲学入門。生きる上での原理である哲学をさらに深め、より良く生きるための指針となる一冊。

700

4-06-115466-4

78
大学でいかに学ぶか

増田四郎

理論と現実のかけ橋となれ！ 苦難にみちた学究の道歩んだ著者が、その体験を語りつつ、大学・学生の諸問題を分析し、学生本来のあり方を提言する。

720



4-06-115478-8

86
愛に生きる

才能は生まれつきではない

鈴木鎮一

才能は育てられるもの——この強固な信念で、独特の教育法を実践し、江藤俊哉・諏訪根自子氏らを育てた著者が語る、迫力ある体験的才能教育論。

760



4-06-115486-9

105
タテ社会の人間関係

単一社会の理論

中根千枝

感情的なタテのつながりを基盤とした日本の社会の人間関係を分析し、社会構造に関する独自の理論を展開。現代の人間関係に貴重な示唆を与える大ロングセラー。

700



4-06-115505-9

135
日蓮

その生涯と思想

久保田正文

多くの信者を獲得した創価学会、立正佼成会、その源流——日蓮宗。本書は日蓮の人間像を描き、現代に生き続け、影響を与え続ける日蓮思想の本質を追究する。

700



4-06-115535-0

159
弁証法はどういう科学か

三浦つとむ

哲学の遺産としてでなく、科学的な研究への武器として弁証法をとらえ、その核心を身近な話題を例に解説。社会主義国の指導者をもつ理論的な誤りも鋭く指摘する。

780



4-06-115559-8

180

美しい日本の私

その序説

川端康成
サイデンステッカー
英訳併載

ノーベル文学賞受賞記念講演の全文とその英訳文を併載。「日本の心」と「日本人の美意識」を、川端氏独自の文体と美しいことばで綴る全日本人必読の名著！

660

4-06-115580-6

217

道元入門

生の充実を求めるために

秋月龍珉

所詮人生は孤独なのだと思った時、人はなにによって生きればいいのか。偉大な覚者道元の生涯と、その珠玉の言葉を解説しながら、禅の核心に迫る。

740

4-06-115617-9

240

生きることと考えること

森 有正

思想界にユニークな位置を占める著者が、自己の生い立ちから青春時代、パリでの感覚のめざめと深まりなどを語り、生きること、考えることの本質をとらえる。

760

4-06-115640-3

258

日本人の論理構造

板坂 元

「やはり」「せめて」など、一見筋の通らない日本語独特のことばを外国語と比較検討しながら、そこに流れる日本人の論理や心理を浮き彫りにする。

760

4-06-115658-6

285

正しく考えるために

岩崎武雄

思想混迷の現代にあつて、みずからの頭で考え、みずからの足で立つにはどうしたらいいのか。本書は、考える基礎となる精神のあり方、論理をやさしく明快に説いた。

740

4-06-115685-3

293

日本人の意識構造

風土・歴史・社会

会田雄次

日本人とはいったいどういう民族なのか。その独自の発想や行動様式の基盤、不思議な人間関係など、意識構造の根源を西欧文化との対比の中で鋭く追究した話題の日本文化論。

760

4-06-115693-4

297

本はどう読むか

清水幾太郎

本はどのように読めばいいのか。本の選び方、メモのとり方、洋書の読み方に至るまで、豊富な読書経験からあみだした工夫を明かし、マス・メディア時代の読書の意義を考察する。

760

4-06-115697-7

300

適応の条件

日本的連続の思考

中根千枝

日本人の屈折した異文化対応を分析し、そこに投影された〈タテ〉の原理による人間関係と、ウチからソトへの〈連続〉の思考を解明しつつ、国際化時代の日本人の適応条件を考察する。

700

4-06-115700-0

324

美について

今道友信

美とは何か。ひとはいかにして美と出会い、どのようにして美を受け入れてきたのか。最高の美とはいかなるものなのか。本書は芸術の種々相を見すえつつ、美の本質を究めた名著。

740

4-06-115724-8

327

考える技術・書く技術

坂板 元

すぐれた論文やレポートに必要なのは文章技術だけではない。ユニークな発想法や情報整理、構成力や説得術が必須の条件である。本書は楽しいアイデアにみちた知的実用書。

740

4-06-115727-2

331

異常の構造

木村 敏

精神異常の世界を探ることは、人間として生きるということの意味を問うことにほかならないと考える第一線の精神科医が、道元禪や西田哲学をふまえて提起する新しい人間学。

740

4-06-115731-0

350

 第2版
 経済学はむずかしくない

都留重人

現代経済のカラクリは、複雑怪奇にみえる。しかし、経済は人間のもつとも基本的活動であることに変わりはない。だれにでもわかる経済学をめざして、本書は身近な例で解説する。

760

4-06-115750-7

436

知的生活の方法

渡部昇一

日常生活のさわがしさのなかで、自分の時間をつくり、データを整理し、それをオリジナルな発想に結びつけてゆくには、どんな方法が可能か？ 内面の充実を楽しむ知的生活のためのヒントを提示。

720

4-06-115836-8

444

出雲神話

松前 健

国引き、八岐大蛇、国譲りなど、日本神話のなかで出雲の果たす役割は大きい。記紀、風土記、神賀詞などの文献資料をおし、著者独自の巫覡祭祀説によって出雲神話の実像を明らかにした意欲作。

760

4-06-115844-9

501

 ツアラトウストラ私評
 ニーチェとの対話

西尾幹二

「われわれは《幸福》を発明した、といって末人はまばたきをする」——現代の退廃を鋭く予言したニーチェの言葉と著者との対話を通じて、現代の誤れる平等観、精神の墮落に根源的問いを発する。

800

4-06-145501-X

553

創造の方法学

高根正昭

情報洪水のなかで、知的創造はいかにしたら可能なのだろうか。本書は、「何を知るか」でなく「いかに知るか」という問題解決のための方法を、みずからの体験をとおして提示した画期的な書。

740



4-06-145553-2

587

文章構成法

樺島忠夫

何を書けばよいかわからない時、どうするか。主題のみつけ方、トピックの生かし方など内容作りから表現まで、システムティックに文章を作りあげていくノウハウを豊富な実例と体験をもとに公開。

740

4-06-145587-7

590

家族関係を考える

河合隼雄

いま家庭は、従うべきモデルを失い、不幸な歪みを生じている。父・母・子それぞれが自立した人間として個性的に生きるための拠点としての家庭のあり方を、豊富な実例から模索する。

720



4-06-145590-7

606

「般若心経」を読む

紀野一義

「般若心経」という。この世に存在するすべてのものは実体がない。ゆえに迷いも苦しみも、老いも死もなく永遠の安らぎが得られる、と。人生の様々な悩みを通して、「般若心経」の真髓に迫る。

720

4-06-145606-7

620

時刻表ひとり旅

宮脇俊三

時刻表は見るものではない。(読む)ものだ！ 熱烈なる愛読者とその楽しみ方と、数字の羅列の裏に隠された真実をこっそり伝授する。鉄道にゆられて、ふらりと旅に出たくなる。

800



4-06-145620-2

〔解説・原武史〕

648

働くということ

実社会との出会い

黒井千次

人は何のために働くのか、何をやりたいのか。何かをなしとげた時に味わう手応え、自己実現への欲求こそ、労働の本質である。会社勤め十五年の体験をふりかえり、働くことの意味と意義を考える。

740

4-06-145648-2

667

生命いのちある
すべてのものに

マザー・テレサ

「貧しい人びとに背を向けなくてください。その人たちはイエスご自身なのですから」。現代の聖母マザー・テレサが、自身の祈りの言葉を織りませつつ、すべての世代の人びとに生命の尊さを訴える。

720

4-06-145667-9

676

酒の話

小泉武夫

人類誕生以来もつとも親しい友として酒はいつも身近にあった。一杯のビール、一壺のワインから社会や文化は生まれ、変わってきた。飲み方、うまさの秘密、酒の生理学など酒おもしろ読本。

760

4-06-145676-8

698

神と仏

日本人の宗教観

山折哲雄

神と仏を同時に信じるとは？ 肉体からの靈魂の救済をめざす神道。心身一如の状態を理想とする仏教。対照的な二つの宗教はいつも日本人の生活と共にある。民族的アイデンティティに迫った力作。

720

4-06-145698-9

706

ジヨークとトリック

頭を柔かくする発想

織田正吉

笑いによって固定観念のワクを心地よくこわすジヨークは、知性を刺激する、アイディアにみちた古今東西の結晶だ。イソップから、アリスのシャレ、物名、折句をとおし、自由な発想法を教える。

720

4-06-145706-3

722

「知」のソフトウエア
情報のインプット&アウトプット

立花 隆

多様なメディアが発信する膨大な情報を、いかに収集・整理・活用するか。情報の真偽を吟味・加工し、創造的なアウトプットを生み出すコツは何か。ジャーナリズムの鬼才が明かす知的生産の現場学。

740

4-06-145722-5

725

リーダーシップの心理学

国分康孝

組織としての目標達成、集団内の調和、メンバー各自の個性と能力の発揮のために、リーダーは何をなすべきか。機能と人間性のバランスのとれた、自己を生かす人間関係のあり方を考察する。

700

4-06-145725-X

824

森田療法

岩井 寛

心に潜む不安や葛藤を「異物」として排除するのはなく、「あるがまま」に受け入れ、「目的本位」の行動によってすこやかな自己実現をめざす森田療法の理論と実践法をわかりやすく説いた入門書。

700

4-06-148824-4

834

ユダヤ人

上田和夫

国を失いながらも、二千年にわたって民族性を維持してきたユダヤ人。マルクス、アインシュタインら優秀な人物を輩出しながら、なぜこれほど嫌われねばならなかったのか、その秘密を解説する。

760

4-06-148834-1

871

言葉と無意識

丸山圭三郎

現代思想の問いは言葉の問題に収斂する。世界を分節し文化を形成する「言葉」は、無意識の深みでどのように流動しているか。光の輝きと闇の豊饒が混交する無限の領域を探照する、知的冒険の書。

760

4-06-148871-6

898

はじめての構造主義

橋爪大三郎

レヴィ・ストロースの発想と方法の背景に見えてくるソシユール言語学やモースの贈与論、そして数学にたどれる「構造」のルーツ。現代思想の原点に歯切れよく迫る、「本当によくわかる」入門書。

760

4-06-148898-8

916

哲学入門 一步前
モノからコトへ

廣松 渉

世界は何から出来ているのか？ 旧来の実体(モノ)主義的世界像と「主観」客観」図式による認識論は、何をどう誤っているのか？ 量子論や戯曲をモデルに素描する、事(コト)的世界観への第一歩。

760

4-06-148916-X

921

現代思想を読む事典

今村仁司 編

大いなる物語が崩れ、実体が宙吊りされたいま、思索するための有効な言葉は何か。二十世紀の現実と根源的に対決する思想の言葉を取り上げ、現代思想の問題意識の多面体を解きあかす。

1,800

4-06-148921-6

930

フリーメイソン
西欧神秘主義の変容

吉村正和

ゲーテ、ワシントンなど、歴史を彩ったフリーメイソンは数多い。「魔笛」にも描かれた、人間完成への参入密儀。古代と近代、神秘と科学をつなぐネットワークとして、フリーメイソンを読み直す。

720

4-06-148930-5

934

大英帝国
最盛期イギリスの社会史

長島伸一

地球の四分の一を支配し、世界の工場として君臨した大英帝国。植民地支配のしくみ、レジャー、マスコミなど大衆社会の登場、繁栄が生んだ貧困などを通して、帝国の実態と衰亡の因をさぐる力作。

800

4-06-148934-8

958

英語の歴史

中尾俊夫

一人称を「I」と書き、口語でIt's me というのはなぜ？ ノルマンの征服とフランス語の流入、18世紀の学校文法の完成など、文法・発音・語形・語彙がいかに変化してきたかを豊富な例とともに解説。

740

4-06-148958-5

959

東インド会社
巨大商業資本の盛衰

浅田 實

東方の夢、胡椒がシナモンが茶が、ロンドン庶民の食卓に到達した。「楽園」の物資を運ぶ東インド会社は、世界をヨーロッパに収斂させる。貿易を牛耳り、インドを支配した一大海商企業の盛衰を読む。

740

4-06-148959-3

968

ローマはなぜ滅んだか

弓削 達

全世界から巨富を集め、繁栄の限りをつくしたローマ帝国。食卓をにぎわす珍鳥・珍魚。文学に、スポーツに進出する「自由な女」。文化となった愛欲。「永遠」をうたわれた巨大文明の興亡に学ぶ。

740

4-06-148968-2

971

文化大革命

矢吹 晋

「造反有理」から「批林批孔」「四人組」まで、当時の中国はまさに混乱のつぼであった。社会主義における変革とは何か。毛沢東のかかげた夢と現実を検証しつつ、文化大革命の真相を抉り出す。

740

4-06-148971-2

977

哲学の歴史
哲学は何を問題にしてきたか

新田義弘

現代思想の鋭く根底的な問いは、西欧の膨大な知の集積から生まれた。私とは何か？ 他者と言語と世界の迷路をどう切り拓くか？ 哲学が二五〇〇年、問い続けた主題を、現代哲学の視点で捉え直す。

700

4-06-148977-1

987

はじめての中国語

相原 茂

ことばは音。独特な発声法「声調」のコツや「ピンイン」の読み方、書き方は？ 基本文法とひとこと会話をマスターして、五千年の〈ことば〉の世界を知る。中国語への軽妙で明快な第一歩。

800

 4-06-148987-9

989

ミシエル・フーコー
主体の系譜学

内田隆三

ルネサンス、古典主義時代、近代のそれぞれの言説空間を分析し、その外部にある思考の存在様式を解明した、フーコー。知と権力と真理を解明した彼の思想の中心に鋭く迫る。

720

4-06-148989-5

997

空と無我
仏教の言語観

定方 晟

ナーガールジュナの逆説パラドクス「行くものは行かず」が示す、言語のもつ限界と可能性。シャープな論理展開が明らかにする「空」の思想と「無我」の実践とは？ 仏教思想への大胆なアプローチ。

700

4-06-148997-6

1001

今こそマルクスを
読み返す

廣松 渉

マルクスは人間や社会をどう把握、「資本論」で何を言っているのか？ 資本主義社会の未来像をどう展望していたのか？ 二十世紀世界の根幹思想を、現在の視点で発展的に、平易な言葉で説き直す。

840

 4-06-149001-X

1007

日本の風景・
西欧の景観
そして造景の時代

オギユスタン・ベルク

篠田勝英 訳

ヨーロッパ近代が生んだ風景という観念と、たえず視線が移動する日本特有の空間性。欧化とジャポニスム、そして近代景観論の解体を見つづ、ポスト・モダンの風景 Ⅱ 〈造景の時代〉を予見する力作。

740

4-06-149007-9

<p>1025</p> <p>J・S・バッハ</p> <p>磯山 雅</p> <p>眠れぬ夜にゴルトベルク変奏曲。謎をはらんだフーガの技法。最高傑作マタイ受難曲。平易と優美の時代に抗い、生と死の問題を見つめ続けた最後の音楽職人。名盤案内も備えた決定版バッハ入門。</p> <p>740</p> <p>4-06-149025-7</p>	<p>1020</p> <p>アイデンティティの心理学</p> <p>鑑<small>ミナト</small> 幹八郎</p> <p>「自分」とはいったい何者か？ これまで何をしてきたのか？ 何のために生きているのか？ 生涯に幾度か訪れる自己喪失や自己崩壊の危機を乗り越え、本当の「自分」に出会う方途を探る。</p> <p>760</p> <p>4-06-149020-6</p>	<p>1019</p> <p>動物裁判</p> <p>西欧中世・正義のコスモス</p> <p>池上俊一</p> <p>法廷に立つブタ、破門されるミミズ、中世ヨーロッパに広くみられた動物裁判。自然への感受性の変化、法の正義の誕生などに言及しつつ、革命的転換点となった中世に迫る「新しい歴史学」の旅。</p> <p>760</p> <p>4-06-149019-2</p>	<p>1017</p> <p>ハプスブルク家</p> <p>江村 洋</p> <p>キリスト教を心とするなら、ハプスブルク家は背骨である。それ抜きには成り立たないヨーロッパという身体の芯。一三世紀から二〇世紀まで七〇〇年に亘って勢力を保ち続けた名門王朝の歴史を探る。</p> <p>800</p> <p>4-06-149017-6</p>	<p>1011</p> <p>自己変革の心理学</p> <p>論理療法入門</p> <p>伊藤順康</p> <p>自分自身の不当な思い込み（イラシヨナル・ベリーフ）によって生じる挫折感や絶望感。事実―思考―感情の論理的筋道を軌道修正し、しなやかで無限の可能性にみちた自分に出会う自己訓練法。</p> <p>700</p> <p>4-06-149011-7</p>
---	---	--	---	---

1026

漢詩の名句・名吟

村上哲見

奔放自在な「詩仙」李白、謹厳実直な「詩聖」杜甫、閑寂の自然詩人・王維など、平安の世から今にいたるまで日本人の心を魅了しつづけてきた漢詩を味わい、その豊かな抒情の世界に遊ぶ。

720

4-06-149026-5

1027

「からだ」と「ことば」の
レッスン

竹内敏晴

気つかぬうちからだが歪み、心が閉ざされ、生き生きとしたことばを失っている現代人。ゆたかで円滑な人間関係をとりもどし、いのちのよみがえりをめざす「竹内レッスン」のエッセンスを紹介。

760

4-06-149027-3

自分に気づき・他者に出会う

1044

〈自己発見〉の心理学

国分康孝

悩みの壁・絶望の奈落に自分を縛りつける「ねばならぬ」の思い込み。なぜ「ねばならない」のか。ピリフの非合理性を暴くことがブレイク・スルーのはじまり。解放のための「自己発見」のすすめ。

740

4-06-149044-3

1073

はじめてのドイツ語

福本義憲

綴りと発音のシステム、名詞と冠詞・形容詞の対応、単語や文章のもつ堅固で自在な「枠構造」。ほどよい文法秩序に示される明快な言葉、ドイツ語の性格を平易に解きほぐす。

800

4-06-149073-7

1076

デパートを發明した夫婦

鹿島 茂

十九世紀半ば、パリに産声をあげた、世界初のデパート《ボン・マルシェ》。流行を自らの手で作り出し、消費のキーワードを《必要》から《欲望》へと一変させたこの装置の發明者夫婦の一代記。

760

4-06-149076-1

<p>1080</p> <p>ユダヤ人とドイツ</p> <p>大澤武男</p> <p>分裂状態が長かった。後進国。ドイツは、放浪の民ユダヤ人の財力・国際性を必要とした。依存しつつ反発しあった両者の特別な緊張関係を歴史的に検証し、過去の直視と克服がいかに可能かを模索する。</p> <p>800</p> <p>4-06-149080-X</p>	<p>1085</p> <p>アラブとイスラエル</p> <p>パレスチナ問題の構図</p> <p>高橋和夫</p> <p>宿命の地ニカナン（パレスチナ）を舞台にくり返された流血の抗争。宗教や民族対立、石油資源をめぐる思惑、難民問題など、複雑にもつれた中東問題を国際政治のダイナミズムの中に位置づけ解明する。</p> <p>760</p> <p>4-06-149085-0</p>	<p>1088</p> <p>ヨーロッパ「近代」の終焉</p> <p>山本雅男</p> <p>合理主義、ヒューマニズム、科学への信頼など、「近代」を支えた価値のゆらぎの中でヨーロッパはどこに向かうのか？ 歴史の批判的な読み直しを通して新たな座標軸をさぐる。</p> <p>800</p> <p>4-06-149088-5</p>	<p>1097</p> <p>オスマン帝国</p> <p>イスラム世界の「柔らかい専制」</p> <p>鈴木 董</p> <p>西欧人の見た「残酷な征服者」は、西欧を凌駕する先進国の王だった。羊飼いの大臣になれる開放的な社会。ユダヤ難民を受容した宗教的寛容性。多民族の超大国を支えた「柔らかい専制」の秘密に迫る。</p> <p>800</p> <p>4-06-149097-4</p>	<p>1099</p> <p>「民族」で読むアメリカ</p> <p>野村達朗</p> <p>最初の植民以来、世界史転換の節目ごとに大量移動する人々を受け入れ成長してきた多民族国家アメリカ合衆国。近代世界システム論の視点から、「合衆国」と「アメリカ人」の歴史と構造に迫る。</p> <p>740</p> <p>4-06-149099-0</p>
---	--	--	--	---

1111

ヴェネツィア

水上の迷宮都市

陣内秀信

内海に浮かぶ「アドリア海の花嫁」ヴェネツィア。四季折々の呼吸がたちのぼる大運河。路地歩きに感じる街の体温。人の世の光と闇を彩る祝祭。足で識り、五感でつかむ、水の都への道案内。

800

4-06-149111-3

1123

はじめてのインド哲学

立川武蔵

自己と全宇宙との合一をめざし、三〇〇〇年の「聖なる」思索を重ねたインド。ヴェーダ、ウパニシャッドから仏教、タントリズムにいたる、壮大にして精緻な精神のドラマを、一卷に凝縮する。

800

4-06-149123-7

1126

「気」で観る人体

経絡とツボのネットワーク

池上正治

「気」の発生するポイントとしてのツボ。五臓六腑を結んで「気」が流れるコースとしての経脈と絡脈。驚異の精密さで体系化された中国医学による人体観を平易に解説し、その効用を見直す書。

720

4-06-149126-1

1141

安楽死と尊厳死

医療の中の生と死

保阪正康

「安らかに死ぬ権利」とは何か。「人間としての尊厳」を失わない死とは。やがて確実にやってくる死をどう受容したらよいかを、読者と一緒に考える一冊。脳死、高齢化社会との関連も具体的に言及。

740

4-06-149141-5

1145

冤罪えんざいはこうして作られる

小田中聰樹

無実の者が、ある日突然に「犯人」にされる。警察はなぜ「犯人」を作り出すのか。裁判官はなぜウソを見抜けないのか。今も冤罪を生み出し続けている、日本の刑事司法の構造的欠陥をえぐる。

840

4-06-149145-8

<p>1193</p> <p>漢字の字源</p> <p>阿辻哲次</p> <p>食物や器の文字に象形された、古代の祭祀や日常生活の様子。男女関係から天下国家まで人事はもとより、珍獣・妖怪をも描写する漢字たち。確かな理論と豊かな蘊蓄で綴く、中国四千年の社会文化史。</p> <p>740</p> <p>4-06-149193-8</p>	<p>1183</p> <p>はじめてのスペイン語</p> <p>東谷穎人</p> <p>明快な発音と、歯切れよいリズム——スペイン語は日本人の味方。直説法・接続法の使い分けや再帰動詞で語る、豊かなニュアンス。日常生活を彩る慣用表現。「神と話すことは」の世界へようこそ。</p> <p>740</p> <p>4-06-149183-0</p>	<p>1163</p> <p>「孫子」を読む</p> <p>浅野裕一</p> <p>人間心理を見つめ、「必ず勝つ」方法を追求しつづけた孫子。勝算の分析、無勢で多勢に勝つ方法、リーダーに迫る五つの罫など、しなやかな知と逆転の発想にみちた「最古最高の用兵理論」を読む。</p> <p>760</p> <p>4-06-149163-6</p>	<p>1151</p> <p>ハプスブルク家の女たち</p> <p>江村 洋</p> <p>ハプスブルク帝国史を彩る、皇妃・皇女の群像。</p> <p>760</p> <p>4-06-149151-2</p>	<p>1150</p> <p>「欲望」と資本主義</p> <p>終りなき拡張の論理</p> <p>佐伯啓思</p> <p>資本主義の駆動力は何なのか。豊かさの果て、新たなフロンティアはどこに求められるのか。差異・距離が生み出す「欲望」の観点から、エンドレスな拡張運動の文明論的、歴史的な意味を探る。</p> <p>720</p> <p>4-06-149150-4</p>
---	---	--	--	---

<p>1231</p> <p>キング牧師とマルコムX</p> <p>上坂 昇</p> <p>「夢のキング」「悪夢のマルコム」といわれた六〇年代黒人運動の二大カリスマ。彼らが遺したものとは何だったのか。対照的な二人の天才指導者の足跡と思想を通して、現代アメリカを問い直す。</p> <p>800</p> <p>4-06-149231-4</p>	<p>1210</p> <p>イスラームとは何か</p> <p>その宗教・社会・文化</p> <p>小杉 泰</p> <p>文明の空白を衝いて下った最後の啓示。クルアーンが語る、神と使徒と共同体の根本原理と、その実践。法学・神学・神秘主義と、諸分派の歴史。イスラーム理解がもたらす、現代世界への新たな視点。</p> <p>840</p> <p>4-06-149210-1</p>	<p>1208</p> <p>王朝貴族物語</p> <p>古代エリート<small>エリート</small>の日常生活</p> <p>山口 博</p> <p>午前三時の起床、吉凶占いから、夜の社交までの一日。激烈な出世競争、土地や富への欲望。恋の欲びと怨霊への恐怖。古代に文化の華を咲かせた貴族たちをエピソードでつづる奈良・平安華麗絵巻。</p> <p>760</p> <p>4-06-149208-X</p>	<p>1201</p> <p>情報操作のトリック</p> <p>その歴史と方法</p> <p>川上和久</p> <p>ナポレオン、ヒットラーによる情報操作、投書や広告を利用した情報操作。あるいはマスメディアのヤラセ事件、口コミによる民衆のパニックなど、具体的な事例を通して「事実」のつくられ方を見る。</p> <p>720</p> <p>4-06-149201-2</p>	<p>1200</p> <p>外国語としての日本語</p> <p>その教え方・学び方</p> <p>佐々木瑞枝</p> <p>ふだん何気なく使っている日本語の意外な横顔。独特のアクセントや敬語、微妙な表現・言葉の使い分けなど、視点を変えると見えてくる面白さと難しさ。留学生教育を通して語る日本語再発見の書。</p> <p>760</p> <p>4-06-149200-4</p>
---	---	---	--	---

1239

武士道とエロス

氏家幹人

「武士道の華」とささえいわれた男同士の恋の道、衆道。念者と若衆、義兄弟など、江戸の世に咲いた恋と絆はなぜ逸脱した性となったのか。斬新な視点で「男の性」の変容をたどり、男性史を書きかえる。

760

 4-06-149239-X

1241

心のメッセージを聴く

実感が語る心理学

池見 陽

心の実感を素直に感じとり、心の内側から発信されるメッセージに耳を傾けるとき、新たな自己の発見と成長が可能になる。重く停滞した心を開くフォーカシングの技法を心理臨床の現場から解説。

880

4-06-149241-1

1247

メタファー思考

意味と認識のしくみ

瀬戸賢一

世界を分節し、意味をつかむために、メタファーは不可欠である。「目玉焼き」「人生のたそがれ」など日常言語に含まれる思考・認識手段としてのメタファーを考察、人間的意味形成のしくみを探る。

760

4-06-149247-0

1248

20世紀言語学入門

現代思想の原点

加賀野井秀一

言語に潜む「構造」の発見が野心的な構造言語学、さらには破壊的な構造主義を生む。ソシュールからプラーグ学派を経て全世界に広がった知のビッグバンⅡ言語学革命の核心と巨大な影響に迫る。

760

4-06-149248-9

1249

ヒトラーとユダヤ人

大澤武男

追放、大量虐殺、絶滅……ヒトラーの異常な反ユダヤ主義はいかに生まれ、実行されたのか。青春期に芽ばえ、世界大戦への過程で、極限にまで行きついた「狂気」の原因と推移を事実在即し検証する。

740

4-06-149249-7

1252

ロスチャイルド家

ユダヤ国際財閥の興亡

横山三四郎

世界を牛耳る国際財閥の疾風怒濤の二〇〇年。紋章に刻まれた言葉は協調・完全・勤勉。家訓は「語るなかれ」。一族の結束と連係で、金融はもとよりダイヤモンド、ワインまで操る巨大パワーを描く。

740



4-06-149252-7

1258

身分差別社会の真実

新書・江戸時代②

斎藤洋一
大石慎三郎

身分とは何か？ 誰が差別されたのか？ 被差別民の起源とは？ 社会全体を差別が覆った時代を検証し、社会から「排除」されていた「えた・ひにん」などとされた人々の実像を実証的に検証する。

700

4-06-149258-6

1262

「世間」とは何か

阿部謹也

古代から現代まで、日本人の生き方を支配してきた「世間」とは何なのか。兼好、西鶴、漱石などの文学を通して、西洋の「社会」と「個人」を追究してきた歴史家の視点から、その本質を捉え直す。

800



4-06-149262-4

1265

七三一部隊

生物兵器犯罪の真実

常石敬一

日本は大陸で何をしたのか？ 軍医中将石井四郎と医学者たちが研究の名で行った人体実験と細菌戦の、凄惨で拙劣な実態。残された資料を駆使して迫るもう一つの戦争犯罪。戦後はまだ終わらない。

740



4-06-149265-9

1275

自分をどう表現するか

パフォーマンス学入門

佐藤綾子

表現されない実力や心はないも同じ。どうやれば相手の信頼や愛情をかちえ、より豊かな人間関係を築けるか？ 言葉・表情・身ぶりなどの具体例を豊富にあげて、魅力的な自己表現を追究する。

760

4-06-149275-6

1278

ラカンの精神分析

新宮一成

医学にも心理学にも吸収されない純粋な「精神分析」の確立を目指しパリ・フロイト派を立ち上げたラカン。「対象 a は黄金数である——」という晩年の言葉を手がかりに、ラカン思想の根源に迫る。

840

 4-06-149278-0

1282

戦うハプスブルク家

菊池良生

近代の序章としての三十年戦争

中世的秩序をゆるがし、新たな国家システムを生み出すことになった長期抗争において、ハプスブルク家は敗北に敗北を重ねた。同家の普遍帝国理念はむなしくついで、「近代」の扉がこじ開けられた。

740

4-06-149282-9

1283

イギリス王室物語

小林章夫

千年の伝統をもち、今も華麗に輝くイギリス王室。「残虐非道」のヘンリー八世、自信家の処女王エリザベス一世、快楽の王子ジョージ四世など、大英帝国の栄光を築いてきた強烈な個性たちを描く。

800

4-06-149283-7

1286

哲学の謎

野矢茂樹

時とは流れているのだろうか。私が見ている木は本当にそこにあるのか？ 私が見てもこの世はくなくならないとなぜ言えるのか。他者、意味、行為、自由など根本問題を対話篇の形で問いなおす。

740

 4-06-149286-1

1287

写真美術館へようこそ

飯沢耕太郎

〈サントリー学芸賞受賞〉

まなざしの芸術。写真は何をどのように表現してきたのか。古今東西の名作・快作を集めた、紙上美術館へご案内。美術館仕立ての構成で、写真の魅力と本質を縦横無尽に語り尽くす本格的写真入門。

860

4-06-149287-X

1289

軽症うつ病

「ゆううつ」の精神病理

笠原 嘉

生真面目で心やさしい人々をおそうゆううつ、不安、おっくう感、軽症化しつつ増えている現代的気分障害、つまり「ひとりで起こる」タイプのうつ病、その対処法と立ち直りの道筋を明快に説く。

800

 4-06-149289-6

1292

日光東照宮の謎

高藤晴俊

絢爛豪華を誇る日光東照宮は徳川家康を「神」と祀る。なぜ日光の地なのか。東照大権現とはいかなる神か。創建にまつわる謎に挑み、五千を越える彫刻・絵画群が表象する壮大なコスモロジーを解説。

760

4-06-149292-6

1293

「時間」を哲学する

過去はどこへ行ったのか

中島義道

現在は過去へと流れ去り、やがて未来が現在を補充する——時間理解の前提にこのフィクションを置く限り、過去・未来の正体は見えてこない。いつも現在であるという視点から時間の秘密を解く。

740

 4-06-149293-4

1301

〈子ども〉のための哲学

永井 均

自分ひとり裸一貫で哲学することのすすめ。なぜ僕は存在するのか。なぜ悪いことをしてはいけないのか。この二つの大問題に答えはあるか。脳に汗して考え、自分の答えを見つけるプロセスを語る。

740

 4-06-149301-9

1306

モンゴル帝国の興亡(上)

軍事拡大の時代

杉山正明

世界史はモンゴルの登場を待っていた——。チンギス・カンの即位とともに興った草原の遊牧国家がユーラシアを縦横に席捲し、大陸の東西を結ぶ。初代チンギスからクビライの奪権までの帝国史。

760

4-06-149306-X

1307

モンゴル帝国の興亡(下)

世界経営の時代

杉山正明

南宋を倒し、イスラムと結んだ巨大帝国は、陸と海を結ぶ壮大な軍事・行政・経済ネットワークを作り上げる。しかしそこには、内紛・天災・新興勢力の影が……。大きくならずすぎた国家を迎えた結末とは？

800

4-06-149307-8

1315

じぶん・この不思議な存在

鷺田清一

わたしって誰？ じぶんって何？ じぶん固有のもののみずからの内側に求めたとき、答えと見えたものは幻影のように消え去る。視点を換え、他者との関係のなかでじぶんがどんな形をとるかを考察。

740

4-06-149315-9

1321

聖書VS.世界史

キリスト教的歴史観とは何か

岡崎勝世

天地創造から六〇〇〇年で人類は終末を迎えると聖書はいう。ではアダムとエヴァよりも古いエジプトや中国の歴史はどうなるのか。聖書と現実の世界史の整合性を求めて揺れ続けた西欧知識人の系譜。

740

4-06-149321-3

1322

藤原氏千年

臈谷 寿

始祖鎌足から不比等、良房らをへて道長に至り、ついに満天に輝く望月となった藤原一族。貴族の時代をきらびやかに飾った彼らの権謀、栄華、零落、伝統……を、今に伝わる千年の歴史から描き出す。

740

4-06-149322-1

1328

「複雑系」とは何か

吉永良正

二十一世紀を解く最大のキーワード「複雑系」。生命・自然・物質・社会・経済。あらゆる事象を取りこみ展開していく新たな「知」のパラダイムとは何か。最先端科学の現場に誘う恰好の入門書。

800

4-06-149328-0

1343

カンブリア紀の怪物たち

生命の歴史①進化はなぜ大爆発したか

S・C・モリス
松井孝典^{II}監訳

五億五〇〇〇万年前、カンブリア紀と呼ばれる時代に進化の大爆発が起きた。海の底に多種多様な生物が生まれたのである。生命の誕生と進化の謎に、世界の第一線の研究者が書きおろして挑む。

940

4-06-149343-4

1348

自殺の心理学

高橋祥友

誰もが一度は考える自殺。決行する人と思いとどまる者の差はどこにあるか？ 自殺者の発するサインとは？ いじめ、家族環境、うつ病などの具体例を基に、世代別の予防・治療法を説く。

740

4-06-149348-5

1353

はじめてのラテン語

大西英文

ローマ帝国の犬もニューヨークの犬も、唸るときは同じ「rrr……」。ラテン語は今なお欧米諸語の中にこんなにも生きている。難解なイメージを払拭し、ABCから文法まで明快に解く入門決定版！

940

4-06-149353-1

1357

新しいヘーゲル

長谷川 宏

ヘーゲルはむずかしいか？ そんなことはない、と著者は断言する。弁証法をひまわりの生長を例に説明し、『精神現象学』は教養小説と対比しながら論じる。ヘーゲルの思考を実感できる入門書。

740

4-06-149357-4

1358

「教養」とは何か

阿部謹也

哲学のすべてを修めた後に、現実社会で靴直しや陶工の仕事につく——西欧中世の学問のあり方や、公共性としての「世間」に関する歴史的洞察から、誰もが身につけうる教養の可能性をさぐる。

740

4-06-149358-2

1366

新書アフリカ史

宮本正興
松田素二 編

人類誕生から、植民地支配を経て混沌の現代へ——
 壮大なスケールで展開する民族と文明の興亡。西歐
 近代による「暗黒大陸史観」を否定、新たなアフリ
 カ像を示し、世界史の読み直しを迫る必読の歴史書。

1,400

4-06-149366-3

1372

へむなしさの心理学

なぜ満たされないのか

諸富祥彦

モノがあふれ情報がとびかう現代社会でなぜか満た
 されず、感じてしまうむなしさ。なぜだろうか。そ
 の原因をていねいに探り、「生きる意味」を実感でき
 る生き方への道筋を明快にさし示す。

760

4-06-149372-8

1376

子どものトラウマ

西澤 哲

身体の傷は治っても心の傷は消えない。人格を、と
 きには人生さえ支配してしまうトラウマとは何か。
 第一線での臨床活動をふまえて子どもの虐待をとら
 えなおし、傷ついた子と親の心の回復を説く。

800

4-06-149376-0

1379

白村江

はくせんこう
古代東アジア大戦の謎

遠山美都男

海水みな赤し——唐・新羅連合軍の前に、倭国の百
 濟救援作戦は打ち砕かれた。各王権の内幕、決戦の
 真相とは？ 日本の国家形成途上に起こった壮大な
 パワーゲームを検証し、通説を覆す力作！

760

4-06-149379-5

1383

カントの人間学

中島義道

カントは人間と人の世をどう見ていたか。緻密な哲
 学体系を作りあげた理論家は、一方で人間観察の鋭
 い眼を持つ。「気難しい哲学者」の内側に、矛盾に満
 ちた人間の普遍性を洞察するまなざしを読む。

760

4-06-149383-3

1394

参勤交代

山本博文

他藩領内を通行する時の礼儀とは？ 幕府役人と本陣が重なったらどうなる？ 出発を延期することは可能か？ 先例を守り、面子を気にしながら約三百年にわたりに行われた参勤交代の実像に迫る。

760

4-06-149394-9

1396

はじめてのイタリア語

郡 史郎

恐るべき動詞活用も最低必要なのは3パターン18通り——苦手意識を克服する平易な文法解釈と、実践的な日常会話、興味を誘う語源の数々。初心者も安心の発音指導で今日から使える実践的入門書。

740

4-06-149396-5

1401

これがニーチェだ

永井 均

哲学とは主張ではない。徹頭徹尾、問うことなのだ。神の死を宣告し、道徳を批判した哲学者が設定した真に深い問いとは何か。三つのニーチェ空間という新しい視点からその本質を鮮やかに解く。

720

4-06-149401-5

1404

踏みはずす美術史

森村泰昌

美術の極意は「見るな、着こなせ」。そこから発見の旅は始まる。名画に「侵入する」手法とは。巨匠は上手いのか。「似ていること」は悪なのか。常識を解体し、「地球美術史」の扉を開く快著！

740

4-06-149404-X

私がモナ・リザになったわけ

1414

謎とき日本近現代史

野島博之

我々は近現代をどれほど知っているか。明治維新の性格、満州事変、太平洋戦争の経緯、高度経済成長の秘密など、「若者」も「大人」も意外に知らない近現代の構造変化を「歴史」として捉え直す。

760

4-06-149414-7

1420

無限論の教室

野矢茂樹

アキレスは亀に追いつけない！ 自然数1、2、3
……と偶数2、4、6……は同数ある!? 無限の世界では、なぜこんな奇妙なことが起こるのだろう。
軽やかな笑いにのせて贈る異色の、哲学講義。

760



4-06-149420-1

1422

演劇入門

平田オリザ

シエイクスピアやギリシャ悲劇が、今も新鮮に演じられるのはなぜか。俳優に必要な能力とは？ 演劇界をリードする作・演出家が、戯曲の構造から演技・演出論まで平易に教える、画期的な入門書！

740



978-4-06-149422-0

1432

江戸の性風俗

笑いと情死のエロス

氏家幹人

「肌を許す」とはどういうことだったのか。春画の効用、高貴な人々の性、男同士の絆、心中死体への眼差し、色と恋のゆくえ。豊富な史料を自在にひもとき、「性」の営みから語る江戸の精神史。

720



4-06-149432-5

1436

古事記と日本書紀

「天皇神話」の歴史

神野志隆光

古事記と日本書紀は、同じ古代の神話を語った二種類の書物なのではない。イザナキ・イザナミや天の岩屋などおなじみの話を日本人はいかに受けとめてきたのか。清新でオリジナルな思想史の試み。

760



4-06-149436-8

1439

〈意識〉とは何だろうか

脳の来歴、知覚の錯誤

下條信輔

「心」とは意識のことか。意識プラス無意識か。では意識とは何なのか。脳科学の進歩につれ拡散していく心の全体像に「錯誤」を手がかりとしてスリリングに迫る。科学の最前線と社会を切り結ぶ名著。

740



4-06-149439-2

1442

メデイチ家

森田義之

銀行家として巨万の富を築き、パトロンとしてルネサンスを牽引したヨーロッパ史上最も豪華な一族。その出自の謎、コジモ、ロレンツォの絶頂期、スキヤンダルと滅亡の歴史をつぶさに描写する。

1,000

4-06-149442-2

1446

南イタリアへ！
地中海都市と文化の旅

陣内秀信

イタリアは南。小高い丘、陽光あふれる斜面に営まれる古くて豊かな都市の内部では、街路が劇場、袋小路と中庭が生活の場となる。人間中心の地中海都市の魅力を掘り下げて語るカラー版ガイド。

900

4-06-149446-5

1448

日本人のしつけは
衰退したか

広田照幸

家庭の「教育力」は衰退したのか。家族の荒廃・凶悪化する少年犯罪を背景に問い直されている家庭教育のあり方。その変容を、社会・家族・学校との関係から再検証し、現代の親の役割を探る。

740

4-06-149448-1

1454

スポーツとは何か

玉木正之

Jリーグの理念と企業の利益の対立、IOC金銭疑惑、プロ野球ドラフト問題等々、大きく揺れながらも繁栄し続けるスポーツ。遊び・運動会・監督・根性などキイワードで読む痛快スポーツ文化論。

740

4-06-149454-6

1465

トランスパーソナル
心理学入門

諸富祥彦

ほんとうの自分とは、ほんとうの生き方とは。今の自分を含みつつ真実の自己へと「越えて」ゆく方法を探り、個を「越えた」豊かなつながりを志向する、目覚めと自己変革のためのガイドブック。

760

4-06-149465-1

人生のメッセージを聴く

<p>1485</p> <p>知の編集術</p> <p>発想・思考を生み出す技法</p> <p>松岡正剛</p> <p>膨大な情報を使いこなすヒントは「方法」にあり！映画や俳句、マンガなどユニークな題材を駆使した実践レッスンに学ぶ、連想・要約・推理の技法。考える力が自然に身につく「知の活用」決定版。</p> <p>800</p> <p>4-06-149485-6</p>	<p>1470</p> <p>中世シチリア王国</p> <p>高山 博</p> <p>ヨーロッパ、ビザンツ、イスラムという全く異なる三文化が交差し栄えた謎の地中海王国。ノルマン人の王が築き上げ十二世紀ルネサンスの舞台となったシチリアを通し、中世ヨーロッパを読み直す。</p> <p>740</p> <p>4-06-149470-8</p>	<p>1469</p> <p>ヒンドウー教</p> <p>インド三〇〇〇年の生き方・考え方</p> <p>K・M・セーン 中川正生 訳</p> <p>知識、行為、信愛——これらが「神」にいたる三つの道である。豊かな多様性と途方もない包摂力をもって引き継がれてきたインド人の聖なる思索と理想の生活法、日々の実践の姿を簡明に解説する。</p> <p>760</p> <p>4-06-149469-4</p>	<p>1468</p> <p>国語のできる子どもを育てる</p> <p>工藤順一</p> <p>本の面白さを知らない、作文が書けない子どもたち——その「失語」的状况の中で読むこと、書くことを親や教師はどう教えたらいいか？ 本当の国語力を引き出すための実践的教育法を提示する。</p> <p>740</p> <p>4-06-149468-6</p>	<p>1466</p> <p>ゲーデルの哲学</p> <p>不完全性定理と神の存在論</p> <p>高橋昌一郎</p> <p>「あなたが矛盾しないことを、あなたは証明できない」——不完全性定理を証明した希代の天才ゲーデル。パズル形式で難解な定理を解説し、晩年とりくんだ神の存在証明にもはじめてふみこんだ決定版。</p> <p>740</p> <p>4-06-149466-X</p>
---	--	--	--	--

1486

エリザベス一世

大英帝国の幕あけ

青木道彦

来襲するスペイン無敵艦隊を破り、小国イギリスを世界帝国にする基礎を固めた処女王エリザベス。華麗にして勇猛、巧みな政治手腕をもつ彼女の実像と、それを生み出した転換期の西欧世界を語る。

800

4-06-149486-4

1488

日本の公安警察

青木理

オウム・革マル派との、隠された戦いとは？ 監視・尾行・盗聴・スパイ養成の実践法は？ 戦後の歴史、ベールに包まれた組織と人員、秘密部隊「サクラ」「チヨダ」などを解説する、衝撃の一冊！

800

4-06-149488-0

1500

科学の現在を問う

村上陽一郎

科学と技術の発達は、人間を幸福にしたか？ 先端医療・IT化社会から理科教育の問題点まで、われわれをとり巻く様々なテーマを、科学史の第一人者が論ずる。現代人必読の書。

740

4-06-149500-3

1501

アメリカ文学のレッスン

柴田元幸

ポー、メルヴィルから、オースター、パワーズまで、アメリカ文学のおもしろさを、「食べる」「破滅」など人生の鍵言葉に託して語る。引用はすべて柴田訳による、待望の本格的講義。

740

4-06-149501-1

1510

最強のプロ野球論

二宮清純

松井秀喜とは、進化する怪物である。松坂大輔とイチローの対決に秘められたかけひきとは。江夏豊の究極の投球術から、前田智徳や工藤公康の技術まで、日本プロ野球の精華を一冊に結集。

740

4-06-149510-0

1511

優生学と人間社会
生命科学の世紀はどこへ向かうのか

米本昌平
松原洋子
橋島次郎
市野川容孝

優生学はナチズムか。戦後日本の優生政策の内実とは。科学の発展や「自己決定」の考え方は、新たな優生学をもたらすか。歴史の再検討を通して従来の定説を書きかえ、遺伝子技術時代の視座を示す。

840

4-06-149511-9

1517

悪の対話術

福田和也

第一印象を制する礼儀正しい生意気のすすめ、悪口・お世辞による観察眼の鍛え方、敬語の意外な役割など、刺激的な方法論を満載！ 舌鋒鋭く果敢に世を生き抜くための、大人の「話し方」講座。

700

4-06-149517-8

1522

算数のできる子どもを育てる

木幡 寛

学年が進むにつれて算数を苦手とする子どもは多いが、計算の意味、特にかけ算の意味を知ること、算数の力は確実に伸びる。子どもたちの本当の算数力を引き出す効果のある方法を平易に説く。

720

4-06-149522-4

1540

戦争を記憶する
広島・ホロコーストと現在

藤原帰一

絶対平和を願う広島と、絶対悪に立ち向かう責任を問うホロコーストの記憶の違いとは。なぜ反戦思想が生まれ、一方でいまナショナリズムが台頭するのか。戦争を語ることの本質を真摯に問い直す。

740

4-06-149540-2

1542

自由はどこまで可能か
リバタリアニズム入門

森村 進

裁判は民営化できる、国債はなくせる、課税は最小限でいい、婚姻・相続制度に法はいらない!? 自己所有権をキーワードに、国家の存在意義を問い直し、真に自由な社会の可能性を探る注目の思想。

760

4-06-149542-9

1544

倫理という力

前田英樹

「してはいけないこと」がある。(人様)という考え方は重要である。信じられないような犯罪が横行するいまこそ、(よりよく生きる)という人間が本来誰でも持っている力の再生を理論的に提唱する。

740

4-06-149544-5

1560

神道の逆襲

〈サントリー学芸賞受賞〉

菅野覚明

日本人は神さまとどのようなつきあってきたのだろうか。古事記、日本書紀の解釈を通じてつくりあげた世界観とは？ 古代から近世に至る神道の歴史に新たな見通しを与えた画期的論考。

740

4-06-149560-7

1563

悪の恋愛術

福田和也

恋愛はしよせん独りよがりの行為である。戦略を練り、技術を磨き、贈与力、倦怠力を身につけてこそ、豊かな果実をパートナーと分かち合うことができ。好評を博した『悪の対話術』に続く第二弾。

680

4-06-149563-1

1567

〈子どもの虐待〉を考える

玉井邦夫

なぜ起こるのか。どこまでがしついで、どこからが虐待なのか。実際のケースに出会ったとき、どう向き合うか。虐待を「誰にでも起こりうる家族の不幸な私たち」と捉え、臨床心理の立場から説く。

800

4-06-149567-4

1572

ユダヤ人とローマ帝国

大澤武男

ユダヤ人はなぜ放浪の民となったのか。ナチスによるホロコーストにまでいたる迫害の根底には何があるのか。民族の悲劇的な運命を決定づけたローマ皇帝と古代キリスト教会指導者たちの意図とは。

760

4-06-149572-0

1575

動物化するポストモダン オタクから見た日本社会

東 浩紀

気鋭の批評家による画期的な現代日本文化論！ オタク系文化のいまの担い手は一九八〇年前後生まれの第三世代。物語消費からデータベース消費へ。「動物化」したオタクが文化状況を劇的に変える。

740

 4-06-149575-5

1582

ロボットの心 7つの哲学物語

柴田正良

ロボットだって、心は持てるのだ！ 誰もが驚く結論はたして可能か。脳科学と心と哲学の最先端理論を紹介しつつ、感情、道徳、機械といった今日の大問題にきりこむ、スリリングな7章。

720

 4-06-149582-8

1585

フロイト思想の キーワード

小此木啓吾

エディプス・コンプレックスはいかにして発見されたか。夢解釈の理論と方法の確立の経緯は。「精神分析の父」としての知的考察から、知られざる私生活まで、これ一冊でフロイトのすべてがわかる！

820

 4-06-149585-2

1586

〈ほんとうの自分〉の つくり方 自己物語の心理学

榎本博明

「自分って何？」と自問しても、その答は得られない。それは聞き手との語り合いの中から浮かび上がってくる。自己を他者に物語る中で〈自分〉を見つめ直し、たしかかな生き方をつかむ方法を説く。

760

 4-06-149586-0

1587

傭兵の二千年史

菊池良生

世界で二番目に古い職業と言われる傭兵。古代ギリシアから中世を経て国王の軍隊の中核に。フランス革命後、「国民軍」が誕生するまでヨーロッパの歴史を動かしてきた多くの傭兵たちの活躍を描く。

760

 4-06-149587-9

1588

〈大佛次郎論壇賞受賞〉
現代アラブの社会思想
終末論とイスラーム主義

池内 恵

アラブの内面を、どう理解するか。彼らにとってイスラームとは何か。なぜ今、終末論ブームなのか。気鋭の研究者が学術書からヒットソングまで涉猟し、苦難の歴史と現在を描き出した力作。

800

 4-06-149588-7

1596

失敗を生かす仕事術

畑村洋太郎

よい仕事をするためには失敗は避けられない。必ず起こる失敗を真正面から捉え、創造的に働くためのヒント。今日の成功が明日の失敗に変わる大激動期の現代にいちばん必要とされる知の技術を説く。

720

 4-06-149596-8

1599

戦争の日本近現代史

加藤陽子

東大式レッスン！
征韓論から太平洋戦争まで

日本はなぜ太平洋戦争に突入していったのか？ 国家はどんな理屈で開戦への道筋をつくり、国民はどんな感覚で参戦を納得したのか。明治維新以降の「戦争の論理」を解明した画期的日本論、全九講。

760

 4-06-149599-2

1600

ハイデガー II
存在神秘の哲学

古東哲明

〈在る〉とはどのようなことか。いったいなぜ、私たちは〈在る〉のだろう。20世紀最大の哲学者とも言われるハイデガーの難解な思索を日常のレベルで解説しつつ、人間の根本問題に迫る意欲作。

800

 4-06-149600-X

1609

一神教の誕生

加藤 隆

ユダヤ教からキリスト教へ

世界最古の一神教であるユダヤ教の成立の過程と、ユダヤ教からのちに世界宗教となるキリスト教が派生していった経過を丹念に探る。人と神とのスリリングな関係を気鋭の神学者が鋭く問い直す。

840

 4-06-149609-3

1618 まちがいだらけの
日本語文法

町田 健

「太郎は泳ぎが上手だ」の主語は何か。「らしい」と「ようだ」はどう使い分けるべきか。「学校文法」の過ちをただし、練習問題を解くことで「読み、書き、話す」技術を向上させる新しい文法書。

800

4-06-149618-2

1620 相手に「伝わる」話し方
ぼくはこんなことを考えながら話してきた

池上 彰

聞く人の心に届くように話すとは!? NHKの報道記者として、キャスターとして、人気番組「週刊こどもニュース」で……。放送現場での体験を通じて得た、池上流「自分の言葉」を話す方法論。

740

4-06-149620-4

1624 企業を高めるブランド戦略 田中 洋

商品名にすぎないブランドを育成し、強力な「資産」にして企業の信用と価値を高める——ブランドをマーケティングの中心にすえ、市場競争の中で優位に立つための戦略的思考法を具体的に説く。

760

4-06-149624-7

1627 インタビュー術！

永江 朗

インタビューは危ない。読み方を知らないと情報に騙される。されど、インタビューは楽しい。スリリングな現場体験と名インタビューアの技に学び、話を引き出して書く方法と味わい方を大公開！

800

4-06-149627-1

1635 これが現象学だ

谷 徹

現代思想の大きな潮流をなす現象学とは、そもそも何なのか。空虚になった学問の危機を克服するために創始したフッサールの思考によりつつ、経験から出発して世界に至る道筋を示した最良の入門書。

800

4-06-149635-2

1638

時間は実在するか

入不二基義

飛ぶ矢のパラドックスでは、飛ぶ矢は静止していることになってしまふ。はたして時間は流れているのか。マクタガートの非実在性の証明を検証しながら、過去・現在・未来の罫に挑んだ快著！

840

4-06-149638-7

1641

ゼロからわかる経済の基本 野口 旭

デフレはなぜ起きるのか、構造改革のどこが問題なのか、説明できますか？ 不良債権、金融危機、失業と中年の自殺……「専門家」や政府まかせではいられない経済問題。読めば必ずわかる超入門！

740

4-06-149641-7

1648

天皇と日本の起源

遠山美都男

「飛鳥の大王」の謎を解く

天皇号と国号「日本」はいかにして成立したか。推古・厩戸から天武・持統まで、飛鳥をめぐる大王たちの権謀と動乱の謎が解き明かされ、通説が覆る。国家形成の軌跡を活写する七世紀史の決定版！

780

4-06-149648-4

1653

これがビートルズだ

中山康樹

ジョンの才能が最も発揮されたアルバムは？ 最新のビートルズ研究で判明した事実とは？ 初めて聴くなら、どのアルバムがいいのか？ 名バラードから超実験作まで揃った音楽の魅力を解剖する。

760

4-06-149653-0

1656

コーチングの技術

菅原裕子

上司と部下の人間学

もともとスポーツのコーチ技術から生まれたコーチングは、上司と部下など、組織の人間関係を構築し、業績をあげる必須アイテム。ビジネスだけでなく、親子、教師と生徒などへの応用も含めて紹介。

740

4-06-149656-5

<p>1664</p> <p>新書ヨーロッパ史 中世篇</p> <p>堀越孝一 編</p> <p>解体、再編成を繰り返すヨーロッパ社会を、中世人はどう生きたのか。政治と宗教、農村と都市、歴史と文学……中世人の眼でヨーロッパ中世を読み解く。〔西洋史〕を大胆に読み直す試みの第一弾。</p> <p>840</p> <p>4-06-149664-6</p>	<p>1667</p> <p>悪女入門 ファム・ファタル恋愛論</p> <p>鹿島 茂</p> <p>男を破滅させるために運命が送りとどけた……そんな女が確実に存在する。魔性の魅力の秘密とは何か。宿命の恋の条件とは――。フランス文学の傑作から読み解く、恋愛の本質、そして小説の悦楽。</p> <p>720</p> <p>4-06-149667-0</p>	<p>1673</p> <p>神聖ローマ帝国</p> <p>菊池良生</p> <p>そもそもなぜ「神聖」にして「ローマ」なのか。古代ローマ帝国再興という見果てぬ夢を追い、そしてついに分裂状態にいたったのはなぜなのか。ローマ教皇にも愛され、憎まれた帝国の実態に迫る。</p> <p>800</p> <p>4-06-149673-5</p>	<p>1675</p> <p>ワイトゲンシュタインは こう考えた 哲学的思考の全軌跡1912―1951</p> <p>鬼界彰夫</p> <p>魅力的な文体で人気が高いが難解。そんなワイトゲンシュタインの錯綜した思考を整理し、前期の『論理哲学論考』から後期『哲学探究』の最晩年まで、全テキストを統一的に読み通した画期的労作。</p> <p>940</p> <p>4-06-149675-1</p>	<p>1679</p> <p>子どもに教えたくなる算数</p> <p>栗田哲也</p> <p>選び抜かれた良問を対話形式で解きながら、算数の本質と面白さをわかりやすく解説。これを読めばお父さんの算数アレギーもなくなり、思わず手ほどきしたくなる。子どもも伸びる。画期的虎の巻！</p> <p>800</p> <p>4-06-149679-4</p>
---	---	--	---	---

1680

鉄道ひとつばなし

原 武史

人々を運び、歴史を動かしてきた鉄道。日本の近現代の歩みと地域差、日本人の時間意識と時刻表の関係、駅名の東西比較、痴漢発生の条件……鉄道の見方が変わる珠玉の76話。これであなとも鉄道通！

800



4-06-149680-8

1687

世界史とヨーロッパ

へロドトスからウォーラーステインまで

岡崎勝世

ヨーロッパは〈世界史〉をどう記述してきたか。古代ギリシア人の世界と時間、宗教改革や自然科学に揺れるキリスト教的歴史観、非西欧世界への眼差しの変化……西欧的世界観を問い直す問題作！

800



4-06-149687-5

1689

時間の分子生物学

〈講談社出版文化賞科学出版賞受賞〉
時計と睡眠の遺伝子

衆 和彦

なぜ午前中は時間の進みが速く感じられるのか？人間、草木、細菌までが持っている生物時計——その驚異の全貌を分子レベルから平易に解説し、「なぜ眠るのか」という謎に迫るスリリングな書。

740



4-06-149689-1

1700

核兵器のしくみ

山田克哉

ウラン爆弾、プルトニウム爆弾、水素爆弾……途方もないエネルギーはどのように生まれるのか？核分裂・核融合の原理から放射能の恐怖まで、現代人が知っておくべき核の知識をゼロから解説する。

800



4-06-149700-6

1701

はじめての言語学

黒田龍之助

外国語の習得はなぜ難しいのか？《正しい日本語》《美しい日本語》とは？「外国語を知りたい」「日本語を深めたい」……ことばに興味のあるすべての人に贈る、「にぎやかな言語学」への招待。

800



4-06-149701-4

<p>1708</p> <p>きむら式 童話のつくり方</p> <p>木村裕一</p> <p>明日から童話を書けるすべてが詰った一冊。あらゆるのよるに「他ミリオンスターを何度も放った童話作家が、明確で行き届いた文章マニュアル、作家として成功する方法、思わずうなる童話論を伝授。</p> <p>760</p> <p>4-06-149708-1</p>	<p>1707</p> <p>参謀本部と陸軍大学校</p> <p>黒野 耐</p> <p>大東亜戦争敗戦の真因は組織作りと教育の失敗にあった。権力争いの道具となつて有名無実化した参謀本部と、現実には即さない教育方針から無能な参謀を輩出した陸軍大学校。その絶望的な内実には迫る。</p> <p>840</p> <p>4-06-149707-3</p>	<p>1706</p> <p>新しいリハビリテーション</p> <p>大川弥生</p> <p>人間「復権」への挑戦</p> <p>車いすがなくても、自分の足で生活できる！ 病気で体が不自由になると車いす生活、という常識は誤りだ。障害があつても具体的な生活目的を持ち、それを実現する、最新のリハビリ学を紹介する。</p> <p>760</p> <p>4-06-149706-5</p>	<p>1705</p> <p>魔女とカルトのドイツ史</p> <p>浜本隆志</p> <p>綿と続くカルト発生のメカニズムを読み解く。</p> <p>ヒトラー・カルト誕生の根底には、キリスト教文化に抑圧されてきたゲルマン文化の噴出があつた。ユダヤ人狩りから魔女狩り、笛吹き男の役割など、連続と続くカルト発生のメカニズムを読み解く。</p> <p>800</p> <p>4-06-149705-7</p>	<p>1702</p> <p>日本史の考え方</p> <p>石川晶康</p> <p>河合塾イシカワの東大合格講座！</p> <p>河合塾の名物講師が「日本史」の秘伝を公開する。ペリー来航を境にして大きく「中国時代」と「欧米時代」に二分、天武天皇と明治天皇をキーパーソンにして、明快かつ大胆に歴史の本質を読み込む。</p> <p>700</p> <p>4-06-149702-2</p>
--	--	---	---	--

1712

宗教改革の真実

カトリックとプロテスタントの社会史

永田諒一

ルターの「論題貼り出し伝説」はウソだった!? 聖職者が結婚し、キリストの像が破壊され、法王が悪魔に描かれた中世末期。民衆はなぜカトリックへの反逆を支持したのか、大転換期の諸相を描く。

760

4-06-149712-X

1719

「しきり」の文化論

柏木 博

人間の意識が「しきり」を生み、「しきり」が人間の意識を形作る。聖と俗、公と私、家庭内、さまざまな視点から人間と「しきり」の奥深い関係に迫る興味の尽きない刺激的な文化論。

800

4-06-149719-7

1723

演技と演出

平田オリザ

台詞を自然体で話すコツとは。観客の想像力をいかに広げるか。俳優になる条件とは。宝塚や「ガラスの仮面」と現代演劇では、どう違うのか——演劇界をリードする気鋭による『演劇入門』第二弾。

700

4-06-149723-5

1738

大人のための文章教室

清水義範

依頼書、企画書、報告書、お詫びの手紙、随筆、紀行文……きちんと書きたい人へ必携の一冊! テンマルの打ち方から今すぐ使える裏技まで、オリジナル例文満載、面白いから身につく必勝上達法。

740

4-06-149738-3

1741

武士道の逆襲

菅野覚明

ブームになった新渡戸「武士道」は明治の産物であつて真の武士道ではない。「甲陽軍鑑」「葉隠」など本来の武士の思想を広く検証し、近代の所産である「大和魂」や「国民道徳」との違いを明らかにする。

880

4-06-149741-3

1742

教育と国家

高橋哲哉

多発する教育問題は、戦後教育のせいなのか？
 が推進する「愛国心」教育改革の矛盾を検証し、
 教育基本法改正運動のはらむ危険を明らかにする。
 まこそ教育と国家の関係を根本から考え直そう。

760

4-06-149742-1

1743

漱石と三人の読者

石原千秋

新聞小説の連載でいかに読者を楽しませるか。また、
 自らの小説観をいかに作品に反映するか。漱石は作
 風を変えながら次々と実験を試み、小説に仕掛けを
 埋めこんだ。スリリングな近代文学入門。

760

4-06-149743-X

1744

幸福論

春日武彦

生きていく辛さから逃れ得たとしたら、人は幸福に
 なれるだろうか。停滞した時間や閉じた世界にある
 「充足に似たもの」は、脆く表面的なもの。ささやか
 な日常を深く生きる、大人の人生論。

700

4-06-149744-8

1745

私・今・そして神

開闢の哲学

永井均

〈私〉が〈今〉いるとはどういうことか。カント、ウ
 イトゲンシュタイン、ライプニッツなどを自在に横
 断しながら、自分の言葉で徹底的に哲学する会心の
 傑作。ここから「本当の哲学」が始まる！

720

978-4-06-149745-0

1746

中国の大盗賊・完全版

高島俊男

名著と評価の高い旧版から削除されていた幻の原稿
 百五十枚を完全に復元。毛沢東を最後の盗賊皇帝と
 とらえ、共産党の中国の本質を明かす。劉邦から現
 代まで、中国の歴史を痛快につづる完全版。

800

4-06-149746-4

1749

自由とは何か

「自己責任論」から「理由なき殺人」まで

佐伯啓思

さまざまな場面で使われるようになった「自己責任」という言葉、少年犯罪から戦争の大義まで、現代社会の抱える病の多くは、自由の問題に起因する。自由の本質に鋭く切り込む著者渾身の論考！

840



4-06-149749-9

1753

中国語はおもしろい

新井一二三

実践的な上達法から複眼思考の身に付け方、中華料理の楽しみ、中国人との付き合い方まで。中国語の世界でエッセイストとして活躍を続ける著者が、中国語を知ること広がる世界をくまなくガイド。

800



4-06-149753-7

1755

仏教発見！

西山 厚

お釈迦さまは何をさとしたのか？ 「縁起」と「慈悲」のほんとうの意味とは？ 長年、生の仏教美術にふれてきた博物館の名物学芸員が、思わず誰かに話したくなる仏教の真髓を語りつくす。

720

4-06-149755-3

1759

文系のための数学教室

小島寛之

数式は「眺め方」さえわかればこわくない。棒グラフで読む積分・微分からブラック・シヨールズの公式まで、読んでびっくり、わかって楽しい最新数学入門講座。知らずに生きるのもつたいない！

740



4-06-149759-6

1761

中国文明の歴史

岡田英弘

中国とはどんな意味か。いつ誕生したのか。民族の変遷、王朝の栄枯盛衰、領土の拡大を軸に、中国の歴史をわかりやすく教える。もともとコンパクトで平易な中国史の入門書として好評。

800



4-06-149761-8

1763

ソシユールと言語学

コトバはなぜ通じるのか

町田 健

ソシユールという水源に発した構造主義言語学。その基本的な考え方とは？ ソシユール以後、それはどう受け継がれ、展開してきたか。コトバの謎に挑んだ巨人たちの知的営為を平易に解説する。

760



4-06-149763-4

1765

科学する麻雀

とつげき東北

裏スジは危険ではない。手変わりを待つな。ベタオリには法則がある——龐大なデータと数式が切り開く無知の闇。根拠なき俗説を覆し、麻雀の「答え」に果敢に迫る本邦初の「勝つための」理論書！

800



4-06-149765-0

1767

武装解除

紛争屋が見た世界

伊勢崎賢治

むき出しの暴力、軍閥ボスのエゴ、戦争が日常の子どもたち……。泥沼の紛争地でいかに銃を捨てさせるか？ 東チモールからアフガンまで現場を指揮した男が明かす真実。真の平和論はこの一冊から。

800



4-06-149767-7

1769

まんがパレスチナ問題

山井教雄

なぜアラブとイスラエルは争うの？ 宗教って何？ 民族って何？ パレスチナの少年アリとユダヤの少年ニッサム、そしてエルサレムの猫。二人と一匹が旧約聖書の時代から続く大問題をガイドする。

740



4-06-149769-3

1783

スピノザの世界

神あるいは自然

上野 修

神が唯一絶対の実体であるとして汎神論を説いた一七世紀の哲学者スピノザ。彼が本当に考えたことは何か。なぜ、神にも人間にも自由な意志はないのか。平明にして深い、類例をみない入門書！

760



4-06-149783-9

1786

数学的思考法

説明力を鍛えるヒント

芳沢光雄

大学生はなぜ分数計算ができなくなったのか？ 論理的説明力が低下している理由は？ 「条件反射丸暗記」計算は捨て、試行錯誤で発想力を養おう！ ヒント満載、「本当に考えるためのレッスン」。

740



4-06-149786-3

1787

人生に意味はあるか

諸富祥彦

生の実感が得られない、漠然とした空虚感に苛まれる、心のブレーキが利かない——人気カウンセラーが、文学からスピリチュアリティの名著を足がかりに、〈生きる目的〉の見つけかたを説く。

760



4-06-149787-1

1788

カーニヴァル化する社会

鈴木謙介

ニートと過重労働、監視社会、ケータイ依存。若い世代を取り巻くこうした状況と、それらを支えるデーターベースの行方。「祭り」が日常化する時代の現実に、気鋭の社会学者が鮮やかに切り込む話題書。

740



4-06-149788-X

1797

「特攻」と日本人

保阪正康

肉体を兵器に変えて、四千名余の命が散った。彼らは犬死にか？ それとも戦後の繁栄をつくった英霊か？ 特攻隊員が残した日記・手紙を読み解き、軍部の作戦を検証して、昭和史最大の悲劇に迫る。

800



4-06-149797-9

1805

人類進化の700万年

書き換えられる「ヒトの起源」

三井 誠

「人類の歴史500万年」と言われていたのは昔の話。最古の人類からネアンデルタール人、現生人類の謎まで。最新の研究成果をもとに見えてきた私たちの祖先の姿をわかりやすく説き明かす。

800



4-06-149805-3

<p>1806</p> <p>議論のウン</p> <p>小笠原喜康</p> <p>巷にあふれる言説はウンに満ちている。統計のウン、権威のウン、時間経過やムードによって生じるウンを看破し情報を吟味する術を懇切に説く。単なる正答主義を越え、「自分の視点」を持つために。</p> <p>800</p> <p>4-06-149806-1</p>	<p>1807</p> <p>「戦争学」概論</p> <p>黒野 耐</p> <p>大学で戦争を教えない先進国は日本だけである。愚かな戦争は戦争を知らない政治家が起す。だから戦争を学ぶべきだ——切実な思いから地政学、戦争の変遷、政治の役割を講義する戦争の教科書。</p> <p>840</p> <p>4-06-149807-X</p>	<p>1808</p> <p>ジャズの名盤入門</p> <p>中山康樹</p> <p>BGM代わりに聴き流しては分らない、名盤ならではの魅力とは何か？ スリリングな怒濤のライブからリリカルなピアノトリオまで、今なお刺激的な必聴盤を50枚紹介するディスクガイド。</p> <p>760</p> <p>4-06-149808-8</p>	<p>1809</p> <p>畑村式「わかる」技術</p> <p>畑村洋太郎</p> <p>「わかる」ことから創造も始まる！ 『失敗学』『直観でわかる数学』などで人気の著者が、「なぜわかるのか、わからないのか」から始まり、知的生産をアツブさせるための手法を具体的に解説する。</p> <p>740</p> <p>4-06-149809-6</p>	<p>1810</p> <p>わが子に教える作文教室</p> <p>清水義範</p> <p>父よ母よ、作文の「星一徹」たれ！ こうすれば必ず上手になるという熱血指導術を、楽しい例文つきで紹介。見本からユーモアのある作文まで、実は親もうまくなる名講座。子どもの心が躍ります！</p> <p>720</p> <p>4-06-149810-X</p>
--	---	--	---	--

1811

歴史を学ぶということ

入江 昭

軍国少年として終戦を迎え、高校卒業後、貨物船で渡米——シカゴ大、ハーヴァード大で長年教鞭をとってきた歴史家は、いかに歴史と出会ったのか。現代をどう見ているか。最良の歴史入門書！

740

 4-06-149811-8

1813

はじめての〈超ひも理論〉
宇宙・力・時間の謎を解く

川合 光

時間も空間も1個のひもから始まった！ クオークの正体は何か。重力はいかに説明されたか。「究極の物理理論」を第一線研究者がわかりやすく解説。常識を覆す「サイクリック宇宙」試論も収録！

800

 4-06-149813-4

1826

日本を滅ぼす教育論議

岡本 薫

教育改革が失敗したのはなぜか。混乱の背景には、政策決定から実施まで、全局面での不毛な議論があった。文科省キヤリアが現役最後に明かしておきたかった、ビジネスにも通じる「失敗の構造」。

760

 4-06-149826-6

1827

他人を見下す若者たち

速水敏彦

自分に甘く、他人に厳しい。すぐにイラつき、キレる。自分に非があっても謝らない——若者たちの感情とやる気の変化したのは、なぜか？「自分以外はバカ」の時代を読み解く、現代人必読の書。

760

 4-06-149827-4

1837

若者殺しの時代

堀井憲一郎

クリスマスはいつから恋人たちのものになったのか？ 若者がわりを食う社会の起源は？ すべての謎は80年代にあった！ ずんずん調査のホリエ博士が日本の若者の曲がり角をユニークな視点で探る。

700

 4-06-149837-1

1839

読む哲学事典

田島正樹

本質と時間、愛と暴力、こと私……。対にした項目から思いがけなく見えてくる、日常の言葉と哲学用語が織りなす概念のネットワーク。一流の哲学思考の精髓を軽妙な文章で「読んで愉しむ」事典。

800

4-06-149839-8

1840

算数・数学が得意になる本

芳沢光雄

「分数で割る」って、どういうこと？ マイナスかけるマイナスはなぜプラス？ つまずいても大丈夫！ 「くり上がり・くり下がり」から微積分の考え方で、こうすればわかる数学的思考力育成法。

740

4-06-149840-1

1841

知ってる古文の知らない魅力

鈴木健一

「春はあけぼの」「祇園精舎の鐘の声」。誰でも知っている有名な一節にこんな意味があったとは……。古典という大河からすくい上げられたことばの未知なる魅力を示し、読むことの快楽に誘う一冊。

740

4-06-149841-X

1844

「関係の空気」「場の空気」

冷泉彰彦

一対一では必要なのに、集団で発生すると、個人への圧力となる「空気」。日本社会の大きな特徴でもある空気の問題を、日本語の流通の問題と絡めて論じ、各方面から大きな反響を呼んだ話題書。

740

4-06-149844-4

1849

系統樹思考の世界
すべてはツリーとともに

三中信宏

進化するのは生物だけじゃない。ことば、音楽、車……万物には祖先から子孫への系譜の流れがある。では、いかにして失われた過去の由来関係を推定するか？ その考え方と方法論を平易に解説。

840

4-06-149849-5

1855

だまされない〈議論力〉

吉岡友治

権威・新聞・数字……もつともらしい議論の欠陥をどう見抜くか？ ややこしい話を丸裸にする方法からよくあるステレオタイプの吟味まで、世にはびこる不毛な議論の叩き方を伝授する知的武装の書。

720



4-06-149855-X

1861

〈勝負脳〉の鍛え方

林 成之

あなたが今まで負けていたのは、脳の使い方が悪かったからだ。すぐにあきらめる、勉強しても成果が出ない……スポーツにビジネスに勉強に勝てない脳を、臨床医の第一人者が劇的に変える快著！

720



4-06-149861-4

1862

「普通がいい」という病

泉谷閑示

いつの間にか「〇〇しなくちゃいけない」といった思い込みに捕らわれていませんか？ 私たちに刷り込まれている「常識」を疑い、もつと自分らしく生きるための十のヒントを精神科医が示す。

800



4-06-149862-2

1865

老いるということ

黒井千次

人間にとつて老いとは何か。老いとどのように向き合うべきか。そして老いによって拓かれるより深い領域の可能性とは何か。文芸・映画・演劇等を題材に「老いる」ことの意味を真摯に綴る人生論。

800



4-06-149865-7

1866

欲ばり過ぎる
ニッポンの教育

増田ユリヤ
荻谷剛彦

「学力世界」で注目されるフィンランドの教育を解剖してみると、「教育格差」「学習資本主義の出現」「相對評価でいいのか」など、教育改革以前の、親の不安、学校の困惑など問題点が見えてくる！

800



4-06-149866-5

1867 現代建築に関する16章 五十嵐太郎
空間、時間、そして世界
この百年、建築家は住むこと、建てることの意味を問いつづけてきた。歴史、素材、そして空間に彼らがいかに挑んだか。世界を理解し未来へとつなげようとする試みを十六のキーワードから読みとく。

1870 組織を強くする 技術の伝え方 畑村洋太郎
「一所懸命教えているのになんで伝わらないの?」。多くの現場から聞こえてくるこの嘆き。それに応え「伝える」とは何かを徹底的に解き明かすとともに、より正確でより効果の高い伝え方を示す。

1881 「生きていく」を見つめる医療 ゲノムでよみとく生命誌講座 中村桂子 山岸 敦
「私が生きていく」とはどういうことか。生まれ、育ち、暮らし、老い、死ぬ。かけがえない自分の生命を通して考える他の人々や生物とのつながり。豊かな人生の手がかりと医療の理想がここにある。

1883 ゲーム的リアリズムの誕生 東 浩紀
動物化するポストモダン2
現代日本の物語的思想力の行方とは? オタクを中心として大量に消費されているライトノベル、ゲーム等の作品分析を通じて、ポストモダン社会の生をも見通す。文芸批評に新たな地平を切り拓いた快著。

1885 鉄道ひとつばなし2 原 武史
皇居と鉄道の関係、抱腹絶倒の全線シンポジウム、鉄道から見た「隣県の壁」、日本の駅百選……鉄道から歴史を、天皇を、文学を、そして今の日本を考える。ますます加速する名コラム、待望の第2弾!

1888

50年前の憲法大論争

保阪正康 監修

昭和三十一年三月十六日、衆議院内閣委員会公聴会で展開された白熱の議論の記録。神川彦松・中村哲・戒能通孝の三碩学の公述と、石橋政嗣・飛鳥田一雄・辻政信ら八人の質問はいまこそ必読である。

780



978-4-06-149888-4

1890

「天才」の育て方

五嶋 節

過保護のどこが悪いのか!? 子どもに敬意をもって、我慢する心と継続する力を! 世界的ヴァイオリニストの姉・みどりと弟・龍を育てた母が、音楽論から「いじめ」までを語り尽くす「体当たり教育論」。

740



978-4-06-149890-7

1891

生物と無生物のあいだ

福岡伸一

「生きている」とはどういうことか? 分子生物学がたどりついた地平を、歴史の闇に沈んだ科学者たちの思考と自身の研究遍歴から平易につづる。ペー지를めぐる手がとまらない極上の科学ミステリー。

740

978-4-06-149891-4

1892

近江から日本史を読み直す

今谷 明

信長、比叡山、近江商人……。時代を動かしたのは、この地が秘めたエネルギーだった。東西日本の接点として古くから政治や経済、文化の要衝であった「湖国」から歴史の核心に迫る、異色の日本通史。

800



978-4-06-149892-1

1900

日中戦争

小林英夫

日中戦争とは、日本の殲滅戦略と中国の消耗戦略の激突だった! 日中両国民の思いが綴られた新史料を手掛かりに、当時の庶民、軍人、文化人らが見た戦争を活写し、日本軍敗北の原因を探る一冊。

760



978-4-06-287900-2

殲滅戦から消耗戦へ

<p>1904</p> <p>八幡神と神仏習合</p> <p>達^{つじ} 日出典</p> <p>八幡神はもともと新羅からやつてきた渡来神だった。九州宇佐の地を中心にして勢力を広げ、やがては日本の神仏習合を主導、天皇家とも関わりの深い神の秘密を丹念な調査をもとに明らかにする。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-287904-0</p>	<p>1912</p> <p>リストカッツ</p> <p>自傷行為をのりこえる</p> <p>林 直樹</p> <p>近年、若者を中心に広がりを見せている自傷行為。彼らはなぜ、自らの身体を傷つけようとするのか。そのメカニズムを知り、豊富な症例をもとに、自傷者への対処法を解説する、初めてのハンドブック。</p> <p>760</p> <p>978-4-06-287912-5</p>	<p>1915</p> <p>ベートーヴェンの交響曲</p> <p>金 聖響 玉木正之</p> <p>第一番にして革命的、第五番は完璧な構築物、第七番は狂乱の舞踏のリズム……。それぞれがまったく異なる個性を持つ九つの交響曲を気鋭の指揮者、金聖響が解説。読めばクラシック観がガラリと変わる。</p> <p>760</p> <p>978-4-06-287915-6</p>	<p>1918</p> <p>日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか</p> <p>内山 節</p> <p>転機は1965年だった――。そのとき私たち日本人の精神世界にどんな変化が起こり、何を失ったのか。森を歩き山里に暮らす哲学者が、日本各地で得た証言から、「みえなくなつた」歴史を問い直す。</p> <p>720</p> <p>978-4-06-287918-7</p>	<p>1921</p> <p>モテたい理由</p> <p>男の受難・女の業</p> <p>赤坂真理</p> <p>女性誌はなぜ「モテ」を大合唱するのか？ その先に幸せはあるのか？ 蔓延する自分語りの文法から恋愛至上主義とオタクの関係まで、みんなで無理してみんなが息苦しい男女の今を鮮やかにえぐる！</p> <p>720</p> <p>978-4-06-287921-7</p>
--	---	--	--	--

1922

発達障害の子どもたち

杉山登志郎

言葉が幼い、落ち着きがない、情緒が不安定。そだちが遅れる子どもに対して治療や養護をどう進めるか。ADHD、アスペルガーから自閉症まで、子どもと向き合ってきた第一人者がやさしく教える。

760



978-4-06-280040-2

1924

東京裁判

〈サントリー学芸賞受賞〉

日暮吉延

イデオロギーを排し、徹底的な実証と醒めた認識で法廷内外の「事実」を追ってみる。するとあの裁判が「国際政治」の産物以上のものではないとわかってくる。戦後を呪縛する長年の論争に終止符を打つ。

1,100



978-4-06-287924-8

1925

数学でつまずくのはなぜか

小島寛之

マイナス×マイナスはなぜプラス？ 証明問題はとうしてややこしい約束事ばかりなのか？ 学校教育の落とし穴から抜け出すまったくユニークな数学伝授法を大公開。数学的センスは誰のなかにもある！

760



978-4-06-287925-5

1926

不機嫌な職場

なぜ社員同士で協力できないのか

高橋克徳
河合太介
永田稔
渡部幹

何となくいつもイライラ・ギスギス……。そんな職場になっていませんか？ 多くの会社で陥っている「負の構造」を明らかにし、その解決法をグループなどの実例で明らかにする。会社活性化に必須の書。

760



978-4-06-287926-2

1929

脳のなかの身体

認知運動療法の挑戦

宮本省三

リハビリに奇跡はない、しかし進歩はある――。脳神経システムの再構築によって運動麻痺を克服し、心身の回復による人間の再生をめざす画期的療法を哲学的身体論や脳科学の知見を駆使して紹介する。

740



978-4-06-287929-3

<p>1940</p> <p>調べる技術・書く技術</p> <p>野村 進</p> <p>これがプロの知的生産術だ！ テーマ選び、資料収集法、質問の作り方から、インタビュウの実際、原稿執筆のコツまで——第一線のジャーナリストがすべて明かす。レポート作成などに役立つと好評。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-287940-8</p>	<p>1936</p> <p>かけがえのない人間</p> <p>上田紀行</p> <p>自分は情けない人間でない。社会から見捨てられた交換可能な消耗品、「使い捨て」ではなく「かけがえのない人間」だ、と自ら引き受けた時に人の行動は確実に変化します。人生の宝に出会う感動の書。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-287936-1</p>	<p>1935</p> <p>中学入試国語のルール</p> <p>石原千秋</p> <p>入試で点差が開くのは何といつても国語。でも大丈夫。この16のルールさえ押さえておけば、解くのは簡単！ 本書のページをめくれば、わが子と志望校の相性までわかるはず。損はさせません。</p> <p>780</p> <p>978-4-06-287935-4</p>	<p>1932</p> <p>都市計画の世界史</p> <p>日端康雄</p> <p>「自然は神が創り、都市は人間が造った」。古代エジプト・メソポタミアから21世紀の巨大都市まで。人類が都市に注ぎ込んできた思想と技術の軌跡を辿り、現代の「都市の時代」に生かせる知恵を探る。</p> <p>1,000</p> <p>978-4-06-287932-3</p>	<p>1931</p> <p>幕臣たちの明治維新</p> <p>安藤優一郎</p> <p>〈賊軍〉の烙印を押された徳川家臣団3万人はあのときどこへ消えたのか？ 敢行された大リストラの実態から、失敗だらけの商人デビュウ、静岡での茶畑開墾まで、語られなかった歴史の真相を明かす。</p> <p>700</p> <p>978-4-06-287931-6</p>
---	---	---	---	--

1941

プロ野球の一流たち

二宮清純

山崎武司打撃開眼の理由とは？ 新井貴浩はアニキを超えられるか？ 松坂大輔永遠の課題とは？ 中西太が語る強打者育成術、野村克也の配球術――。人気著者が打撃の極意、投球の真髄に迫る！

760



978-4-06-287941-5

1943

なぜ日本人は学ばなくなつたのか

齋藤 孝

勉強嫌い、読書量の不足、敬意の喪失など萎縮する若者が「できる」大人になるためにはどうするか。自己形成を軸とした根源的な問いを語り合う「心の習慣」など、教育力を取り戻すための画期的考察。

760



978-4-06-287943-9

1947

落語の国から のぞいてみれば

堀井憲一郎

個性をやたら重視するムード、恋愛こそすべてという圧力、死んだらおしまいと言えない空気……いまの世の中はどこか息苦しくないか？ 落語のなかに生きる人々の姿から、近代人のおかしさを撃つ！

740



978-4-06-287947-7

1948

理性の限界 不可能性・不確定性・不完全性

高橋昌一郎

我々が信じる合理的選択、科学的認識、論理的思考は、絶対的なものではない！ 世界の根源に関わる事象と密接に関連する人間の「理性の限界」と可能性をダイベート形式で平易に描く論理学入門書。

800



978-4-06-287948-4

1949

見えないアメリカ 保守とリベラルのあいだ

渡辺将人

スタバ好きはリベラル!? アメリカ人はみんなワシントンが大嫌い!? 暮らしの中に息づいた政治性の起源を、気鋭の政治学者が選挙現場での経験から探る。誰も知らないアメリカ発見の旅へようこそ！

800

978-4-06-287949-1

1961	1960	1958	1957	1950
<p data-bbox="197 152 246 438">国際正義の論理</p> <p data-bbox="203 665 241 808">押村 高</p> <p data-bbox="154 833 291 1421">正義とは唯一のものか、それとも複数存在するものか!? 「国家の主権」と「人間の安全保障」が拮抗する時代において、古くて新しい問いに真正面から立ち向かい、真の文明間対話を模索する一冊。</p> <p data-bbox="197 1438 246 1471">800</p> <p data-bbox="151 1505 294 1522">978-4-06-287961-3</p>	<p data-bbox="355 152 404 396">女装と日本人</p> <p data-bbox="355 665 399 808">三橋 順子</p> <p data-bbox="311 833 448 1421">ヤマトタケルの神話、中世の女装稚児、歌舞伎の女形、江戸の陰間、現代のニューハーフ……。私たちはどうしてこんなに女装が好きなのか? ♪女装を軸に日本文化史を読み直した空前絶後の快著!</p> <p data-bbox="342 1438 415 1471">1,000</p> <p data-bbox="306 1505 449 1522">978-4-06-287960-6</p>	<p data-bbox="474 152 560 396">早稲田と慶応 名門私大の栄光と影</p> <p data-bbox="513 665 570 808">橋本 俊詔</p> <p data-bbox="467 833 603 1421">なぜ早慶出身の首相が増えたのか? 卒業生が実業界で活躍する理由とは? 国立大の後塵を拝していた両校はなぜ躍進したのか? 一貫教育、研究水準など名門私大を徹底解剖し、その戦略を明かす。</p> <p data-bbox="508 1438 560 1471">800</p> <p data-bbox="464 1505 607 1522">978-4-06-287958-3</p>	<p data-bbox="630 152 712 488">リアルのゆくえ おたく／オタクはどう生きるか</p> <p data-bbox="650 665 732 808">大塚 英志 東 浩紀</p> <p data-bbox="624 833 761 1421">「知識人」は希望を語れるか。「世代間闘争」の末に見えた地平は? サブカルチャーの諸問題から権力論、国家論まで、現代を代表するふたりの批評家が語り尽くす話題の書。</p> <p data-bbox="666 1438 717 1471">860</p> <p data-bbox="619 1505 762 1522">978-4-06-287957-6</p>	<p data-bbox="821 152 870 472">「昭和」を点検する</p> <p data-bbox="806 665 887 808">保阪 正康 半藤 一利</p> <p data-bbox="780 833 916 1421">なぜ、あの無謀な戦争に突入していったのか? 五つのありふれた言葉が日本人の弱点をあぶり出す。昭和史研究の第一人者が、いまの時代にどうしても語っておきたかったことを凝縮した珠玉の対論。</p> <p data-bbox="821 1438 873 1471">720</p> <p data-bbox="774 1505 917 1522">978-4-06-287950-7</p>

<p>1971</p> <p>靖国・アジア・東京裁判</p> <p>歴史と外交</p> <p>東郷和彦</p> <p>政治が歴史に变じ、歴史は政治に転ずる。そのダイナミズムをいかにして掴み、国益を守るか。戦後日本外交の第一線に立って戦ってきた元外交官が「昭和」の過ちを昇華せんとする体験的思索の書。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-287971-2</p>	<p>1970</p> <p>ビートルズの謎</p> <p>中山康樹</p> <p>新資料や証言で、ビートルズの伝説は日々更新されている! 「レイモンド・ジョーンズ」は実在したか? 発禁ジャケットはなぜ生まれたか。解散の真相とは? 音楽ファン必読のスリリングな書。</p> <p>780</p> <p>978-4-06-287970-5</p>	<p>1966</p> <p>〈満洲〉の歴史</p> <p>小林英夫</p> <p>第一人者によるこれまでになかった満洲入門書。17世紀〜19世紀の「清朝封禁の地」から、20世紀の満洲国の実態まで、日本にとって満洲とは何だったのかを真摯に問う、新しい視点の中国東北史。</p> <p>840</p> <p>978-4-06-287966-8</p>	<p>1965</p> <p>創価学会の研究</p> <p>玉野和志</p> <p>勤行、教学、折伏、財務。学会員の日常とは。なぜ非学会員は学会を嫌うのか。他の宗教と何が違うか。保守化・巨大化した組織の行方は。社会学者が実像に迫って書いた、批判でも賞賛でもない学会論。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-287965-1</p>	<p>1962</p> <p>親子という病</p> <p>香山リカ</p> <p>親が子の幸せを願う思いは無償なのか。子が親を慕う気持ちに偽りはないのか。頻発する親殺し、母親礼賛、中年反抗期、子どもの虐待死、べったり母娘、など深まる親子の病理の背景に潜む問題点とは――。</p> <p>700</p> <p>978-4-06-287962-0</p>
--	---	---	---	--

1977

天皇陛下の全仕事

山本雅人

天皇陛下は毎日どんな仕事をどのように行われているのか？ 天皇・皇后両陛下の「平成流スタイル」とは？ 素朴な疑問にこたえて、元宮内記者がわかりやすく解説。皇室報道が倍おもしろくなる！

900

978-4-06-287977-4

1978

思考停止社会

「遵守」に蝕まれる日本

郷原信郎

いまや「遵守」の害は法令だけではなく、社会規範にまで及んでいる。食の「偽装」に隠された真実、「年金改ざん」問題の嘘、裁判員制度の迷走など、社会システムを脅かすそのメカニズムを解明する。

740

978-4-06-287978-1

1979

回復力

失敗からの復活

畑村洋太郎

人は誰でも失敗する。失敗すれば誰でも落ち込む。でも本当に大切なのはそこからだ。誰もが持っている回復力を信じ、待つことができれば、必ず壁は乗り越えられる。そのためのコツを第一人者が示す。

720

978-4-06-287979-8

1981

日本語論理トレーニング

正しく読み、深く考える

中井浩一

「論理」は日常のあらゆることばや文章の中にある、思考力とは論理の運用能力に他ならない。学校国語では身につかない論理力を鍛えるための、国語専門塾塾長の著者によるシンプルで実践的な訓練法。

800

978-4-06-287981-1

1982

皇軍兵士の日常生活

一ノ瀬俊也

アジア・太平洋戦争は本当に日本社会を公平化したのか？ 昇進につきまとう学歴の壁、応召手当をめぐる格差、食糧をめぐる将校と兵士の違い――。戦争に翻弄された兵士と家族の群像を描き出す。

780

978-4-06-287982-8

1984

いじめの構造

なぜ人が怪物になるのか

内藤朝雄

学校や社会からこの苦しみが消えない原因とは？「いじめの秩序のメカニズム」癒しとしての「いじめ」とは？「いじめ研究」の第一人者として知られる著者が、問題の本質を明らかにし、解決の道を探る。

800

978-4-06-287984-2

1985

日米同盟の正体

迷走する安全保障

孫崎 享

冷戦後、新たな脅威を求めて迷走する米国。何の戦略も持たないまま、米国との一体化の道を進む日本。外交・国防を熟知する日本を代表するインテリジェンスの専門家だからこそ書けた日米の危機の真相。

760

978-4-06-287985-9

1988

入門 哲学としての仏教

竹村牧男

仏教とはかくもモダンな思想だったのか！ 実体を否定する縁起と無我。意識下の世界を究明する唯識思想。絶対現在の時間論——。現代哲学を先取りした思想の本質を、第一人者が解き明かす入門書。

800

978-4-06-287988-0

1990

ロマン派の交響曲

『未完成』から『悲愴』まで

金 聖響
玉木正之

シューベルト、ベルリオーズ、メンデルスゾーン、シューマン、ブラームス、チャイコフスキー。19世紀西洋音楽豊饒の時代、百花繚乱のスターたちの名曲の魅力をも、人気指揮者と評論家が語り尽くす。

760

978-4-06-287990-3

1992

経済成長という病

退化に生きる、我ら

平川克美

不安におびえ、崩れゆく時代の中で、いま何を考えなければならぬのか。ビジネスの現場と思想を往還しながら、表層的な経済分析や処方箋を越えて、私たちの思考に取り憑いた幻想と真摯に向き合う。

740

978-4-06-287992-7

2000	1999	1997	1996	1993
<p data-bbox="200 152 246 799">世界は分けてもわからない 福岡伸一</p> <p data-bbox="156 833 291 1424">生命に「部分」はあるか？ なぜ存在しない境界線を私たちは見てしまうのか？ 脳が持つ厄介な認識の癖をえぐり、生命の本質を捉え直す。至福の読書体験を約束する福岡ハカセの科学ミステリー。</p> <p data-bbox="197 1441 249 1471">780</p> <p data-bbox="149 1505 296 1522">978-4-06-288000-8</p>	<p data-bbox="356 152 401 441">吉田茂と昭和史</p> <p data-bbox="360 665 401 799">井上寿一</p> <p data-bbox="311 833 446 1424">吉田を知ることなく、今の日本を語ることはできない！ 〈自立〉か〈協調〉か、〈自由〉か〈統制〉か。憲法改正、サンフランシスコ講和など、戦後日本のかたちをつくった宰相と日本人のドラマ！</p> <p data-bbox="353 1441 405 1471">760</p> <p data-bbox="304 1505 451 1522">978-4-06-287999-6</p>	<p data-bbox="511 152 557 357">日本の雇用</p> <p data-bbox="474 152 505 441">ほんとうは何が問題なのか</p> <p data-bbox="515 631 557 811">大久保幸夫</p> <p data-bbox="467 833 601 1424">正社員2人に1人が不安を感じている。原因は不況だけではない。ミドル社員の危機。正社員中心の組織の制度疲労。個人の孤立……。企業の本音を知り尽くした第一人者が問題の核心に切り込む。</p> <p data-bbox="508 1441 560 1471">760</p> <p data-bbox="459 1505 607 1522">978-4-06-287997-2</p>	<p data-bbox="646 152 733 525">今こそアーレントを 読み直す</p> <p data-bbox="671 665 712 811">仲正昌樹</p> <p data-bbox="622 833 757 1424">政治哲学者、ハンナ・アーレントが再び注目を集めている。閉塞した時代だからこそ、全体主義を疑い、人間の本性・公共性を探るアーレント的思考が現代社会を救う。「精神の生活」を考察する試み。</p> <p data-bbox="664 1441 715 1471">760</p> <p data-bbox="615 1505 762 1522">978-4-06-287996-5</p>	<p data-bbox="822 152 868 475">新しい「教育格差」</p> <p data-bbox="826 631 868 811">増田ユリヤ</p> <p data-bbox="778 833 912 1424">学力低下・進路不安・学校不信・教員不平等など学生のみならず教師の心も崩壊寸前の教育現場。お金をかけないと学力は伸びないのか、学校間格差は是正できないのか、など誰もが知りたい問題を取材。</p> <p data-bbox="819 1441 871 1471">720</p> <p data-bbox="770 1505 917 1522">978-4-06-287993-4</p>

2003

わかりやすく〈伝える〉技術 池上 彰

会議やプレゼンの前に必読！ ニュース解説で人気の著者が、テレビの現場での経験から学んだテクニクを紹介。話の組み立て方、聞き手の引き付け方、図解法、文章上達術など、使えるヒント満載。

740



978-4-06-288003-9

2004

はじめての言語ゲーム 橋爪大三郎

世界のあらゆるふるまいを説明しつくそうとしたヴィトゲンシュタインの言語ゲーム論は、いかに生まれ、どんな思想なのか？ 名著「はじめての構造主義」著者による、あたらしい哲学入門！

800



978-4-06-288004-6

2005

カペー朝 フランス王朝史①

佐藤賢一

始祖は凡庸な男。強力な敵に周りを囲まれながら、どうやって小さな王家はローマ教皇や神聖ローマ皇帝と並ぶヨーロッパの実力者に成り上がっていったのか？ その軌跡を直木賞作家が鮮やかに描く。

740



978-4-06-288005-3

2006

「空気」と「世間」

鴻上尚史

なぜか逆らえない場の「空気」。その正体を探っていくと見えてきたのが、崩れかけた「世間」の姿だった。我々を取り巻く「空気」と「世間」を知り、息苦しい日本を生きていくための、方法を示す。

800



978-4-06-288006-0

2007

落語論

堀井憲一郎

なぜ同じ噺を繰り返し聴いても飽きないのか？ うまいと下手の分かれ目はどこにあるか？ 観客もまた落語の一部!? よくある誤解をひっくり返し、落語の真髓をえぐり出す。全落語ファン必読の書。

720



978-4-06-288007-7

2014	2013	2010	2009	2008
<p data-bbox="199 147 244 438">分類思考の世界</p> <p data-bbox="161 147 192 534">なぜヒトは万物を「種」に分けるのか</p> <p data-bbox="203 665 241 808">三中信宏</p> <p data-bbox="156 833 291 1421">この世の森羅万象を体系化して理解しようとするとき、私たちは名前をつけ、分類する。しかしそこには長年、生物学者たちを苦しめ続ける超難問が潜んでいた。人間の「知」の根源に迫る渾身の論考。</p> <p data-bbox="199 1438 244 1468">880</p> <p data-bbox="151 1501 296 1522">978-4-06-288014-5</p>	<p data-bbox="355 147 399 522">日本語という外国語</p> <p data-bbox="358 665 396 808">荒川洋平</p> <p data-bbox="311 833 446 1421">日本語は世界の中で見るとどんな言語なのか？ 日本語教育では、日本語だけを使って、読み書き、文法などをどう教えるのか？ 実際の授業を紹介しながら、日本人の知らない「日本語の個性」を語る。</p> <p data-bbox="355 1438 399 1468">800</p> <p data-bbox="308 1501 453 1522">978-4-06-288013-8</p>	<p data-bbox="515 147 560 808">日本銀行は信用できるか</p> <p data-bbox="513 631 552 808">岩田規久男</p> <p data-bbox="467 833 601 1421">日本経済最悪のシナリオ、デフレが進行している。中央銀行である日銀にはガバナンスが存在せず、金融政策の達成目標も曖昧なままだ。内需も外需も総崩れの現在、政府と日銀へインフレ目標設定を提言。</p> <p data-bbox="510 1438 555 1468">720</p> <p data-bbox="464 1501 609 1522">978-4-06-288010-7</p>	<p data-bbox="671 147 715 438">ニッポンの思想</p> <p data-bbox="671 631 709 808">佐々木 敦</p> <p data-bbox="624 833 759 1421">80年代、浅田彰・中沢新一が登場した衝撃、柄谷行人・蓮實重彦の思想、90年代における福田和也・大塚英志・宮台真司の存在感、ゼロ年代に大きな影響を与えた東浩紀。思想と批評がこの一冊でわかる。</p> <p data-bbox="668 1438 712 1468">800</p> <p data-bbox="621 1501 766 1522">978-4-06-288009-1</p>	<p data-bbox="826 147 871 581">関係する女 所有する男</p> <p data-bbox="826 665 865 808">斎藤 環</p> <p data-bbox="780 833 914 1421">「斎藤環さんの見方で物事を考えると、実にいろいろなことがわかってくる。私は、この本から鍵を貫つて、新しい扉を開けた気がした」（桐野夏生）。男女の違いという難問に精神科医が挑んだ快著！</p> <p data-bbox="823 1438 868 1468">800</p> <p data-bbox="777 1501 922 1522">978-4-06-288008-4</p>

2016

職場は感情で変わる

高橋克徳

ベストセラー『不機嫌な職場』の解決編登場！自分たちの感情の「連鎖」に注目することから、良い職場・組織づくりは始まる。それぞれの職場・組織に合った連鎖を生み出す方法を具体的に解説する。

740



978-4-06-288016-9

2018

古代中国の虚像と実像

落合淳思

「夏王朝」の真実、政治手段としての甲骨占卜、作られた「酒池肉林」、始皇帝伝説の誤謬、赤壁の戦いの真相……。新石器時代から三国志の時代に至る古代中国の世界を、最新研究をもとに捉え直す。

760



978-4-06-288018-3

2021

新版 大学生のための レポート・論文術

小笠原喜康

25万部ベスト&ロングセラーの『大学生のためのレポート・論文術』をアップデートした改訂版。誰も教えてくれない基礎の基礎から、ネット検索術、スケジュールまで。絶対誰でも書ける超入門！

740



978-4-06-288021-3

2023

ロボットとは何か

人の心を映す鏡

石黒 浩

「なぜ私は人型ロボットを作るのか」。自分がモデルのアンドロイド、ロボット演劇など、世界が目にする「人間酷似型ロボット」の第一人者が、その研究と「人間とは？」という問いの軌跡を綴る快著。

740



978-4-06-288023-7

2025

まんが 現代史

アメリカが戦争をやめない理由

山井教雄

ヤルタ会談からベルリンの壁、ベトナム戦争、ソ連解体、9・11からイラク戦争、オバマの誕生まで。「米国と戦争」を軸に、知っておきたい激動の二〇世紀から二一世紀の歴史を絵と文でやさしく解説。

780



978-4-06-288025-1

<p>2027</p> <p>地アタマを鍛える 知的勉強法</p> <p>齋藤 孝</p> <p>「論語」の教え、目次勉強法、参考書の選び方、勉強時の呼吸法、本番で力を発揮するコツなど、抜群の「学ぶ力」の身につけ方を伝授。勉強ギライだった著者が、勉強法を工夫することで体得した独創的学習法。</p> <p>720</p> <p>978-4-06-288027-5</p>	<p>2029</p> <p>決定版 一億人の俳句入門</p> <p>長谷川 権</p> <p>「五・七・五」「切れ」「季語」等、俳句にまつわる約束を、芭蕉らの名句を挙げて明快に解説。約束の理由がわかれば自在に詠める。初心者から上級者まで必読の書。この一冊でああなたの句が変わる！</p> <p>720</p> <p>978-4-06-288029-9</p>	<p>2030</p> <p>がんを生きる</p> <p>佐々木常雄</p> <p>主治医から余命を告げられたら、どうすればいいか。告知、治療、緩和の現在とは。最後まで希望をもって生き抜くためには——2000名を担当した名医が、患者と家族にやさしく問いかける。</p> <p>760</p> <p>978-4-06-288030-5</p>	<p>2031</p> <p>明治維新 1858-1881</p> <p>坂野潤治 大野健一</p> <p>途上国ニッポンはなぜ一等国になれたのか？「富国強兵」と「公議輿論」——。幕末維新期、複数の国家目標を成就に導いた「柔構造」モデルとは？ 世界史上希有な「武士の革命」を捉えなおす一冊。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-288031-2</p>	<p>2033</p> <p>新編 日本語誤用・慣用小辞典</p> <p>国広哲弥</p> <p>「誤用は変化の波頭」——。言語学（意味論）の権威が豊富な実例を材料に誤用・慣用・正用を判定。ベストセラーとなった旧版（正・続）の内容を精選し、新項目を追加。あなたの日本語は大丈夫？</p> <p>780</p> <p>978-4-06-288033-6</p>
---	--	--	---	---

<p>2040</p> <p>中世を道から読む</p> <p>齋藤慎一</p> <p>乱世を生き抜かんとする武将たちの最大の敵、それは自然現象だった。積雪や険峻な峠、河川の増水。往来を制する者だけが勝利をおさめる。知られざる中世の交通・兵站と情報網、地域の実態に迫る。</p> <p>740</p> <p>978-4-06-28804-4</p>	<p>2039</p> <p>ソーシャルブレインズ入門 〔社会脳〕って何だろう</p> <p>藤井直敬</p> <p>場の空気を讀んだり、人とききあったり、がまんしたりする脳の機能とは？ いまもつとも注目される「社会脳」研究を、新たな枠組みと実験手法によって切り開きつつある研究者がやさしく語る。</p> <p>740</p> <p>978-4-06-288039-8</p>	<p>2038</p> <p>ガラパゴス化する日本</p> <p>吉川尚宏</p> <p>携帯電話、電子マネー、大学、医療……。なぜか日本でしか通用しない製品やサービスは増える一方。そして日本の国もまたアジアの中で孤島化が進むのか？ 停滞する日本を象徴する最重要論点を解く。</p> <p>760</p> <p>978-4-06-288038-1</p>	<p>2036</p> <p>決算書はここだけ読め！</p> <p>前川修満</p> <p>決算書を読みこなすために必要な知識はたったの5つでいい！ 20年に及ぶセミナー講師の経験が生み出した秘訣を惜しみなく大公開。最後まで読み通せて、理解できることを保証します。</p> <p>760</p> <p>978-4-06-288036-7</p>	<p>2035</p> <p>22歳からの国語力</p> <p>川辺秀美</p> <p>社会で必要とされるのは、学校で学んできた「教養としての国語力」ではなく、「読む」「書く」「聴く」「話す」「編集する」という「実践的な国語力」。就活から新社会人まで、効果抜群の学習法！</p> <p>720</p> <p>978-4-06-288035-0</p>
--	---	--	---	--

2050	2048	2046	2045	2044
<p data-bbox="174 147 267 556">超解読！ はじめての ヘーゲル『精神現象学』</p> <p data-bbox="180 661 263 808">竹田青嗣 西 研</p> <p data-bbox="153 829 291 1424">知の巨人が捉えた近代のありようとは？ 欲望の本質とは？ 哲学史上、最重要かつ最難解な書物をおなじみのコンビがわかりやすく解読。予備知識なしに重要哲学書がわかる「超解読」シリーズ第1弾！</p> <p data-bbox="194 1438 249 1468">840</p> <p data-bbox="149 1501 297 1522">978-4-06-288050-3</p>	<p data-bbox="314 147 401 463">不可測性・不確定性・不可知性 知性の限界</p> <p data-bbox="356 624 397 808">高橋昌一郎</p> <p data-bbox="308 829 446 1424">大好評『理性の限界』の著者による熱く楽しい哲学ダイベート第2弾。本書ではウイトゲンシュタインらの論を紹介しつつ、人間の知的営為の基本である「言語」「予測」「思考」の限界と可能性に迫る。</p> <p data-bbox="350 1438 405 1468">760</p> <p data-bbox="304 1501 452 1522">978-4-06-288048-0</p>	<p data-bbox="508 147 557 808">大学生のための知的勉強術 松野 弘</p> <p data-bbox="464 829 601 1424">社会で役立つ「知」を身につけるには？ 「知る・調べる」コツや、いい大学教授・ゼミの見分け方、効果的なプレゼンの方法、論文の書き方など、大学生が知っておきたいことを丁寧に徹底的に解説！</p> <p data-bbox="505 1438 560 1468">740</p> <p data-bbox="459 1501 608 1522">978-4-06-288046-6</p>	<p data-bbox="664 147 712 808">マイケル・ジャクソン 西寺郷太</p> <p data-bbox="619 829 757 1424">二度にわたる「少年虐待疑惑」の真相、ジャクソン家内部の対立・離散、「THIS IS IT」までの道のりと舞台裏——なぜマイケルは誤解されたか。短い生涯を正確に伝える貴重な書。</p> <p data-bbox="660 1438 715 1468">740</p> <p data-bbox="615 1501 763 1522">978-4-06-288045-9</p>	<p data-bbox="819 147 868 808">母親はなぜ生きづらいか 香山リカ</p> <p data-bbox="774 829 912 1424">いつから子育ては母親まかせになったのだろう。母性の歴史をひもときながら、母親の悩み、子供の希望など母子関係の真実を探る。家族には、一人ひとり違う心と居場所があるという「問い」。</p> <p data-bbox="816 1438 871 1468">720</p> <p data-bbox="770 1501 918 1522">978-4-06-288044-2</p>

2053

〈中東〉の考え方

酒井啓子

パレスチナ問題、オイルマネー、イランの動向、イスラーム主義の台頭、メディアとアイデンティティ。複雑な中東情勢を、近現代史、国際経済、国際政治に位置づけてわかりやすく説く入門書。

800



978-4-06-288053-4

2054

〈わかりやすさ〉の勉強法

池上 彰

わかりやすいニュース解説の第一人者のスキルを惜しみなく公開。日常の情報収集・整理やテレビの現場でのプロとしての工夫。すべて独学で身につけたコツとワザは、読んですぐ応用できることばかり。

720



978-4-06-288054-1

2055

世界の野菜を旅する

玉村豊男

イギリスで教えられたレタスの活き作りとは？ 中で供された驚きのナス料理とは？ 野菜がもつ物語を知れば、さらに美味しく食べられる。世界各国の野菜の起源、伝播、栽培、料理を紹介する。

840



978-4-06-288055-8

2058

浮世絵は語る

浅野秀剛

名画の考証はおもしろい！ 歌麿の遊女絵、写楽の大首絵、北斎の名所絵……。なじみ深い名画の数々は一体「いつ」頃、「何を」描いた作品なのか。浮世絵に秘められた知られざる事実を解き明かす一冊。

860

978-4-06-288058-9

2062

人間関係のレッスン

向後善之

「一生懸命やっているのに人間関係がうまくいかない」と悩む人は多い。でも「つきあい下手」は必ず変えられる。カウンセリングの専門家が説く、本当の感情を見つけることで自分を変えるレッスン。

720



978-4-06-288062-6

2064

決算書はここだけ読め！

キャッシュフロー計算書編

前川修満

デフレ時代の経営でいちばん大事なこと、それは「現金の流れ」を押さえ、会社の現状をつかむことだ。決算書を「読む」立場に徹し、企業の血の巡りを素早く、正確に知る方法をわかりやすく伝授。

760



978-4-06-288064-0

2065

江戸の気分

堀井憲一郎

病は引き受ける、神様はすぐそこにいる、米さえ食べられれば何とかなる、顔がお金のかわり……大切なことはみんな落語が教えてくれた。生き生きと語り継がれる江戸庶民の暮らしと知恵に学ぶ。

740



978-4-06-288065-7

2067

日本料理の贅沢

神田裕行

世界中でも日本料理にしかない贅沢な醍醐味——。『ミシユランガイド東京』で連続三つ星を取っている名店「かんだ」の主人が、生きた素材との対話を通して会得した日本料理の本質と可能性を語る。

760



978-4-06-288067-1

2068

財政危機と社会保障

鈴木 亘

日本の財政危機はどのくらい深刻か、医療・介護は成長産業なのか、少子高齢化・人口減少の影響とは何か、待機児童問題はなぜ解決しないのか。借金大国日本で、安心して暮らすための社会保障入門。

760



978-4-06-288068-8

2069

攘夷の幕末史

町田明広

坂本龍馬も、勝海舟も、みんな「攘夷派」だった！ロシアの脅威、そしてペリー来航に直面した当時の日本人の対外認識とは？〈尊王攘夷〉と〈公武合体〉の対立という幕末史の定説をくつがえす一冊。

720



978-4-06-288069-5

<p>2079</p> <p>笑顔のまま 認知症と長寿社会</p> <p>信濃毎日新聞 取材班</p> <p>新聞協会賞（編集部門）はじめ四賞受賞。介護する家族、自宅介護と施設の受け入れ、研究と医療の現在、地域の取り組みなどを克明に取材、実名報道し、連載中から共感と大反響を呼んだ感動ルポ。</p> <p>760</p> <p>978-4-06-288079-4</p>	<p>2076</p> <p>子ども虐待</p> <p>西澤 哲</p> <p>なぜ親が子を傷つけるのか。傷ついた心をどう癒すのか。性的虐待は子どもをどう蝕むのか。三十年にわたり虐待の臨床心理に取り組んできた著者が、問題の本質から心のケアまでを語る。</p> <p>740</p> <p>978-4-06-288076-3</p>	<p>2073</p> <p>リスクに背を向ける日本人</p> <p>メアリー・C・ブリントン</p> <p>山岸俊男</p> <p>日本人は意思を言葉で伝えない。社会にセカンドチャンスがない。実はアメリカより日本の方がリスクが高い——という日本の安心・安全の「落とし穴」について、日米を代表する学者が徹底討論をする。</p> <p>760</p> <p>978-4-06-288073-2</p>	<p>2071</p> <p>村上春樹を読みつくす</p> <p>小山鉄郎</p> <p>リトル・ピープル、羊男、ドーナツ、井戸、螢、海辺——村上春樹の小説作品を徹底する物語世界とは何か。デビューから一貫して描いてきた日本とは？これまでの作家イメージを一新する画期的な春樹論。</p> <p>760</p> <p>978-4-06-288071-8</p>	<p>2070</p> <p>イギリス近代史講義</p> <p>川北 稔</p> <p>昼寝よりも残業を選ぶ心性はいつ生まれたか。近世イギリスの高齢者問題とは？産業革命はなぜイギリスで起きたか。生活史、世界システム論を拓いた泰斗が大英帝国の成長と衰退を描く画期的入門書。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-288070-1</p>
---	---	---	--	---

<p>2081</p> <p>はじめてのポルトガル語</p> <p>浜岡 究</p> <p>実際にコミュニケーションをとるために必要な文法や単語を体系立てて解説。丁寧な発音指導に、ポルトガル語圏での文法・発音の違い、文化・慣習まで紹介した実践的入門書の登場！</p> <p>760</p> <p>978-4-06-288081-7</p>	<p>2082</p> <p>変わる家族と介護</p> <p>春日キスヨ</p> <p>中年の子を養い続ける親。介護するシングル息子娘の孤独。仲の良くない夫婦の老後、夫の親より自分の親を優先する妻……。社会で孤立する家族、高齢者が増えている。その背景をエッセイと解説で語る。</p> <p>720</p> <p>978-4-06-288082-4</p>	<p>2083</p> <p>誰も教えてくれない 人を動かす文章術</p> <p>齋藤 孝</p> <p>私たちの生活・人生の中に必要な文章力は誰も教えてくれないものです。本書では文章を書く心得から企画書・稟議書・謝罪文・始末書・自己アピール文・メールの書き方まで具体的に紹介します。</p> <p>740</p> <p>978-4-06-288083-1</p>	<p>2084</p> <p>はじめての政治哲学 「正しさ」をめぐる23の問い</p> <p>小川仁志</p> <p>自由・権力・平等・貧困・民主主義……。こうした問題に政治哲学はどんな回答をしてきたのか？ グローバル化と流動化が進む現代社会における「正しさ」とは何か？ 23の問いから具体的に探る。</p> <p>720</p> <p>978-4-06-288084-8</p>	<p>2085</p> <p>言葉と脳と心 失語症とは何か</p> <p>山鳥 重</p> <p>脳の損傷が重篤な言語障害を引き起こすことはわかっている。だがそもそも〈思い〉はどのように心で〈像〉を結び〈言葉〉として発せられるのか。失語症研究の第一人者が考えてきた「言葉とは何か」。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-288085-5</p>
---	---	--	--	---

2086

英語と日本語のあいだ

菅原克也

文法・訳読は本当に時代遅れか。「高校英語の授業は英語で」で何が起きるか。新指導要領に代表されるコミュニケーション重視の風潮に疑義を呈し、日本人は英語とどう向き合うべきか根本から問う。

800

978-4-06-288086-2

2089

占いと中世人

菅原正子

政治・学問・合戦

古来、占いは科学であり、生活の指針でもあった。陰陽道、天文占い、易……。為政者や武将は孤独な決断を迫られたとき、いかに振る舞ったのか？ 中世人固有の論理と、現代人にも通じる心理を抉る！

740

978-4-06-288089-3

2092

新書 沖縄読本

下川裕治
仲村清司 著・編

長寿伝説崩壊、格差進行、基地・サンゴ問題に見るねじれなど、さまざまな問題で島は大きく揺れる。近年の野球の強さ、音楽の魅力の源泉とは。沖縄ブームに深く関わった著者たちが紡ぐ21の物語。

900

978-4-06-288092-3

2093

ウェブ×ソーシャル×アメリカ

池田純一

〈全球時代〉の構想力

Google、Apple、Facebook、Twitter は、なぜアメリカで生まれたのか？ 歴史、社会、経済、思想、工学、デザインなど分野の境を超え、ウェブの構想力の源流をたどり未来を語る、斬新かつ根源的論考。

800

978-4-06-288093-0

2094

「認められたい」の正体

山竹伸二

承認不安の時代

「空虚な承認ゲーム」をどう抜け出すか。その「答え」ならぬ「考え方」を教える本書は、規範喪失の時代における希望の書である（斎藤環氏）。自己の承認の問題を真正面から捉えた注目書！

760

978-4-06-288094-7

<p>2095</p> <p>鉄道ひとつばなし3</p> <p>原 武史</p> <p>消えた駅弁から、山陽本線紀行、東大合格上位校と鉄道の関係、私鉄沿線文化論、日本の廃線を集めた抱腹絶倒の架空シンポジウムまで、孤高の「鉄」学者の思索を味わえる大人気シリーズ第3弾！</p> <p>740</p> <p>978-4-06-288095-4</p>	<p>2096</p> <p>モーツァルトを「造った」男</p> <p>ケッヘルと同時代のウイーン</p> <p>小宮正安</p> <p>番号を振る。それは思想であり世界観である。19世紀ウイーンに生きた男の地味な作業が、クラシック音楽の認識を基礎づけた！「分類する精神」が躍動し、モーツァルトが「発見」されるドラマ。</p> <p>760</p> <p>978-4-06-288096-1</p>	<p>2097</p> <p>〈麻薬〉のすべて</p> <p>船山信次</p> <p>神の福音か、悪魔の小道具か。人類のかかわり方によって毒にも薬にもなる麻薬。薬字の専門家が根本的な説明からその種類・歴史についてなど、古今東西の逸話をまじえ、分かりやすく解説する。</p> <p>840</p> <p>978-4-06-288097-8</p>	<p>2098</p> <p>戦前昭和の社会</p> <p>1926-1945</p> <p>井上寿一</p> <p>「一〇銭均一売り場」に足を運ぶ消費者、女性の地位向上を推進するモダンガール、新興宗教ブーム、就職難にあえぐ学生たち――。現代社会の原点に戦前昭和を生きた人びとの実像を描き出す一冊。</p> <p>740</p> <p>978-4-06-288098-5</p>	<p>2099</p> <p>超解読！ はじめてのカント『純粹理性批判』</p> <p>竹田青嗣</p> <p>人間の理性は、はたして「真理」を認識できるのか。アンチノミー、物自体、カテゴリーなどの重要概念を丁寧に解説し、西洋哲学の要に位置する『純粹理性批判』の本質を解く。好評シリーズ第2弾！</p> <p>840</p> <p>978-4-06-288099-2</p>
---	---	--	---	---

2100

〈新書大賞2012〉
ふしぎなキリスト教

橋爪大三郎
大澤真幸

なぜ神が一つなのか？ 預言者とは何者か？ イエスは神なのか、人なのか？ 奇蹟は本当にあったのか？ 聖書は誰が書いたか？ 知っているつもりで知らないキリスト教の謎を解く。入門書の決定版！

840



978-4-06-288100-5

2103

アイデアを形にして
伝える技術

原尻淳一

効率的インプットから、相手に確実に伝わるアウトプットへ。そこからまた新たなインプットへ。アイデアが溢れ出る仕組みとは？ 凄腕マーケティング・プランナーが説く「新しい仕事の教科書」。

720



978-4-06-288103-6

2104

国際共通語としての英語

鳥飼玖美子

ネイティブ並みに話せなくてもいい。グローバル時代では、英語を母語としない者同士がお互いの英語を理解できるかどうか大切です。通じる英語を指し「自分らしい英語」の発信をするための必読書。

740



978-4-06-288104-3

2105

はじめての認知療法

大野 裕

うつ状態になると、何事も悲観的に考えるようになります。本来の自分の力を発揮できなくなる。いま広がりつつある認知療法を使って、考えかたのクセに気づき、気持ちを切り替える方法を第一人者が解説。

760



978-4-06-288105-0

2106

戦国誕生

中世日本が終焉するとき

渡邊大門

無力な青年将軍。策動を繰り返す近臣たち。「辞めた」と口にする天皇……。応仁・文明の乱など激動する十五世紀半ば、中世の体制が崩壊し、「権威」から「権力」へ、時代の転換する様相を描く。

760



978-4-06-288106-7

2107

野生哲学

アメリカ・インディアンに学ぶ

管 啓次郎

小池 桂一

私たちがこの地球の上で生きていくとは？ アメリカ・インディアンの豊饒な宇宙観を読売文学賞の管啓次郎が描く。創世神話をもとにした、鬼才・小池桂一の書き下ろし漫画四八頁も収録！

800



978-4-06-288107-4

2109

「神道」の虚像と実像

井上 寛司

神道は危機に直面した日本で三度つくられた。律令国家の形成、中世における社会構造の変容、西欧の衝撃。その都度「おのずからある」ものとして観念されねばならなかった「こころの形」を問う。

760



978-4-06-288109-8

2113

なぜ僕はドキュメンタリーを撮るのか

想田 和弘

〈目の前の世界〉をどう映すのか？ 打ち合わせも音楽もナレーションもない独特の方法論「観察映画」を唱える気鋭の映画作家が、映画『Peace』のメイキングを通して語る、ライブな映画論！

800



978-4-06-288113-5

2114

いつだって大変な時代

堀井 憲一郎

科学への信仰、個性の尊重と妙な名前の氾濫、社会は進歩しつづけるという無邪気な思い込み……近代がもたらした思考の罨を、虚心に見つめなおす。大変大変と言いつづける私たちの頭の中を徹底解剖！

720



978-4-06-288114-2

2115

国力とは何か

経済ナシヨナリズムの理論と政策

中野 剛志

日本の支配的イデオロギーは「グローバル化による国家の退場」だった。しかし豊かな経済社会を取り戻し、震災・原発事故のような危機には国家が強いリーダーシップを発揮するという思想に真実がある。

760



978-4-06-288115-9

2116

発達障害のいま

杉山登志郎

発達障害児の陰に潜む家庭の問題とは？ ころの骨折・トラウマはどう治す？ 脳と神経に何が起こっているのか？ 治療の最前線を明かす、保護者、教育関係者から小児科医まで必読の書。

800

978-4-06-288116-6

2117

未曾有と想定外

畑村洋太郎

東日本大震災に学ぶ

「未曾有」と「想定外」、震災後氾濫した二つの言葉に隠れてしまった本質的な問題とは？ 三月一日から「原発事故調査・検証委員会」委員長に就任するまでに、失敗学の視点から考えた大津波と原発事故。

720

978-4-06-288117-3

2119

動きが心をつくる

春木 豊

身体・心理学への招待

身体の動きを軽視する現代人。でも実は、姿勢・呼吸・歩行といった身体の動きが、私たちの心に大きな影響を与えている。その事実を解説するとともに、心身を健康にする実践的ボディワークも紹介！

760

978-4-06-288119-7

2120

居酒屋の世界史

下田 淳

居酒屋を覗くと、ヨーロッパ文明が見えてくる！ 銀行にして裁判所、売春宿にして病院？ 居酒屋が有していた多機能性とは？ ヨーロッパから東アジアまで、文化の交錯する場をめぐる世界史の旅。

740

978-4-06-288120-3

2122

量子力学の哲学

森田邦久

非実在性・非局所性・粒子と波の二重性

量子力学はどのように世界を描くのか？ コペンハーゲン解釈から多世界解釈、様相解釈、多精神解釈、最新の逆向き因果論までをわかりやすく紹介した知的刺激にあふれる科学哲学の入門書。

740

978-4-06-288122-7

2123

中国社会の見えない掟
潜規則とは何か

加藤隆則

法律よりも面子、裁判軽視、役人腐敗・農民支配の構造、外国人への相反する態度……。共産党支配よりはるか昔から中国社会に脈々と流れ続ける「掟」の存在を特派員が綿密な取材から解き明かす。

760

978-4-06-288123-4

2124

デザインの教科書

柏木 博

「デザインとは何か」という基本的な質問から、デザインを決める要素、現代デザインが求められている役割の変化まで、受け手・使い手の立場でデザインを知って楽しむための絶好の入門書。

780

978-4-06-288124-1

2125

ビジネススマンのための
「行動観察」入門

松波晴人

行動は嘘をつかない。マーケティングや生産性向上、個人の能力アップなど、さまざまな分野での問題解決に効果絶大。ビジネス上の従来の限界を突破する大注目の手法をストーリーとともに紹介する。

800

978-4-06-288125-8

2126

日本を滅ぼす〈世間の良識〉

森巢 博

嘘つきメディア、舐めた政府、踊る国民……。もうパレーティは終わった。そろそろ現実を見ないか？ 原発事故からのりピー騒動まで、海外から見える日本の不可解さを怪人モリスがえぐる痛快コラム集。

720

978-4-06-288126-5

2127

ラーメンと愛国

速水健朗

米国の小麦戦略とラーメンの大衆化、工業製品としてのインスタントラーメン、地方の時代とご当地ラーメン、ラーメン職人の誕生など、国民食ラーメンと戦後日本史が交差するスリリングな物語！

760

978-4-06-280041-9

2128

日本経済の奇妙な常識

吉本佳生

1ドル＝80円は「超円高」？ 世界の基軸通貨は米ドル？ 日本のマクロ経済の根本問題は物価下落？ 消費税は段階的に上げるべき？ 人気エコノミストが豊富なデータをもとに解く、新しい日本経済論！

740



978-4-06-288128-9

2130

ケインズとハイエク
貨幣と市場への問い

松原隆一郎

世界経済には大きな構造変動の波が打ち寄せているのか。それともこれは景気循環のひとつまに過ぎないのか。巨人二人の論争を踏まえて、貨幣と市場の危機的状況を乗り越える思想・哲学を歴史に学ぶ！

840



978-4-06-288130-2

2132

マーラーの交響曲

金 聖響
玉木正之

壮大なスケールと声楽パートの多用で有名な後期ロマン派の巨星マーラー。未完の遺作も含めた彼の全交響曲を、あらゆる角度から実力指揮者と評論家がやさしくユーモアたっぷりに語る入門書の決定版。

860

978-4-06-288132-6

2133

つながる読書術

日垣 隆

読書で得た知識を自分のネタに変換する方法とは？ つまらない本を損切りするコツとは？ 読書会の意外な効用とは？ 電子書籍で読書は変わるか？ プログがすべて公開する、読み方伝え方の秘訣。

760



978-4-06-288133-3

2134

いまを生きるための
思想キーワード

仲正昌樹

思想・哲学の入門書を書かせたら、この人、仲正教授の「私」と「存在」を読み解くための術語集。政治哲学・倫理学系21のキーワードを端緒に、高校生にもわかる平易な語り口で独特の議論を展開する。

740



978-4-06-288134-0

2135

弱者の居場所がない社会
貧困・格差と社会的包摂

阿部 彩

誰でも社会に「つながり」「役割」「居場所」を持つて生きていきたい。新しいキーワード「社会的排除」「社会的包摂」の考え方を、自らの体験もまじえて誠実に説く、貧困問題の新しい入門書。

740

 978-4-06-288135-7

2136

大震災後の社会学

遠藤 薫^{II}編著

東日本大震災は、日本社会の多くのシステム問題を顕在化させた。私たちはこの災禍を転機にできるのか？ 新雅史、高原基彰、関谷直也、西田亮介ら気鋭の社会学者たちによる渾身のレポート。

800

 978-4-06-288136-4

2138

超高齢社会の基礎知識

鈴木隆雄

「超高齢社会」を目前に控えたニッポン。老年学の權威が高齢者という集団の特徴を世界的研究から検証し、その課題を抉り出す。完治をめざす医療から、支え癒す福祉への転換を促す科学的提言。

740

 978-4-06-288138-8

2139

日本の国防

米軍化する自衛隊・迷走する政治

久江雅彦

混乱する普天間飛行場の移設問題、中国との尖閣をめぐる争い、北朝鮮の核……。困ったときの米軍頼みは本当に有効なのか？ 日々の断片的なニュースではわからない全貌が一冊でわかる最良の入門書！

720

 978-4-06-288139-5

2140

クラウドの未来
超集中と超分散の世界

小池良次

シリコンバレー取材の第一人者が説くクラウドの本質とは何か。危機に立つ日本のメーカーとメディアは生き残れるのか。単なるデジタル技術論だけに終始しないイノベーションの正体が明らかになる。

740

 978-4-06-288140-1

2143

アサーション入門

自分も相手も大切にする自己表現法

平木典子

言いたいことをうまくコミュニケーションできないのはなぜ？ そんなモヤモヤした悩みを解消しよう。アサーションとは「自分も相手も大切にする自己表現」のこと。第一人者がわかりやすく説く。

720

978-4-06-288143-2

2145

電力改革

エネルギー政策の歴史的大転換

橘川武郎

3・11以後、電力業界はビジネスモデルの転換が求められている。リアルでポジティブな原発のたまたみ方と再生可能エネルギー拡充へ向けて、電力産業史研究の第一人者が提示するエネルギー政策の最適解。

760

978-4-06-288145-6

2146

世界の陰謀論を読み解く 辻 隆太朗

ユダヤ・フリーメイソン・イルミナティ

フランス革命はフリーメイソンの仕業？ ユダヤ人による世界支配計画の書『プロトコル』？ 関東大震災や3・11は人工地震？——「邪悪な誰かが世界を操っている」という思考に潜む心性を読む。

780

978-4-06-288146-3

2148

経済成長神話の
終わり

減成長と日本の希望

アンドリユー・

J・サター

中村起子 訳

政府が経済成長を目指すとは国は滅びる！ 経済成長論は冷戦期に創られた神話だった！ 神話の呪縛から抜け出し、幸せて豊かな新しい日本社会をつくるための処方箋を提示する画期的論考。

880

978-4-06-288148-7

2152

鉄道と国家

「我田引鉄」の近現代史

小牟田哲彦

すべての路線は政治的につくられる！ 明治期以来、原敬、佐藤栄作、田中角栄ら大物政治家たちが介介としてきた「鉄道史」。ナベツル路線、大八廻り、岐阜羽鳥駅……真相が解き明かされる。

740

978-4-06-288152-4

2153

感性の限界

不合理性・不自由性・不条理性

高橋昌一郎

人間はなぜ生きるのか？ 行動経済学、認知科学、進化生物学、実存哲学から「愛」「自由」「死」をテーマに行為・意志・存在の限界と可能性を探る。「理性」「知性」に続く人気シリーズ第3弾、刊行！

800



978-4-06-288153-1

2154

邪馬台国をとらえなおす

大塚初重

箸墓は卑弥呼の墓なのか、纏向は邪馬台国の宮殿跡か、三角縁神獣鏡は「魏志倭人伝」の鏡なのか……。考古学の碩学が、最新の知見をもとに邪馬台国の謎と、日本国家の起源を解き明かす。

760



978-4-06-288154-8

2155

独立国家のつくりかた

坂口恭平

お金がないと本当に人間は生きていけないのか？ 大震災後、巨大なシステムの機能不全の前に「新政府」を設立し、既存の価値観を揺さぶる男が明かす、いまを生き延びるための技術。

760



978-4-06-288155-5

2156

本音の沖縄問題

仲村清司

1972年5月、沖縄は念願の日本復帰を果たす。しかしそこから補助金と引き替えの基地集中化も始まった。「犠牲」をカネに替えてきたシステムが破綻しつつある現状を本音で語る。

760



978-4-06-288156-2

2157

冤罪と裁判

今村 核

日本の刑事裁判の有罪率は99・9%。そんななか20年間、冤罪事件を手がけ、数々の無罪判決を勝ち取ってきた弁護士が、冤罪の原因、裁判員制度の影響や刑事司法の問題点を語る。

800



978-4-06-288157-9

2158

一生モノの英文法

澤井康佑

このような方にオススメです。●しっかりした英語力を身につけたい。●ラジオ英会話は短期間で挫折。●英会話学校に通っているが成果を感じられない。●現代人必須の長文読解力が身につく!

840



978-4-06-288158-6

2159

古代オリエントの宗教

青木 健

東方へ広がる「聖書ストーリー」に対して、マニ教やゾロアスター教などはいかに向き合ったか。「異教の魔神」が封じ込められるまでの約一〇〇〇年のドラマを描き出す異色の精神史。

780



978-4-06-288159-3

2165

エンディングノートのすすめ

本田桂子

いざというときの医療・介護、葬儀・相続、どうしますか? エンディングノートの書き方と、書くことによって、どのようなことがあるのかを紹介。自分とまわりの人を幸せにする「終活」の第一歩。

780



978-4-06-288165-4

2166

〈第29回講談社科学出版賞受賞〉
化石の分子生物学

生命進化の謎を解く

更科 功

あなたの体にはネアンデルタール人の血が流れている!? 恐竜のDNAはどこまで解読できたのか? 化石の「記憶」に耳をすませる分子古生物学者たちの夢と冒険と、ときどき挫折の物語。

760



978-4-06-288166-1

2167

新しい左翼入門

相克の運動史は超えられるか

松尾 匡

荒畑寒村、山川均、大杉栄、丸山眞男など思想史を代表する知識人がマルクス、レーニンなどの影響下、どのように社会活動を議論したのか。まったく斬新なアプローチから描く痛快社会学。

800



978-4-06-288167-8

2168

〈新書大賞2013〉

社会を変えるには

小熊英二

「デモや抗議行動で社会は変わるのか？」という疑問に答える。いま日本で起きているのは、どういうことなのか？ 歴史的、社会構造的、思想的に考え、新しい社会運動の可能性を探る。

1,300

978-4-06-288168-5

2169

超解読！ はじめての
フツサル『現象学の理念』

竹田青嗣

近代の哲学者たちを悩ませてきた「認識問題」の難問にフツサルはいかに挑んだか？ 「絶対的所与性」や「内在―超越」など、現象学の核心がわかる！ 大好評シリーズ第3弾！

840

978-4-06-288169-2

2171

経済学の犯罪

稀少性の経済から過剰性の経済へ

佐伯啓思

いまの世界金融危機を脱するためには、市場主義経済学一辺倒の思考から脱するしかない！ 危機の根源を、経済学の始まり、貨幣の誕生まで遡って解き明かし、思考の転換を迫る渾身の書。

840

978-4-06-288171-5

2172

私とは何か

「個人」から「分人」へ

平野啓一郎

どこかに〈本当の自分〉があるという幻想が、私たちを苦しめている――。いま自分をどう理解すべきなのか？ 個性とは何なのか？ 自分を肯定し、良い人間関係を築くヒントが満載！

740

978-4-06-288172-2

2173

日本人のための
日本語文法入門

原沢伊都夫

日本語に主語は重要か？ 「は」と「が」はどこが違う？ 受身文に秘められた日本人の世界観とは？ 学校では教えられない日本語の知られざる姿をわかりやすく紹介する一冊。

740

978-4-06-288173-9

2176

JAL再建の真実

町田 徹

JALは本当に再建したのか。多額の国民の税金が投入され、国家が私企業を救済する問題とは。経営破綻の実態をいち早くスクープしたジャーナリストが再上場の功罪とその行く末を問う。

740



978-4-06-288176-0

2177

 わかりあえないことから
 コミュニケーション能力とは何か

 平田オリザ

近頃の若者に「コミュニケーション能力がない」というのは本当か？ 親が「子どもの気持ちがあわらない」というのは、何が問題なのか？ 稀代の劇作家がコミュニケーションの本質を探る。

740



978-4-06-288177-7

2178

 ゼロからわかる
 経済学の思考法

小島寛之

経済学は小難しい？ ちつとも現実を説明してくれない役立たず？ 旧態依然とした教科書の解説を一切排し、その本質とロジックを平易に語る。経済学の見方を塗り替える魅惑の講義！

760



978-4-06-288178-4

2179

 アメリカを動かす思想
 プラグマティズム入門

小川仁志

ステイプ・ジョブズのようなイノベーターが続々と生まれる背景には、アメリカ人の思想の土台となっているプラグマティズムの考え方があった。その歴史と構造を徹底解剖する。

740



978-4-06-288179-1

2180

 パーソナリティ障害
 とは何か

牛島定信

見捨てられ不安を抱く境界性、尊大さの背後に別の人間像を隠しもつ自己愛性、恥の心理を抱える回避性……。精神科臨床の最前線に立つ著者が、豊富な症例をもとに、その本質に迫る。

740



978-4-06-288180-7

2182

おどろきの中国

橋爪大三郎
大澤真幸
宮台真司

中国を動かす原理は何か？ 私たちはどう付き合っ
ていけばいいのか？ 共産党支配の本質とは？ 対
症療法ではない視座を求めて、日本を代表する社会
学者が大討論！ 真にあの国を理解するために。

900



978-4-06-288182-1

2183

死刑と正義

森 炎

裁判員制度の下、市民は正義の判断を下さなければ
ならなくなった——。何が死刑と無期懲役を分ける
のか。その裁きを決める根拠とは。事件を手掛かり
に、元裁判官が問う現代の罪と罰。

760



978-4-06-288183-8

2185

死別の悲しみに向き合う

グリーンフェアとは何か

坂口幸弘

死別とはどんな体験なのか？ 大切な人を亡くした
とき人はなにを思うのか？ 周囲はどのように接す
ればいいのか？ 激変する社会のなかで模索する、
悲しみの後を生きる作法。

760



978-4-06-288185-2

2186

民法はおもしろい

池田真朗

民法とは、知らないと損をする「人生の必修科目」。
連帯保証人の悲劇とは？ ゴミ集積場に出されたゴ
ミは誰のもの？……。変わりつつある現代社会の基
本法を第一人者がわかりやすく解説。

760



978-4-06-288186-9

2188

学び続ける力

池上 彰

学ぶ楽しさを知ること。それが現代の教養なのでは
ないでしょうか。では、そのためには、何をどう学
んだらいいのか。そんなヒントになればと思って、
この本を書きました。——「はじめに」より

720



978-4-06-288188-3

2189
世界史の中の
パレスチナ問題

臼杵 陽

なぜ解決できないのか？ 二〇一二年一月国連総会でパレスチナが「オブザーバー国家」として承認された。しかしこれ以上の和平交渉の進展は見込めない。難問の構造を歴史から読み解く。

1,200
電

978-4-06-288189-0

2190
戦前日本の安全保障

川田 稔

山県有朋、原敬、浜口雄幸、永田鉄山……。両大戦間期、日本の指導者たちはどのような外交構想を描いたのか。日露同盟か日米提携か集団的相互安全保障システムか、彼らの世界戦略を読み解く。

840
電

978-4-06-288190-6

2191
DNA医学の最先端
自分の細胞で病気を治す

大野典也

DNA医学が医療の未来を変える！ がんからアルツハイマーまで。自家細胞を使ったがん免疫療法のトップランナーが、DNA医学の考え方、治療の最新線の成果と近未来を丁寧に解説。

760
電

978-4-06-288191-3

2192
江戸の小判ゲーム

山室恭子

借金棒引き、貨幣改鑄は場当たりでもなく、武家救済の政策でもなかった！ 松平定信と経済官僚たちの所得再分配のためのプロジェクトを辿りながら江戸時代の実像に迫る興奮の一冊。

740
電

978-4-06-288192-0

2194
韓国の
グローバル人材育成力
超競争社会の真実

岩渕秀樹

韓国企業躍進の源泉は人材にあり。日本に比べ圧倒的な高学歴志向、グローバル志向で勉学に励む韓国の学生たち、その背景、そして弊害も取り上げながら、今こそ日本が学ぶべき点を考察する。

780
電

978-4-06-288194-4

2195

反教育論

猿の思考から超猿の思考へ

泉谷閑示

なぜ思考できない人間が増えるのか——。子どもたちに「正しい教育」が必要と思いついでいること自体、大人の思い上がりではないのか。精神科医が現代の教育・常識に痛烈なダメ出し！

760



978-4-06-288195-1

2196

藤原道長の日常生活

倉本一宏

権力者が綴った世界最古の自筆日記が語る、その日常や内面とは？ 平安貴族の過酷な政務から、物忌、穢、怨霊との向き合い方まで、栄華をきわめた人物の知られざる実像に迫る一冊。

800



978-4-06-288196-8

2200

漢字雑談

高島俊男

編と篇はどう違う？ 義「援」金、膨「張」はなぜへんか？ 日本で生まれ、中国で使われている言葉とは？ 英語が入ってきて日本語はどう変わったか？ 誰かに話したくなる名コラム集。

800



978-4-06-288200-2

2201

野心のすすめ

林 真理子

『レンルンを買っておうちに帰ろう』での華々しいデビュー後に作家として認められるまでの困難、直木賞受賞後のパッシング……。人気作家が来し方を振り返りながら贈る、夢を実現させるヒント。

740



978-4-06-288201-9

2202

西郷隆盛と明治維新

坂野潤治

征韓論、西南戦争……、「軍部独裁と侵略戦争の元祖」はつくられた虚像だった！ 「議會制」を導入し封建制の打破に尽力した最大の功労者の実像に、日本近代史研究の第一人者が迫る一冊。

740



978-4-06-288202-6

2203

ビッグデータの覇者たち

海部美知

グーグル、アマゾン、アップル、フェイスブック、ツイッター……など、シリコンバレー在住のコンサルタントがデータを自在に操るIT企業の覇者に肉薄。その本質を理解する者だけが世界を制する！

760



978-4-06-288203-3

2204

森の力

植物生態学者の理論と実践

宮脇 昭

4000万本以上の木を植えてきた科学者の熱きいのちの物語。現地調査に明け暮れた若き日々、ドイツ留学時代、日本の森の真実を知った10年間、そして自らの理論を基にふるさとの森づくりへ――。

740



978-4-06-288204-0

2206

頭が良くなる議論の技術

齋藤 孝

「楽しい議論」で生産性も人間関係も急上昇！ ●一回の発言は15秒以内。●鶴の一声は禁止。●反対する場合は対案を出す……など。場の空気のみるみる変わる議論のコツが盛りだくさん。

780



978-4-06-288206-4

2207

「動かない」と人は病む

生活不活発病とは何か

大川弥生

体の不調を「年だから」「病気だから」とあきらめてしまっていることはありませんか？ 実はそれ、「生活不活発病」のせいかもしれません。いくつになっても健康で充実した生活を送るためのヒント。

760



978-4-06-288207-1

2208

非社会的社交性

大人になるということ

中島義道

人間は一人ではいられない。といって、他人と一緒にいると不快なことだらけ――。「人間嫌い」のための、居心地のいい人間関係のつくり方とは？ 哲学、日本、若者を考えるエッセイ。

740



978-4-06-288208-8

2209

今を生きるための現代詩 渡邊十絲子

現代詩ってなに？ 詩をよむってどういうこと？
谷川俊太郎、安東次男から川田絢音、井坂洋子まで、
日本語表現の最尖端はすごいことになっていった！
詩人が明かす、至福のあじわい方。

760



978-4-06-288209-5

2210

騎手の一分 競馬界の真実

藤田伸二

なぜ武豊は勝てなくなったのか。上手い騎手は何が
違うのか。強い馬とは何か。現在の競馬界に対する
思いと考えをJRAのトップジョッキーが語る。鞭
を置く前に「伝えておきたいこと」。

740



978-4-06-288210-1

2212

明治国家をつくった人びと 瀧井一博

伊藤博文、山県有朋、井上毅から旧幕臣の知識人ま
で、〈この国のかたち〉を築いた骨太な指導者たち。
幕末明治の時代、彼らは西洋文明をいかに受容した
か。明治国家が造形されるまでのドラマを描き出す。

900



978-4-06-288212-5

2213

ラノベのなかの現代日本 ポップ／ぼっち／ノスタルジア

ポップからライトへ、そしてぼっちへ。オタクの台
頭と撤退。大人とは無関係に黙々と消費され続ける
ライトノベルには、日本社会の変容が刻み込まれて
いる。注目の批評家による鮮烈な論考。

740



978-4-06-288213-2

2214

ツール・ド・フランス

山口和幸

ヨーロッパではオリンピック、サッカーW杯と並び
称されるスポーツのビッグイベント。2013年で
記念すべき100回目を迎えた世界最高峰の自転車
レースの魅力を余すところなくこの一冊に凝縮。

780



978-4-06-288214-9

2215

ウルトラマンが泣いている
円谷英明
円谷プロの失敗

なぜ創業者一族は追放されたのか。中国進出の難しさ、著作権ビジネスという「麻薬」とは……。『特撮の神様』の孫が明かす栄光と迷走の50年。ウルトラマンを翻弄した「大人の事情」が初めて明かされる。

740



978-4-06-288215-6

2216

まんが 哲学入門
生きるって何だろう？寺田に やんこふ
森岡正博

生きるってどういうこと？ 「私」って何？ 時間って本当にあるの？ どうして世界が存在するの？ 誰もが一度は考えたことのある哲学的疑問を、「まんまるくん」と「先生」の楽しい掛け合いから考える。

780



978-4-06-288216-3

2218

会社を変える分析の力

河本 薫

「統計分析を勉強したのに、分析力が向上しない」「ビッグデータという言葉に翻弄されている」「数学が苦手なので、データ分析には不向きだ」……。こんな方は必読！ 「分析」に対するモヤモヤが晴れます。

760



978-4-06-288218-7

2219

宇宙はなぜ
このような宇宙なのか
人間原理と宇宙論

青木 薫

この宇宙は、人間が生まれるようにできている！？ — トンデモ科学のような考え方を支持する科学者が、今増えている。なぜか？ 宇宙論の世界で何が起きているのか？ 一気読み必至の科学ミステリー！

760



978-4-06-288219-4

2220

仏教の真実

田上太秀

「釈迦がほんとうに伝えたかったこと」とは。釈迦は靈魂の存在をいかにとらえたか？ 「人生は苦」とはどういうことか？ 往生、仏滅、渡世の本来の意味とは？ 誤解や曲解されている日本仏教の真実とは。

740



978-4-06-288220-0

2221

歌舞伎 家と血と藝

中川右介

中村勘三郎の死は何を意味するのか？ 市川團十郎家はなぜ特別なのか？ 松本幸四郎家は劇界の毛利三兄弟？……。七大名家の興亡を読み解き、世襲と門閥が織りなす波瀾万丈の人間ドラマに迫る。

1,200



978-4-06-288221-7

2222

フルーツひとつばなし

田中 修

おいしい果実たちの「秘密」

「ふじリンゴの名前の由来は育成者が山本富士子のファンだったから」「温州ミカンを食べるとVIT Pの値が改善する」など、人気フルーツ50種類にまつわるうんちく話と健康情報のあるこれ。

1,000



978-4-06-288222-4

2224

絆の構造

高橋恵子

依存と自立の心理学

変わる「標準家族」、揺れる「男性稼ぎ主型」社会。日本の社会構造が変化する中、私たちが直面する生活困難は家族だけで解決できるのか。自分らしい「愛情のネットワーク」を築くための一冊。

740



978-4-06-288224-8

2225

黒田官兵衛

渡邊大門

作られた軍師像

二〇一四年NHK大河ドラマの主人公の実像に迫る！「備中高松城水攻め」「中国大返し」の真実とは？ 本当に天下獲りを目指したのか？ 新たな黒田官兵衛像を描く。

800



978-4-06-288225-5

2226

宇宙生物学で読み解く「人体」の不思議

吉田たかよし

宇宙スケールの壮大な視野でさまざまな生命現象や生命の起源を研究する宇宙生物学。この最新のアプローチを駆使して、「人体」にまつわる様々な謎を解き明かすサイエンスミステリーの野心作。

740



978-4-06-288226-2

2227

アメリカ・メディア・ウォーズ 大治朋子

ジャーナリズムの現在地

名門新聞社の大リストラ、ライバル紙との記事共有化、NPOメディアの勃興、調査報道手法の変化……。これは日本の近未来なのか。激変する米メディア界をボーン・上田賞受賞の記者が描く。

780



978-4-06-288227-9

2228

フランス文学と愛

野崎 歓

名作は「愛の教育装置」だった！「愛の言葉」フランス語がアムールのあらゆる相を描き出す。スタンダール『赤と黒』、デュラス『愛人（ラマン）』など、古典から現代小説まで有名作品の「愛」を辿る。

780



978-4-06-288228-6

2229

ビジネスをつくる仕事

小林敬幸

ビジネスマン⇨ビジネスをつくる人の時代が来た！これからのビジネスの攻め方・守り方を「基礎編」「応用編」「実践編」に分けて紹介。この働き方ができなければ、個人も企業も日本も生き残れない！

760



978-4-06-288229-3

2231

精神医療ダークサイド

佐藤光展

「通院歴もないのに精神科病院に拉致・監禁」「自殺願望に悩む患者に首つり自殺の方法を教える」「医師の勧めた睡眠薬で薬物依存に」……。ブラック精神科医たちの衝撃の実態を描いた衝撃の問題作。

860

978-4-06-288231-6

2233

ユーミンの罪

酒井順子

ユーミンが開けてしまった「パンドラの箱」とは？1973年、バブル崩壊まで、キラキラと日本が輝いていたあの時代にユーミンの歌が世間と女性達の意識に与えた影響を検証する。

800



978-4-06-288233-0

2234

データを紡いで
社会につなぐ
デジタルアーカイブのつくり方

渡邊英徳

広島と長崎の原爆。東日本大震災。歴史や大災害の記憶のデータを時代や国境を越えて伝える（新しいデジタルアーカイブ）とは。注目の〈情報アーキテクト〉が、データと社会の関わりを考える。

800

978-4-06-288234-7

2235

20代のための
「キャリア」と「仕事」入門

塩野 誠

就活生とその親御さん世代の方、必読！ 就活と転職に関する45の悩みと疑問に本音で答えます。今後盛り上がりそうな業界は？ 将来、転職しやすい部署は？ 採用面接で最もやってはいけないことは？

740

978-4-06-288235-4

2236

部長の資格

アセスメントから見たマネジメント能力の正体

米田 巖

マネジメント能力は言動で決まる！ 能力評価・開発した管理職350社・4200人以上。ヒューマン・アセスメントの第一人者が明らかにする、「困った」部長と「できる」部長を分けるものとは。

760

978-4-06-288236-1

2237

漢字はすごい！

山口 謠司

『ん』『日本語の奇跡』『てんてん』の著者による最新作。漢字の成り立ちからその歴史を振り返り、日本独自の漢字「国字」などを紹介しながら、独自の発達を遂げた漢字のおもしろさ、奥深さを案内する。

740

978-4-06-288237-8

2238

幸せのメカニズム

実践・幸福学入門

前野 隆司

幸せはコントロールできる！ 人類にとって役に立つ学問としての体系的幸福学を、脳・ロボット学者が、面白くやさしく解き明かす。『死ぬのが怖い』とはどういうことか』著者の最新刊。

800

978-4-06-288238-5

2239

癒しのランニング

金 哲彦

「頑張る」から楽しいマラソンへ。最新の注目ランニング効果を紹介。「走るとなんだかスッキリする」という心への効果に気付いたランナーは、今までにならぬ新しい扉を開いた気分になれるのです。

740



978-4-06-288239-2

2240

会社を変える会議の力

杉野幹人

「いつまでもやって来ないリーダーを待つより会議を変えよう! あなたの会社でも「会議モドキ」ダメな会議が増殖していませんか? 会議を組織の問題解決の装置にするためのヒントが満載!

760



978-4-06-288240-8

2241

科学vs.キリスト教

世界史の転換

岡崎勝世

「歴史観の転換は、起こるときには常に、学問の世界だけでなく、様々な人々の日々の生活を含めた『世界』の変化を反映する」(「はじめに」より)。知の大転換のプロセスをスリリングに描く。

850



978-4-06-288241-5

2242

孤独な日銀

白川浩道

金融政策運営の失敗は誰の責任なのか――。組織論の視点から、凋落するエリート集団の「存在意義」を問う。スケープゴートにされる日銀のジレンマとは。はたして日銀に「独立性」は必要なのか。

760



978-4-06-288242-2

2243

日本軍と日本兵

米軍報告書は語る

一ノ瀬俊也

米軍広報誌に描かれた日本兵から「ほんとうの日本軍」に迫る。規律は良好、準備された防衛体制下では死ぬまで戦う、射撃下手、予想外の事態が起こるとパニックに……。 「敵という鏡」に映し出された真実。

800



978-4-06-288243-9

<p>2248</p> <p>城を攻める 城を守る</p> <p>伊東 潤</p> <p>戦国時代から幕末までの「戦う城」26を徹底分析。 『この時代小説がすごい! 2014年版』第1位の作家が語る城めぐりの魅力。川中島合戦と海津城、会津若松城、熊本城、八王子城、長篠城、小谷城など。</p> <p>900</p> <p>978-4-06-288248-4</p>	<p>2247</p> <p>国際メディア情報戦</p> <p>高木 徹</p> <p>現代の「戦場」を制するのは銃弾ではない。イメージの力だ。いかにして有利な国際世論をつくるか? ビンラディンの驚愕のメディア操縦術から、アメリカの逆襲まで、知られざる情報戦の実態を読み解く。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-288247-7</p>	<p>2246</p> <p>愛と暴力の戦後とその後</p> <p>赤坂真理</p> <p>あの敗戦、安保闘争、バブル、オウム事件、そして3・11……。この国には、何か隠されたことがある! 『東京プリズン』の作家が、日本社会の「語り得ぬもの」を明かしたまったく新しい日本論。</p> <p>840</p> <p>978-4-06-288246-0</p>	<p>2245</p> <p>校長という仕事</p> <p>代田昭久</p> <p>民間人校長が持論を語る。</p> <p>「私の5年間の校長生活を振り返りながら、とっても忙しくも、とっても素敵な校長の仕事をご紹介します」(はじめに「より)。東京都杉並区立和田中学校の元</p> <p>800</p> <p>978-4-06-288245-3</p>	<p>2244</p> <p>呼鈴の科学</p> <p>電子工作から物理理論へ</p> <p>吉田 武</p> <p>呼鈴が鳴る、その仕組みを初歩の電子工作と、独自の実験装置を駆使して論じていく。数式を用いず、法則に頼らず、見て感じて考える。相対性理論も量子力学も、全ては呼鈴の中にある。</p> <p>900</p> <p>978-4-06-288244-6</p>
--	--	---	---	--

2250

絶望の裁判所

瀬木比呂志

最高裁中枢の暗部を知る元エリート裁判官による衝撃の告発。司法制度改革をめぐる謀略、権謀術数に長けた最高裁判事、陰湿な人事で自由主義者まで排除する組織、不祥事とセクハラ……。司法崩壊の黙示録。

760



978-4-06-288250-7

2251

憲法改正のオモテとウラ

舛添要一

東京都知事は危惧している。立憲主義をわかっていない国会議員に憲法改正を任せておいて大丈夫なのか……。小泉政権時に「新憲法起草委員会」事務局次長を務めた著者が初めて明かす、改正議論の舞台裏。

900



978-4-06-288251-4

2253

社会保障亡国論

鈴木 亘

消費税率の引き上げによる国民最大の関心は「これで社会保障は安心できるようになるのか?」「これで財政破綻は防げるのか?」である。残念ながら答えはノーである。ではどうすればよいのか……。

840



978-4-06-288253-8

2254

教育の力

苦野 一徳

「教育をめぐる様々な不毛な対立を克服し、教育を建設的に考え合い構想し合うための道筋もまた明示しました。つまり教育の『本質』を明らかにした上で、その本質を達成するための方法を……(あとがきより)」

800



978-4-06-288254-5

2257

歴史家が見る現代世界

入江 昭

私たちが生きている「現代」とはどういう時代なのか? それは近代と何が違うのか。地球規模で進行する大きなうねりを見逃してはならない。ハーバード大学歴史学部の名誉教授が渾身の書き下ろし!

800



978-4-06-288257-6

2258

万葉びとの宴

上野 誠

主人と客はお互いを気遣って称え合い、盛り上げ上手の芸達者はあちこちでお座敷がかかる……。思わず親近感が湧いてくる古代の人々の宴会を、注目の万葉学者が面白実況・解説！

800



978-4-06-288258-3

2261

変わった世界
変わらない日本

野口悠紀雄

日本経済が長期的な停滞から抜け出せないのは、1980年代以降に起きた世界経済の大変化に取り残されたからだ。そうした認識が欠落したアベノミクスでは日本は浮上しない。唯一の解決策とは？

800



978-4-06-288261-3

2262

 〈第12回パピルス賞受賞〉
 生命誕生

地球史から読み解く新しい生命像

中沢弘基

生命はなぜ生まれ、なぜ進化するのか？ 根源的であるがゆえに、誰もが回答を保留してきた難問に最新科学が挑む。「最初の生命」の誕生には、大量の隕石飛来と地球エントロピーの低下が関与していた。

920



978-4-06-288262-0

2263

ナシヨナリズム入門

植村和秀

竹島や尖閣諸島をめぐる韓国や中国との軋轢などによって、「ナシヨナリズム」という言葉を目にすることが多くなってきた。では「ナシヨナリズム」とはいったい何なのか。21世紀最大の難問を学ぶ。

840



978-4-06-288263-7

2264

孤独死のリアル

結城康博

2015年には独り暮らしの高齢者は約600万人と推定される。「最期は家で独りで」の時代が始まるのだ。地方自治体の高齢者福祉担当を経て研究者になった著者が、経験や現場の本音を踏まえて語る。

760



978-4-06-288264-4

<p>2270</p> <p>ロックの歴史</p> <p>中山康樹</p> <p>ロックの誕生をまったく新しい視点から分析。イギリスとアメリカが互いの音楽を「洋楽」として受容し、進化、統合させて、現在のロックが生まれるまでを明快に説き明かす。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-288270-5</p>	<p>2269</p> <p>認知症を知る</p> <p>飯島裕一</p> <p>著者は30年近く認知症を取材してきた医療記者。実母が発病した経験もまじえて語る、「いちばんわかりやすい認知症の本」。「糖尿病の人は発症リスクが高い」など、予防の最新情報も満載。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-288269-9</p>	<p>2268</p> <p>生命のからくり</p> <p>中屋敷 均</p> <p>サイエンスミステリーの新たな傑作が誕生！単純な化合物だった生命は、悠久の時を経て、多様化し高度な知能を有する人類へと進化した。そこにはどんな「からくり」があったのか？</p> <p>740</p> <p>978-4-06-288268-2</p>	<p>2267</p> <p>「失敗」の経済政策史</p> <p>川北隆雄</p> <p>なぜ政治家や官僚は「失敗」を繰り返すのか。「失敗のツケ」を払うのはいつもわれわれ……。同じ過ちを繰り返さないために、バブル崩壊からアベノミクスに至るまでの20年間の経済政策を振り返る。</p> <p>800</p> <p>978-4-06-288267-5</p>	<p>2265</p> <p>SFを実現する 3Dプリンタの想像力</p> <p>田中浩也</p> <p>デジタル工作機械の進化によって、どんな「モノづくり」が始まりつつあるのか？「スモールライト」も遠隔転送も実現可能!? 情報処理から物質変換へ、大注目の次世代工学者が描き出す興奮の未来！</p> <p>840</p> <p>978-4-06-288265-1</p>
--	--	---	--	--

2272

昭和陸軍全史1

満州事変

川田 稔

なぜ無謀な戦争は始められたのか……。昭和陸軍の誕生と変遷を戦略構想面から描く、全く新しい昭和陸軍史の決定版。陸軍による独断専行の嚆矢となつた満州事変への経緯を詳細に描く。

1,000

 978-4-06-288272-9

2273

非言語表現の威力

パフォーマンス学実践講義

佐藤綾子

自己表現の第一人者が「究極の見せ方・伝え方」を明示する。「人の印象は2秒で決まる」「安倍首相のどこが変わったか」「意識するだけで印象が変わる離見の見」など……。読んで実践すれば、必ず効果が！

740

 978-4-06-288273-6

2274

現実脱出論

坂口恭平

時間とは、空間とは何か？ 目に映っている現実が世界のすべてではない。言葉にならない知覚を取り戻し、「現実さん」との付き合い方を考え直す。ベストセラー『独立国家のつくりかた』の待望の続編！

760

 978-4-06-288274-3

2277

米軍と人民解放軍

米国防総省の対中戦略

布施 哲

アメリカが想定している「米中戦争」のシミュレーション。中国海軍の「真の実力」と「アキレス腱」、自衛隊に課せられた役割と米軍の反撃作戦とは……。『集団的自衛権』後の安全保障を考える。

880

 978-4-06-288277-4

2278

織田信長〈天下人〉の実像

金子 拓

新史料が明らかにする全く新しい信長像。「天下布武」は「全国統一」宣言ではなかった、改革者ではなく室町幕府の継承者だった、天皇は信長將軍を望んだ。従来の常識が変わる！

880

 978-4-06-288278-1

2279

マックス・ウェーバーを
読む

仲正昌樹

例えば「社会学の基礎概念」を読むことは「支配」「権力」「法」など、社会学の主要な分析対象を定義し、論理的体系化を試みること。彼の思考を知ることが私たちの社会と歴史について深く学ぶことである。

840



978-4-06-288279-8

2280

体の知性を取り戻す

尹雄大

私たちの体はなぜこんなに不自由なのか？ 体が本来装備している力を引き出すにはどうすればよいのか？ 気鋭のライターが武術体験から考え抜いた賢い体のつくりかた。《甲野善紀氏、内田樹氏推薦！》

740



978-4-06-288280-4

2281

ヴァロワ朝
フランス王朝史2

佐藤賢一

「フランス王朝の歴史」三部作第2弾！ イングランドとの百年戦争、イタリアへの夢、神聖ローマ皇帝との確執……。歴代王の心労絶えない260年間は、後の輝く絶対王政の長き助走期間か。

920



978-4-06-288281-1

2282

ふしぎな国道

佐藤健太郎

国道は謎だらけ！ ・なぜ国道26号はあるのに60号や99号は存在しないのか？ ・圏央道やアクアラインはなぜ国道？ ・車が通れない商店街や階段がなぜ国道？ これぞ奥深き「国道ワールド」の入門書。

980



978-4-06-288282-8

2283

デジタルは人間を奪うのか
小川和也

オンライン空間の仮想国家、脳とコンピュータの接続、健常者の記録を破る義足アスリート……。デジタルテクノロジーはわれわれをどこに連れていくのか。未来を考えさせるトピックが満載。

740



978-4-06-288283-5

2284

ヌードと愛国

池川玲子

1900年代から1970年代に創られた、「日本」をまとった七体のヌードの謎を解く。時系列で並んだ「はだか」から浮かび上がる時代と創り手の動機とは？ヌードから読み解く近現代史。

800



978-4-06-288284-2

2285

思索の源泉としての鉄道

原 武史

東日本大震災で起きた、日本の鉄道史上未曾有の事態——あれから3年半、断たれた鉄路はどうなっているのか。車窓に目を凝らし歴史に耳を澄ませ、日本を読み解く唯一無二の『鉄』コラム。

800



978-4-06-288285-9

2286

大人のひきこもり

池上正樹

本当は「外に出る理由」を探している人たち

セーフティネットの狭間で置き去りにされた40歳以上は推定100万人！「老後破産」激増の危機が迫るなか、ひきこもり当事者たちによる外に出るための新たな動きを探った。

800



978-4-06-288286-6

2287

カフェと日本人

高井尚之

210年前前にコーヒーを飲んだ「人気文化人」って誰？——。日本初の喫茶店から、欲望に燃えてきた「特殊喫茶」、スタバ、話題の「サードウェーブ」までの変遷をたどった、日本のカフェ文化論。

760



978-4-06-288287-3

2288

オリーブの罖

酒井順子

『オリーブ』とは、「モテの戦場」からの解放だった——。女子高生時代から同誌の愛読者であり執筆者でもあった著者が、少女たちを夢中にさせ、その人生観にも影響を及ぼした伝説の雑誌を振り返る。

800



978-4-06-288288-0

<p>2294</p> <p>安倍官邸の正体</p> <p>田崎史郎</p> <p>国や党の方針は、誰がいつ、どこで決めているのか——。これからの「日本のあり方」を考えるべく、国家権力の中枢を解明するとともに、安倍内閣の「本質」、ポスト安倍までを読み解いた全国民必読の書。</p> <p>800 </p> <p>978-4-06-288294-1</p>	<p>2293</p> <p>善の根拠</p> <p>南直哉</p> <p>高村薫氏推薦！「私にも、私の生にも根拠はない。では、なぜ生きるのか。私であることの賭けと、意志と、無常観をめぐる根源的思考がここにあり」。恐山の禅僧が現代最大の難問に挑む。</p> <p>760 </p> <p>978-4-06-288293-4</p>	<p>2292</p> <p>認知症の「真実」</p> <p>東田勉</p> <p>「認知症」とは国と医者を作り上げた虚構の病だった！ 杜撰極まりない診断基準、知られざるアリセプトの副作用、「廃人になる薬」を説明せずに処方する医者……。認知症医療の「闇」を描いた衝撃の書。</p> <p>800 </p> <p>978-4-06-288292-7</p>	<p>2290</p> <p>闘うための哲学書</p> <p>小川仁志 萱野稔人</p> <p>古典は、頭を鍛え、人間社会を学ぶ最強の教材だ！ 同年代のふたりの行動する哲学者が、プラトン、デカルト、ヘーゲル、福澤諭吉、西田幾多郎など、22冊の名著を語り尽くす。</p> <p>1,000 </p> <p>978-4-06-288290-3</p>	<p>2289</p> <p>昭和陸軍全史2 日中戦争</p> <p>川田稔</p> <p>なぜ泥沼の戦いへ突入していったのか——？ 昭和陸軍の誕生と変遷を戦略構想面から描く、全く新しい昭和陸軍史決定版の第2巻。統制派と皇道派の派閥抗争から石原完爾の失脚までの新局面を詳述。</p> <p>1,000 </p> <p>978-4-06-288289-7</p>
---	---	---	---	--

2295

福島第一原発事故 7つの謎

NHKスペシャル
『メルトダウン』
取材班

事故から4年経ってなお次々に浮かび上がる謎。500人を超える関係者取材、政府事故調・吉田調書、東京電力極秘資料などを駆使して7つのミステリーを読み解く。吉田所長が遺した「謎の言葉」とは？

840

 978-4-06-288295-8

2296

ニッポンの音楽

佐々木 敦

Jポップ誕生「以前」と「以後」の45年を通覧する。はっぴいえんど、YMO、小沢健二、ピチカート・ファイヴ、小室哲哉、中田ヤスタカなどが登場。日本のポピュラー音楽の歴史と現在がこの一冊に。

800

 978-4-06-288296-5

2297

ニッポンの裁判

〈第2回城山三郎賞受賞〉

瀬木比呂志

『絶望の裁判所』は序章にすぎなかった――。裁判の「表裏」を知り抜いた元エリート裁判官による前代未聞の判例分析。啞然、呆然、戦慄、驚愕、日本の裁判は本当に中世並みだった。法曹界騒然の衝撃作。

840

 978-4-06-288297-2

2298

試験に受かる「技術」

灘高が教えてくれた「超合理的メソッド」

吉田たかよし

中学3年生の時は、成績はビリで落ちこぼれ！こんな僕でも東京大学理科一類、国家公務員試験I種、医師国家試験すべてストレート合格。入学試験目録の受験生、資格取得を目指す社会人必読！

760

 978-4-06-288298-9

2299

日本海軍と政治

手嶋泰伸

なぜ日本は無謀な太平洋戦争へ突入してしまったのか？海軍の太平洋戦争への責任は、ほんとうに、巷間言われるように陸軍に比して軽かったのか？日本海軍の「政治責任」を徹底的に検証する。

800

 978-4-06-288299-6

2300

世界に冠たる中小企業

黒崎 誠

世界中の美容師に愛用されているハサミ、小惑星探査機「はやぶさ」に使われていたばね、カニカマ製造機械……。世界一のシェア・技術を誇る中小企業24社の戦略と工夫を紹介。これが日本の底力だ！

800



978-4-06-288300-9

2301

高層建築物の世界史

大澤昭彦

古代エジプトのピラミッドから中世のゴシック大聖堂、そして現代の東京スカイツリー、中東の超高層タワーまで……。人類は高い建物に惹かれ、つくり続けてきた。その歴史を一望する。

1,300



978-4-06-288301-6

2302

明日のプランニング
伝わらない時代の「伝わる」方法

佐藤尚之

情報〆砂の一粒〆時代、身勝手な広告は「うざい！」。では伝えたい情報は、どうすれば相手に伝わるか。最強メディアは知人友人とファンへのアプローチ。圧倒的にわかりやすい伝える仕事「虎の巻」。

840



978-4-06-288302-3

2303

「タレント」の時代
世界で勝ち続ける企業の人材戦略論

酒井崇男

トヨタが続け、ソニーが続けられず、アップルやグーグルがマネをして成功したこと。それは組織の中で価値創造の中心となるタレント人材を生かす仕組み。企業の成否を分けるその決定的要因を解明する。

880



978-4-06-288303-0

2304

〈第3回古代歴史文化賞大賞受賞〉
アイヌ学入門

瀬川拓郎

海を渡り北方世界と日本を繋ぐ大交易民族としてのアイヌ。中国王朝と戦うアイヌ。ダイナミックに外の世界と繋がった「海のノマド」としての新しいアイヌ像を豊富なトピックから提示する。

840



978-4-06-288304-7

2305

プロ野球 最強の助っ人論

中島国章

なぜヤクルトは「アタリ」が多い? 「成功する選手」と「ダメ外国人」を分ける18の判断基準とは? ラミレス、ホーナーなどを連れてきた元ヤクルトの敏腕国際スカウトが明かす「活躍する助っ人」の秘密。

740



978-4-06-288305-4

2306

暗闇から世界が変わる

志村真介

ダイアログ・イン・ザ・ダーク ジャパンの挑戦

「違いを知ることとは、自分の世界を豊かにするということ。ダイアログ・イン・ザ・ダークは、違いを知るための最高の装置だ」(乙武洋匡氏)。「暗闇での対話」から人間関係の意識も変わる。

760



978-4-06-288306-1

2307

AIの衝撃

小林雅一

人工知能は人類の敵か

自動運転車、ドローン(無人飛行機)、医療・介護……「自ら学んで進化する能力」を身につけた次世代ロボットは、人間社会をどのように変えるのか。AIが「人類を滅亡させる」のは本当か?

800



978-4-06-288307-8

2308

本社はわかってくれない 下川裕治 編

東南アジア駐在員はつらいよ

言ってもなかなか通じない、日本に報告しても誰も解決してくれない……。文化の違いから現地で毎日起こる悲喜劇。それでもがんばる東南アジア駐在員たちの奮闘ぶりを描く。

740



978-4-06-288308-5

2309

クール・ジャパン!?

鴻上尚史

外国人が見たニッポン

花見は「クール」で紅葉狩りは「クール?」、コスプレは「クール!」でゆるキャラは「クール?」。人気番組『Cool Japan』司会者として、世界を旅する演劇人として、外国人と話して見えてきたニッポン。

760



978-4-06-288309-2

2310

加藤周一を記憶する

成田龍一

代表的な「戦後知識人」は、日本の「敗戦後」をどう問い続けたのか。「言葉と戦車」「日本文学史序説」「夕陽妄語」等を執筆、「九条の会」呼びかけ人でもあった。時代を超えて「歴史認識」を考えてみる。

1,300

978-4-06-288310-8

2312

文明探偵の冒険

神里達博

今は時代の節目なのか

気鋭の科学史家が、暦や占いといったアヤシイ領域から科学の限界、歴史の本質まで、人間の世界観の成り立ちを探る。目に映る景色をガラリと変える知的冒険の書！

800

978-4-06-288312-2

2314

中高年ブラック派遣

中沢彰吾

人材派遣業界の闇

年収3000万円の人材派遣会社20代社員が、中高年を時給数百円の日雇い派遣で酷使……。歪んだ労働市場の実態と規制緩和の弊害を伝える衝撃ルポ。労働者を「モノ扱い」する政府の欺瞞を暴く！

800

978-4-06-288314-6

2315

〈未来〉のつくり方

池田純一

シリコンバレーの航海する精神

なぜITのイノベーションはアメリカで起こるのか？ グーグル、アマゾン、フェイスブックは何を目指しているか？ ウェブ文明の根源とは？ 未来を描き、たくり寄せる力の源泉を解き明かす。

840

978-4-06-288315-3

2316

ナチスの財宝

篠田航一

美術館建設の野望を抱いていたヒトラーが、各地で略奪した美術品60万点のうち、現在も未発見の財宝は10万点を数える。略奪美術品からナチスと戦後ドイツの裏歴史を読み解く。

800

978-4-06-288316-0

2317

ふしぎなイギリス

笠原敏彦

合理主義者のイギリス人がなぜ世襲の君主制を支持するのか。スコットランド独立はなぜ防げたのか。EUを本当に離脱するのか。大英帝国だけが知っている、グローバル化した世界を生き残る方法。

900



978-4-06-288317-7

2318

ヒトラーとナチ・ドイツ

石田勇治

なぜ文明国ドイツでヒトラー独裁政権が生まれ、未曾有の大虐殺を引き起こしたのか。ヒトラーの実像からホロコーストの真実まで、近年の研究の成果をふまえ、第一線の研究者がわかりやすく語る。

920



978-4-06-288318-4

2319

昭和陸軍全史3

太平洋戦争

川田 稔

日本陸軍は組織の分裂、抗争状態のまま、勝算なき対米戦争へ突入し、日本は破滅へ。なぜ必敗の戦いを止められなかったのか。昭和陸軍の誕生と変遷を戦略構想面から描く三部作、ついに完結。

1,200



978-4-06-288319-1

2320

新・自衛隊論

自衛隊を活かす会編著

守るべきは「非戦のブランド」だ。元自衛官・専門家に11人が分析する自衛隊の「限界」と「可能性」。専守防衛と安全保障の本質とは？ 対テロ戦争で求められる役割は？ 日本の国防を考えるための入門書。

900



978-4-06-288320-7

2321

原発労働者

寺尾紗穂

事故は表に出てこない、炉心屋は真夜中にデータを改竄、ボヤは見て見ぬふり、燃料プールに潜る外国人……そもそも「平時」の原発はどんなふうに動いていたか？ 現場の声を聞いてみた！

760



978-4-06-288321-4

2322

技術大国幻想の終わり

畑村洋太郎

これが日本の生きる道

「技術では負けていない」という思い込みを捨てよ。人々の欲しがる価値を突き詰めよ。日本を代表する工学者が、国内外の現場で議論して見えてきた日本の産業の今後を、明確に示す。

740



978-4-06-288322-1

2323

作家という病

校條 剛

作家を作家たらしめる「過剰さ」とは何か。その内的エネルギーを彼らはいかに肥大化させているのか。渡辺淳一、遠藤周作、井上ひさし、吉村昭……21名の作家の業を秘話満載で描く。

880



978-4-06-288323-8

2324

〈税金逃れ〉の衝撃

深見浩一郎

国家を蝕む脱法者たち

税金は、富める者ほど払わない。そのツケを払うのはあなたです！ タックス・ハイブン、オフショア市場、秘密口座……。グローバル企業と富裕層の巨額の税金逃れにより、国家財政は破綻の危機へ。

760



978-4-06-288324-5

2325

商店街はいま必要なのか

満菌 勇

「日本型流通」の近現代史

消費の論理を突き詰めたスーパーやコンビニが、地域の論理に支えられた商店街を席卷してゆく。「安くて便利で消費者のため」のその先は？ 百貨店、通販、流通革命……日本人の買い物の歴史から考える。

840



978-4-06-288325-2

2326

石油・武器・麻薬

宮田 律

中東紛争の正体

なぜテロや紛争は「終わらない」のか!? 中東における「石油争奪戦」、欧米の「軍産複合体制」の暗躍、麻薬ネットワークの「闇経済」……。複雑な国際政治情勢をわかりやすく解説する。

800



978-4-06-288326-9

2327

「イスラム国」と 「恐怖の輸出」

菅原 出

「イスラム国」建国。1年で世界中に支部が拡散、事態はさらなる混沌へ。テロの拡散はもはや制御不能なのか? 「不安定」が日常化する世界の現実を、情報・危機管理の専門家が詳細に読み解く。

760

 978-4-06-288327-6

2328

タモリと戦後ニッポン

近藤正高

タモリとは「日本の戦後」そのものだった! 終戦直後に出生した稀代のタレントの芸風の形成/変節/不変を、高度成長・大学紛争・サブカル・TV業界の盛衰等とシンクロさせた、タモリ本の新境地。

920

 978-4-06-288328-3

2329

日本のロック名盤 ベスト100

川崎大助

本邦初! 日本のロック「オールタイム・ベスト」100を、著者独自の指標で完全ランキング。『ゴードラッシュ』『ザ・ブルーハーツ』『ラブソデイ』は何位か? 1位の栄光に輝いた名盤とは?

840

 978-4-06-288329-0

2330

弥生時代の歴史

藤尾慎一郎

稲作開始は従来の説より500年も早く、列島への浸透は非常に緩やかだった。「弥生式土器・稲作・鉄器」の3点セットも崩壊。AMS-1炭素14年代測定によって書きかえられた新しい弥生時代像を詳述する。

800

 978-4-06-288330-6

2331

続 まんがパレスチナ問題 「アラブの春」と「イスラム国」

山井教雄

「日本一わかりやすい」と大評判の前作から10年。ますます混乱する中東情勢。ガザ侵攻、アラブの春、イスラム国の台頭。聖地を舞台に、憎悪に報復、制裁と聖戦を繰り返す現実をまるごと解説。

740

 978-4-06-288331-3

2332

「超」集中法

成功するのは2割を制する人

野口悠紀雄

仕事、勉強、企業戦略……全体を決めるコアは2割程度。努力をコアに集中させれば、効率は飛躍的に高まり、成果の8割が得られる。この「2・8法則」を意識し、コアを見出す具体的方法を示す。

740



978-4-06-288332-0

2333

輪廻転生

〔私〕をつなく生まれ変わりの物語

竹倉史人

4割以上の日本人が信じる輪廻転生の入門書。自然を循環する再生型、古代インド起源の輪廻型、リイソナーション型の3つに分けてやさしく解説する。輪廻転生、それは生きる力を与える観念だ。

760



978-4-06-288333-7

2334

介護ビジネスの罠

長岡美代

増加する老人ホームもどき、胃ろうの功罪、看取りサービスの裏側……。10兆円の巨大市場に巣くう悪徳業者の悪質な手口を徹底解剖！ 老後破産を防ぐための必読書。格安老人ホームの裏側に迫る。

800



978-4-06-288334-4

2335

損したくないニッポン人

高橋秀実

節約、通販、不動産、バーゲン、リスクヘッジ、キヤッシュバック、家電、結婚、人生……いつからニッポン人は「損したくない」病に支配されて損するようになったのか。読めば気分が「得」になる本！

800



978-4-06-288335-1

2336

生身の暴力論

久田将義

世の中には「本当にやる」人間がいる。人はなぜ暴力を振るうのか。殺人者はなぜ眠そうな目をするのか。アウトロー取材の第一人者がすぐそこにある暴力を解き明かし、どう対峙するのかを問う。

760



978-4-06-288336-8

2337

『臨濟録』を読む

有馬頼底

禅とは、すべてから自由になることです。臨濟宗の高僧が、禅の基本書『臨濟録』を「べらんめえ」調の生のいい言葉で縦横無尽に語りつくす。初学者にもわかりやすい恰好の入門書。

800



978-4-06-288337-5

2338

世界史を変えた薬

佐藤健太郎

もしコロナプスがビタミンCを知っていたら、もしチャーチルが感染症で急死していたら……世界の歴史は違っていたかもしれない。薬と人類の関わりをめぐる「世にも不思議な物語」。

740



978-4-06-288338-2

2339

指揮官の条件

高嶋博視

海上自衛隊幹部として東日本大震災直後の救援活動と原発処理を、インド洋ではテロ対策を統率した指揮官が初めて明かした「有事に強いリーダーと組織」の要諦とは。

760



978-4-06-288339-9

2340

ネットフリックスの時代

西田宗千佳

配信とスマホがテレビを変える

2015年秋上陸したネット配信の覇者と、それを迎え撃つ巨人たち。動画配信された作品を「イッキ見」するという新しい波は、テレビのビジネスモデルを、私たちの生活をいかに変えるか？

760



978-4-06-288340-5

2341

ハイデガー哲学入門
『存在と時間』を読む

仲正昌樹

なぜ『存在と時間』は20世紀を熱狂させたのか。「実存」や「存在」に関する問いかけは人生にどのような意味があるのか。20世紀最大の問題作を攻略する入門書にして決定版！

820



978-4-06-288341-2

2342

食をめぐるほんとうの話

阿部尚樹
上原万里子
中沢彰吾

ウコンが悪酔いを防ぎ、カテキンが体にいいのはなぜ？ 食品添加物、三大栄養素とビタミン、健康食品、サプリメント、農薬、遺伝子組み換え、放射線……虚実入り交じった情報を科学に基づき徹底整理！

760



978-4-06-288342-9

2343

天下統一

秀吉から家康へ

黒嶋 敏

「天下統一」は、いつ、どのように成し遂げられたのか？ 常識をくつがえし、新しいコンテクストのもと、二人の天下人によって成しとげられた「日本史上最大のプロジェクト」の意義を読み直す。

800



978-4-06-288343-6

2344

ヒトの本性

なぜ殺し、なぜ助け合うのか

川合伸幸

なぜ攻撃的なのに、人類は滅びなかったのか？ なぜいじめは絶対悪なのか？ 進化の過程で、気性の荒いヒトは排除されていた！ 最新の比較認知科学が明かす驚きの真実！

760



978-4-06-288344-3

2345

鄧小平

エズラ・F・ヴォーゲル
聞き手 橋爪大三郎

日本・中国研究で名高いアメリカの社会学者が、橋爪大三郎に語った鄧小平像。現代中国をつくった男は、いったい何を考えていたのか？ 現代中国を理解するために必読の一冊！

800



978-4-06-288345-0

2346

信じていいのか銀行員

マネー運用本当の常識

山崎 元

普通預金はもったいない？ 高齢者・若者向けの運用商品に違いはない！ 銀行員が勧める金融商品は信用してはいけない。銀行員が絶対教えてくれないお金の正しい運用法を明らかに！

760



978-4-06-288346-7

2347

信頼学の教室

中谷内一也

組織や個人が信頼を得るために必要な方策とは？一度失われた信頼の回復法とは？最新の研究成果をもとにわかりやすく解き明かす。信頼のコミュニケーションに悩む人、必読！

760



978-4-06-288347-4

2348

努力は天才に勝る！

井上真吾

ボクシング世界王者井上尚弥の最年少世界2階級制覇はいかになされたか。優れたコミュニケーションである著者が、息子を世界王者に育てたトレーニンング法からコミュニケーション術に至る秘訣を披露。

800



978-4-06-288348-1

2349

「脳疲労」社会

ストレスケア病棟からみえる現代日本

徳永雄一郎

脳疲労はうつ病のサイン！あなたのストレス度は？全国で初めてうつ病専門病棟を開設した医師が、本人、家族のストレスとの向き合い方を説き、脳疲労という現代日本が抱える病理を描き出す。

760



978-4-06-288349-8

2350

仕事の技法

田坂広志

ビジネスの数多くの修羅場をくぐり抜けてきた著者が、活躍するビジネスパーソンに必須の根幹の「技法」(技術+心構え)を明快に説く。これであなたの仕事力は圧倒的に高まる！

760



978-4-06-288350-4

2351

戦国の陣形

乃至政彦

川中島の、三方ヶ原の、関ヶ原の実相はこうだったのか！鶴翼、車懸り、魚鱗……これまで語られてきた「兵法」の意外な事実に迫る！中世軍事史に一石を投じた快作。陣形は「まぼろし」だった。

760



978-4-06-288351-1

2352

警察捜査の正体

原田宏二

職質、検問、通信傍受、DNA鑑定、カメラ映像……
 法律的にグレーな「犯罪捜査」がどんどん増えている！
 かつて「警察幹部の裏金の存在」を告発した
 元北海道警視長が警察権力拡大に「渾身の警告」。

840



978-4-06-288352-8

2353

本物の英語力

鳥飼玖美子

発音はハチャメチャと完璧の間を狙う。語彙を増やす
 ためには英文を「たくさん」読む……etc. 話
 するための基本、難関の試験克服法など日本人が「英語
 の壁」を乗り越えるための新常識10を紹介。

800



978-4-06-288353-5

2354

インド人の「力」

山下博司

なぜグローバル企業のCEOに次々に抜擢されるのか？
 すべての気候、すべての人種、すべての宗教……
 「何でもある」不思議な国、インドのパワースourceに迫る。
 21世紀に必読の書。

740



978-4-06-288354-2

2355

2020年の大学入試問題 石川一郎

2020年度から大学入試制度と試験内容が一変する。
 どのような問題がいかなる狙いで出題されるかを
 徹底予測。暗記は不要だが知識を駆使して論じる
 能力は不可欠に。その学び方を解説する。

800



978-4-06-288355-9

2356

ニッポンの文学

佐々木 敦

「文学」の聖性を剥ぎ落とし、SF、ミステリ、ラノ
 ベまでを含めた、本当におもしろい小説とは何かを
 問う新・現代小説史。「ニッポンの思想」「ニッポン
 の音楽」から連なる待望の3冊目。

860



978-4-06-288356-6

2357

死ぬ力

鷺田小彌太

「余生」などいらぬ！ 長生きは簡単。むしろ、死ぬことこそ難しい。そんな長寿社会にあつて、人生の円熟期を私たちはどのように生きていけばよいのか。滋味深いエッセイ。

760



978-4-06-288357-3

2358

貧困世代

藤田孝典

社会の監獄に閉じ込められた若者たち

学生はブランクバイトでこき使われる。社会人は非正規雇用や奨学金返還に苦しみ、実家を出られない。栄養失調、脱法ハウス、生活保護……「貧困世代」は下流老人より悲惨だ！

760



978-4-06-288358-0

2359

ウイルスは生きている

中屋敷 均

〈第32回講談社科学出版賞受賞〉

我々はすでにウイルスと一体化しており、ウイルスがいなければ、我々はヒトではない。それでは我々ヒトとは、一体、何者なのか？ 成毛眞氏絶讃の科学ミステリーの傑作。

740



978-4-06-288359-7

2360

女子高生アイドルは、なぜ東大生に知力で勝てたのか？

五月女ケイ子^{II} 村松 秀 絵

NHKの科学エンタメ番組で活躍するスイエンサーガールズ。モデル・アイドル・女優もこなす女子高生たちが、知的バトルで東大生や京大生に圧勝した。真の「知力」を身につける思考法とは？

840



978-4-06-288360-3

2361

地方議員の逆襲

佐々木信夫

人口減少、自治体消滅の危機だからこそ地方議員、地方議会にできることがある！ 大阪副首都構想のブレーンが提言する地方から日本の未来を変えるための「教科書」。

840



978-4-06-288361-0

2362

トヨタの強さの秘密

日本人の知らない日本最大のグローバル企業

酒井崇男

売上高27兆円超。営業利益約3兆円！なぜトヨタは日本最大のグローバル企業になったのか？アメリカをはじめ世界が必死で学び、日本が学んでこなかった「トヨタの製品開発」を解説。

880



978-4-06-288362-7

2363

下り坂をそろそろと下る 平田オリザ

人口減少、待機児童、経済衰退、地方創生……。日本が直面する重大問題の「本質」に迫り、今後の日本と日本人のあり方について考察。あたらしい「この国のかたち」を模索した快著！

760



978-4-06-288363-4

2364

我が詩的自伝

素手で燭をつかみとれ！

吉増剛造

詩の朗読パフォーマンスの先駆者であり、世界的評価も高い現代日本を代表する先鋭的詩人が、自ら内面の軌跡と芸術の秘奥を縦横無尽に語り尽くした、エピソード満載、驚きの「詩的自伝」！

900



978-4-06-288364-1

2366

人が集まる建築

環境×デザイン×子どもの研究

仙田 満

こどもも大人も楽しめ、学べ、また行きたくなる建築空間は、どんな発想と理論から生まれるのか？新広島市民球場、国際教養大学図書館など多数の施設を手掛けた「環境建築家」が明かす。

900



978-4-06-288366-5

2367

漢字と日本語

高島俊男

「復原」と「復元」、「降伏」と「降服」のちがいは？「空巢」の意味は「年寄りだけの家」!? 「外来語」という言葉はいつからあるのか？ ついつい誰かに話したくなる漢字雑学が盛り沢山。

880



978-4-06-288367-2

2368

「日本人の神」入門
神道の歴史を読み解く

島田裕巳

天皇家と神道の由縁、戦慄すべき天照大神や八幡神の存在を、日本人はどのように鎮め崇めてきたのか。日本人と「神」との関係をわかりやすく述べる現代人必読の宗教入門書！

800



978-4-06-288370-2

2369

パックス・チャイナ
中華帝国の野望

近藤大介

南沙諸島や尖閣諸島を巡る強硬な外交で、周辺国やアメリカと軋轢を生んでいる習近平指導部。「海の万里の長城」を築き、大海洋覇権国家を目指す「アジア新皇帝」の野望を暴く。

850



978-4-06-288371-9

2370

明日、機械がヒトになる
ルポ最新科学
海猫沢めろん

機械が人間に代わる時代!? AIからロボット、3Dプリンタ……小説家が7人の科学者を訪ね、最新テクノロジーを取材。「人間」の定義が揺らぐ今、知っておきたい科学の最前線。

840



978-4-06-288368-9

2371

捨てられる銀行

橋本卓典

「金融検査マニュアル」は廃止、地域の顧客にリスクをとれない銀行は消滅する！新しいビジネスモデルが求められる時代に型破りの金融庁長官が進める大改革は、何を目指すのか？

800



978-4-06-288369-6

2372

現代語訳 貧乏物語

河上 肇
佐藤 優二 訳・解説

なぜ豊かな国に多数の「貧乏人」が？なぜ働いても貧乏から脱出できないのか？絶望的貧困が日本や世界を覆う現在、「貧困」の問題とはじめて格闘した経済学者の思考を佐藤優氏が引き継ぐ。

800



978-4-06-288372-6

2374

プラネタリウム男

大平貴之

七畳間の勉強部屋から世界で最も先鋭的なプラネタリウムを実現させた天才技術者の破天荒な物語。「まるで『下町ロケット』のようだ」と、渡部潤一国立天文台副台長が絶賛！

800



978-4-06-288374-0

2375

自民党ひとり良識派

村上誠一郎

いつから自民党は正しいことを堂々と言えない「不自由民主党」になってしまったのか!? このままでは、日本の将来が危なくなる! 自民党の良識派ベテラン議員による、覚悟の正論。

740

978-4-06-288375-7

2376

昭和の戦争

日記で読む戦前日本

井上寿一

田中義一首相への天皇の不信任感、井伏鱒二や高見順のアジアへの思い、古川ロッパの戦時下の美食……。張作霖爆殺事件から敗戦までを政治家、軍人、作家らの日記をもとに再現する。

800



978-4-06-288376-4

2377

情報参謀

小口日出彦

野党転落から4年で政権を奪還した自民党。水面下では、テレビとネットのメタデータを駆使した政治情勢分析会議が行われていた。自民党の情報戦略を導いた人物が全貌を初めて明かす。

760



978-4-06-288377-1

2378

不屈の棋士

大川慎太郎

羽生善治は将棋ソフトより強いのか? 渡辺明はなぜ叡王戦に出ないのか? 人工知能に追い詰められた「将棋指し」たちの覚悟と矜持に、気鋭の観戦記者が迫る。棋士11人のロングインタビューを収録!

840



978-4-06-288378-8

2380

刀の日本史

加来耕三

「武器」ではなく「美術品」になった日本刀。その美に魅入られた古流剣術の使い手が、刀剣の起りや発達、武人・文人の刀剣にまつわるエピソードを披露する日本刀列伝！

800

978-4-06-288380-1

2381

138億年の音楽史

浦久俊彦

「われわれは、どんな過去にさかのほつても音楽に出会う」——「ビッグ・バン」からビートルズまで、音楽の「はじまり」から「いま」まで。すべての音楽の歴史を一気に描ききった意欲作！

840

978-4-06-288381-8

2382

田中角栄

昭和の光と闇

服部龍二

東京一極集中の是正、「限定的改憲論」、「日中裏安保」、石油・エネルギーをめぐる資源外交、北方領土問題の解決……角栄が夢見た「日本の未来」とは。新規公開史料や関係者への聞き取り等から読み解く。

920

978-4-06-288382-5

2383

生殖医療の衝撃

石原 理

日本で生まれることも約32人に1人は、出生前にマイナス19.6℃の液体窒素タンクで凍結保存されていた！ いまや卵子と精子はネット通販の時代に……。第一人者による衝撃の報告。

800

978-4-06-288383-2

2384

ゲノム編集とは何か

「DNAのメス」クリスパーの衝撃

小林雅一

人類が自らの寿命をコントロールする時代が訪れたとき、人は何歳まで生きることが許されるのか？ 不老長寿を目指すグーグルやアマゾンが取り組む「生命科学×IT」の可能性とは。

800

978-4-06-288384-9

2385

はじめての森田療法

北西憲二

考え方を変えれば人生は楽になる。その極意は「あるがまま」に生きることである——日本由来の心理療法を、その成り立ちから実際の治療プロセスまで名医が分かりやすく解説。

760



978-4-06-288385-6

2386

〈情報〉帝国の興亡
ソフトパワーの五〇〇年史

玉木俊明

情報を制する国家が覇権を獲得する！ 17世紀オランダの活版印刷、19世紀イギリスの電信、20世紀アメリカの電話、そして現代のインターネット——近代世界システムの誕生から終焉まで。

760



978-4-06-288386-3

2387

憲法という希望

木村草太
国谷裕子^{||}対談

本当に困っている人たちに、憲法は何ができるのか。気鋭の法学者が、社会問題と憲法の関わりを考え、わかりやすく解説した入門に最適な憲法ガイド！ 国谷裕子氏との貴重な対談も収録。

760



978-4-06-288387-0

2388

マンション格差

榊 淳司

あなたのマンションは「勝ち組」？ 「負け組」？ 自宅を「廃墟化」させないために、今からでもできることは？ マンション「格差」大競争時代を勝ち抜くために知っておきたい「真実」。

740



978-4-06-288388-7

2389

ピアニストは語る

ヴァレリー・
アフアナシエフ

最後の巨匠が縦横無尽に人生と音楽の哲学について語る！ モスクワでの幼年時代、音楽院での修業の日々、亡命、愛する作品と作曲家について、ピアノ演奏について。現代新書への待望の書き下ろし。

800



978-4-06-288389-4

2391

げんきな日本論

橋爪大三郎
大澤真幸

土器、古墳、ひらがな、安土城……なぜ日本人はかくもユニークな文化を生み出したのか？「ふしぎなキリスト教」でおなじみ、ふたりの社会学者が語り尽くす「新・日本史」！

920



978-4-06-288391-7

2393

現代美術コレクター

高橋龍太郎

草間彌生、村上隆、奈良美智、会田誠、山口晃……数々の傑作を集めた高橋コレクション。そのオーナーが語る日本現代アートの魅力と投資のコツ。さらには文化行政への提言も。アートの今がわかる一冊。

800



978-4-06-288393-1

2394

井伊直虎

女領主・山の民・悪党

夏目琢史

戦国の世、なぜ女性が領主となったのか？なぜ近世期、彼女は忘れられたのか？「女性」「山の民」「悪党」をキーワードに、時代の転換期を生きた女城主の宿命を描く。

760



978-4-06-288394-8

2395

不要なクスリ 無用な手術

医療費の8割は無駄である

富家 孝

医者に勧められても、飲む必要のないクスリ、受ける必要のない手術とは？「医者」に嫌われる「医者」にしか書けない、健康寿命を延ばし、無駄な医療費を使わないための基礎知識。

800



978-4-06-288395-5

2396

すごい「会話力」

齋藤 孝

現代人は「会話」することで人間関係が成り立っている。「会話力」とは人間の総合力である！古典や名作から言葉遣いのセンスを学ぶなど、その上達法を伝授する。

800



978-4-06-288396-2

2397

老いる家 崩れる街

住宅過剰社会の末路

野澤千絵

人口は減少するのに、マンションが林立し宅地開発も相次ぐ日本。私たちが「まち」に支払う税金の負担がかさむ一方で、住環境は悪化の一途をたどる悲劇が待ち受けている。

760



978-4-06-288397-9

2398

日米開戦と情報戦

森山 優

なぜ日米交渉は失敗に終わったのか。対米戦争の端緒となった南部仏印進駐はなぜ選択されたのか。日英米情報戦の勝者、敗者は――。南進から開戦に至る過程を、インテリジェンスの観点から読む決定版！

880



978-4-06-288398-6

2399

ヒットの崩壊

柴 那典

激変する音楽業界。「国民的ヒット曲」はもう生まれないのか？ テレビ、ライブ、ビジネスが変わる。激動の時代に、業界を一変させた新しい「ヒットの方程式」とは？

800



978-4-06-288399-3

2400

米中戦争

そのとき日本は

渡部悦和

元自衛隊最高幹部が初めて徹底分析した「米中戦争」「日中紛争」のリアルな姿。「台湾」「南沙諸島」「尖閣」「南西諸島」の4シナリオ。中国軍はあなどれない！ 日本は必ず巻き込まれる？

840



978-4-06-288400-6

2401

愛と狂瀾の
メリークリスマス

なぜ異教徒の祭典が日本化したのか

堀井憲一郎

なぜキリスト教徒ではない日本人までもが、キリスト降誕祭（クリスマス）は特別行事として大騒ぎするのか？ キリスト教伝来500年史から読み解く極上の「日本史ミステリー」。

840



978-4-06-288401-3

2402

ジャーニーズと日本

矢野利裕

戦後、日系アメリカ人ジャーニー喜多川が送り出した少年達は国民的アイドルとなった。なぜここまでジャーニーズ帝国は隆盛を極めたのか。ジャーニーズという切り口から戦後大衆文化をたどった日本現代史。

760



978-4-06-288402-0

2403

親の介護をする前に読む本

東田 勉

必ずやってくるそのときのために今からやっておくこと、知るべきことを解説。施設選び、介護費用などの実用情報が満載。ありそうでなかった介護家族のための「超」入門書。

800



978-4-06-288403-7

2404

本物の名湯ベスト100

石川理夫

登別、蔵王、草津、熱海、別府、道後は何位に？ 泉質・提供法・街並み情緒・自然環境・歴史文化の5つの指標で名湯ベスト100ランキングがついに決定！ 真正正銘の「温泉力」は、ここにある！

840



978-4-06-288404-4

2405

織田信長の城

加藤理文

天皇に讓位を求める信長が、安土城に込めていた政治的意図とは？ 小牧山城、岐阜城等の最新の発掘成果をもとに「安土城の謎」を解き明かし、「戦国の覇王」の実像とその天下静謐構想にも迫った論考。

840



978-4-06-288405-1

2406

幸福の哲学

アドラー×古代ギリシアの智慧

岸見 一郎

どうすれば人は幸福になれるのか？ 超ベストセラ―『嫌われる勇気』の著者が、じっくり、深く、考えた！ 人間の幸福に関する歴史上の深い考察を総合した本格的な幸福論。人生への姿勢が変わる！

760



978-4-06-288406-8

2407

国税局査察部24時

上田 二郎

国税局査察部、通称マルサ。彼らはいかにして脱税を嗅ぎ取り、悪質な手口を見破っていくのか？ マルサの男に狙われる人・会社の特徴とは？ 税金逃れの秘テクニクをすべて暴く！

800



978-4-06-288407-5

2409

〈軍〉の中国史

澁谷 由里

「文の国」中国では、古来、軍隊は軽蔑の対象でしかなかった！ 〈軍〉をキーワードに4000年の葛藤の歴史を繙くことにより、中国という国の知られざる「本質」を解き明かす。現代中国を知るためにも必読！

800



978-4-06-288409-9

2410

入門 東南アジア近現代史

岩崎 育夫

土着国家から欧米の植民地へ、日本による占領統治、ASEAN経済共同体の誕生——5000年にわたる人びとのドラマを通して、6億4000万人の巨大市場の「いま」がわかる決定版！

880



978-4-06-288410-5

2411

話すための英語力

鳥飼 玖美子

「英語をうまく話したい」は、見果てぬ夢だろうか。母語である日本語との言語間「距離」がある英語に対する苦手意識を克服するにはどうするか。その最良のストラテジーと伝わる英会話の核心を丁寧に解説。

800



978-4-06-288411-2

2412

楽しく学べる「知財」入門

稲穂 健市

「1・2・3・ダアーツ！」と叫ぶと商標権侵害!? 横原敬之氏と小保方晴子氏は『銀河鉄道999』をパクった？ メリー喜多川氏が考案した「早変わり舞台衣裳」とは？ 面白事例で「知的財産」を学ぼう！

860



978-4-06-288412-9

2413

アメリカ帝国の終焉

勃興するアジアと多極化世界

進藤榮一

アメリカ大衆の反逆、泥沼化する中東情勢、欧米とは異なる新興アジア型資本主義——長年、国際政治を観察してきた著者が、アメリカ、中国、そして日本を歩きながら描く多極化世界の新しい見取り図。

760

 978-4-06-288413-6

2414

海の向こうから見た倭国

高田貫太

今明らかにされる古墳時代の倭の実像！ 逆さまに見れば、歴史の本当の姿が見えてくる。倭と朝鮮半島の交流を朝鮮半島側から描くことで、倭の実態に迫る。

880

 978-4-06-288414-3

2415

新版 うつつ病をなおす

野村総一郎

最新知見を踏まえた回復法がわかる！ 12年の時を経て、旧版の情報をアップデート。現代うつ病、適応障害、老人性うつ、双極性障害……多様化したうつ病の真実を名医がやさしく丁寧に解き明かす。

760

 978-4-06-288415-0

2416

日本経済入門

野口悠紀雄

日本経済は構造的問題を抱えている。金融緩和で解決できるといふのは幻想だ。日本再生のためには何をすべきか。経済学の知識が全くない読者でも、日本経済の正しい姿と課題がわかる入門書の決定版！

800

 978-4-06-288416-7

2417

ビートたけしと北野武

近藤正高

差別・暴力・宗教……なぜビートたけしは昭和の事件当事者を演じるのか。ドラマ・映画の出演作品を軸に、北野武の半生と戦後ニッポンの変容を重ねながら、現代社会の欺瞞と彼の二面性に迫った意欲作。

800

 978-4-06-288417-4

2418
2025年日本の農業ビジネス

21世紀政策研究所 編

低迷する日本経済復活の切り札は、農業「輸出大国化」。「食品産業の融合」だった！ 経済・IT・農政のプロフェッショナルたちが描く、新たな農業のビジネスモデルと力強い未来像。

800

978-4-06-288418-1

2419
京都のおねだん

大野裕之

お地蔵さんのお貸出は「3000円」、世界第一号の抹茶パフェは「1080円」。そして、舞妓さんと遊ぶのにかかる金額はおいくら？ 京都人が隠しておきたい、千年の都の「おねだん」に迫る。

800

978-4-06-288419-8

2420
カラー版東京の森を歩く

福嶋 司

東京の自然はこんなにも多様で面白い！ 高層ビル、住宅地に囲まれた都会の知られざる森の数々。東京湾「海の森」、新宿御苑から奥多摩の御岳山まで、豊かな森を紹介。東京散歩に必携の一冊。

980

978-4-06-288420-4

2421
牙を研げ
会社を生き抜くための教養

佐藤 優

知力と人間力を高める驚きの講義！ 地政学、宗教、数学、歴史、組織論、論理学、資本主義……。ビジネスパーソンが会社を生き抜くために必要な7つの武器を、知の巨人が伝授。

840

978-4-06-288421-1

2422
捨てられる銀行2
非産運用

橋本卓典

顧客のカネを高い手数料で奪い、「悲惨運用」「非産運用」を繰り返す金融機関は自然淘汰に追い込まれる！ 森信親・金融庁長官の「資産運用大改革」一手数料開示の真意とは？

800

978-4-06-288422-8

2423

勇敢な日本経済論

高橋洋一
ぐつちーさん

消費税を上げないと財政破綻？ そもそも円高がいいのか円安がいいのか？ 少子高齢化は悪いことばかりか？ 論客二人が日本経済再生への近未来を大胆かつ華麗に予測！

840



978-4-06-288423-5

2424

タロットの秘密

鏡
リュウジ

なぜカードは「魔力」を得たのか？ 最新の研究成果を盛り込み、タロットカードの歴史を解明。絵札の図像学から、「鏡リュウジ流」解釈までを丁寧な解説した本格的入門書。

860



978-4-06-288424-2

2425

真説・企業論

ビジネススクールが教えない経営学

中野剛志

日本経済はなぜ長期停滞しているのか。本当に起業の活力もイノベーションの条件も不足しているからなのか。蔓延する短期的経営論の誤謬を撃ち、再生の可能性をさぐる。

800



978-4-06-288425-9

2426

東芝解体 電機メーカーが消える日

大西康之

会社解体の危機に喘ぐ東芝——かつて日本企業を代表する存在だった総合電機が軒並み苦境に陥っている。大手8社を詳細に分析し、総合電機がはまった巨大な陥穽を描く。

800



978-4-06-288426-6

2427

みんなの朝ドラ

木俣 冬

おしん、ゲゲゲの女房、あまちゃん、花子とアン、マッサン……ヒット作品を中心にヒロインたちの生き方を検証し、制作秘話を交えながら日本社会の変容を辿る。性のタブーに挑んだ朝ドラといえは？

840



978-4-06-288427-3

2428

戦争の日本古代史

好太王碑、白村江から刀伊の入寇まで

倉本一宏

好太王碑が語る対高句麗戦惨敗の衝撃、史上最大の敗戦「白村江」、藤原道長らを襲った「刀伊の入寇」……第一線の古代史研究者が帝国日本の源流を探る古代史の決定版！

880



978-4-06-288428-0

2431

未来の年表

人口減少日本でこれから起きること

河合雅司

2020年、女性の半数が50歳超え。24年、全国民の3人に1人が65歳以上。33年、3戸に1戸が空き家——。人口減少という「静かなる有事」がどのように進むかをリアルに暴く必読書！

760



978-4-06-288431-0

2432

部活があぶない

島沢優子

週休0日、体罰・暴言、セクハラ、慢性のケガ、自殺……。事件事故が多発、児童虐待化する部活を徹底レポ。「子どものため」が生徒も先生も追い詰める！ ブラック部活から子どもを守るには？

760



978-4-06-288432-7

2433

〈弱いロボット〉の思考

わたし・身体・コミュニケーション

岡田美智男

自分ではゴミを拾えないゴミ箱ロボット、たどたどしく話すロボット。不完全で放っておけないロボットたちと考える〈関係〉の本質。人とロボットの持ちつ持たれつの関係とは？

800



978-4-06-288433-4

2434

生命に部分はない

A・キンブレル
福岡伸一 訳

血液、臓器、胎児、遺伝子、はてはクローン生物まで売買される時代。その萌芽はすでに半世紀前から始まっていた……。人間部品産業の実態に警告を発した名著を福岡ハカセが翻訳。

1,200

978-4-06-288434-1

2436

縮小ニッポンの衝撃

NHKスペシヤル

取材班

2060年までに日本の人口は約30%減少する！未曾有の人口減少に直面する「縮小ニッポン」にはどのような未来が待ち受けているのか。ネットで大反響を呼んだ衝撃作がここに登場。

740



978-4-06-288436-5

2437

ハイデガー

『存在と時間』入門

轟 孝夫

哲学史上、最も難解とされる書物の内容を、ハイデガー「一筋」の研究者が10年をかけて解説。これまでになく明快に、ハイデガーが「本当に言いたかったこと」を解き明かす。

1,000



978-4-06-288437-2

2438

飛行機の戦争 1914-1945

総力戦体制への道

一ノ瀬俊也

なぜ国民は飛行機のためにヒト、カネ、モノを提供したのか？「国民の戦争」の象徴としての飛行機に焦点を当て、「日本軍Ⅱ大艦巨砲主義」という常識をくつがえす。

920



978-4-06-288438-9

2439

知ってはいけない

隠された日本支配の構造

矢部宏治

なぜ日本はアメリカの「いいなり」なのか？官邸と官僚が国民に知られたくない最高裁・検察・外務省の「裏マニュアル」、日米間で結ばれた「密約」とは？知られざる「戦後史の闇」に光をあてた快著。

840



978-4-06-288439-6

2440

山本七平の思想

日本教と天皇制の70年

東谷 暁

日本独自の「日本教」の正体とは何か？なぜ「空気が」は日本全体を覆うのか？明治以降の天皇制が果たした役割等、日本社会と国民性の本質を鋭く問い続けた碩学の叡智を徹底分析する。

860



978-4-06-288440-2

2441

ニッポンの奇祭

小林紀晴

長野御柱祭の地で育った著者は、土着的な要素を感じる「奇祭」に惹かれ、全国を旅する。長野、埼玉、福島、高知、そして宮古島。それは縄文への旅だったのか。古の神々を目撃する異色の写真紀行。

900



978-4-06-288441-9

2442

ハプスブルク帝国

岩崎周一

広大な版図と多種多様な民族を支配下に置き、千年もの命脈を保った世界史上、最もユニークな帝国。その歴史がこの一冊ですべてわかる！ 新見見もふんだんに取り入れた決定版。

1,000



978-4-06-288442-6

2443

福島第一原発 1号機冷却
「失敗の本質」NHKスペシャル
「メルトダウン」
取材班

事故はなぜおきたのか？ 1000人以上の関係者への取材とAIで解析した独自調査でつかんだ、衝撃の事実。吉田所長の英断「海水注入」で原子炉に届いた水は、ほぼゼロだった！

840



978-4-06-288443-3

2444

科学の知恵
怒りを鎮めるうまく謝る

川合伸幸

怒った時には寝転べば怒りが収まる!? 関係を修復する上で「謝罪」よりも必要なことは？ なぜ謝罪はうまく伝わらないのか？ 怒り、謝罪、仕返し、赦しにまつわる最新サイエンス！

760



978-4-06-288444-0

2445

珈琲の世界史

巨部幸博

コーヒーブームを生んだのはナポレオン？ モカ港はなぜ衰退した？ 日本最大のブームはいつ？ 誰も書かなかったコーヒー1200年史。深く知れば知るほどに、その味わいもまた深まる！

800



978-4-06-288445-7

2446

ピアノの名曲

聴きどころ 弾きどころ

イリーナ・メジューエワ

世界最高峰、ロシアピアノニズムの伝統を引き継ぐ現役女性ピアニストが、代表的なピアノの名曲を平易に解説。初心者からマニアまで、より深く曲が理解できる恰好の入門書。

900



978-4-06-288446-4

2447

正しい本の読み方

橋爪大三郎

どんな本を読んだらいい？ 本はどんなときに役立つ？ 本を読むにもコツがある！ 橋爪氏が「本物の勉強法」をやさしく語り下ろす。「必ず読むべき」大著者「〇〇人」リスト」付き。

780



978-4-06-288447-1

2448

変な経営論

澤田秀雄インタビュー

桐山秀樹 聞き手
丸本忠之

あらゆる業種で先行きが不透明な今、未来をどう考え、どう動けば正解なのか？ ヒントは「ハウステンボス」と「変なホテル」にあった！ 新しい事業を次々軌道に乗せる澤田氏の発想の秘密。

780



978-4-06-288448-8

2449

天皇家のお葬式

大角 修

日本で初めて火葬された天皇といえは？ 江戸時代までは仏式だったのに明治以降はなぜ神式？ 明治天皇家をめぐる東京 vs 京都の暗闘とは？ 古代から近現代まで「2700年」をこの一冊で！

840



978-4-06-288450-1

2451

不死身の特攻兵

軍神はなぜ上官に反抗したか

鴻上尚史

「死んで来い」との命令を無視し、戦果をあげて9回生還した特攻兵。なぜ彼は、命の尊厳を守り抜くことができたのか。92歳の元特攻兵が語る、命を消費する日本型組織にのみ込まれなかった強さの源とは。

880



978-4-06-288451-8

2452

健康格差

あなたの寿命は社会が決める

NHKスペシャル

取材班

低所得者の死亡率は、高所得者の3倍！ 所得や家庭環境などにより、自らの健康を維持する最低限の条件が蝕まれる。命の格差とも言うべき「健康格差」の危機的な実態に迫る。

780



978-4-06-288452-5

2453

戦争調査会

幻の政府文書を読み解く

井上寿一

1945年11月、幣原内閣が立ち上げた国家プロジェクトⅡ「戦争調査会」。GHQによって1年弱で廃止された未完のプロジェクトの史料を通して、開戦・敗戦の実相に迫る。

880



978-4-06-288453-2

2454

縄文の思想

瀬川拓郎

アイヌ、海民、南島……。弥生化した列島にも縄文の精神は生き続けていた！ 考古学と神話研究の知見からわれわれの内なる「縄文性」に迫る、まったく新しい縄文論。

840



978-4-06-288454-9

2455

保守の真髓

老酔狂で語る文明の素乱

西部 邁

世界恐慌や戦争の危機が迫りつつある現在、国民は政治や文化に関する能力を身につけることが必要である！ 保守の真実を語り尽くす大思想家・ニシベの最期の書であり、日本人への遺言。

840



978-4-06-288455-6

2456

炎の牛肉教室！

山本謙治

「松阪牛」と「米沢牛」の味の違いは？ 「A5」ランクは美味しいの？ 熟成肉は腐敗した肉!? 本物の牛肉を食べたい人のための教室本。「美味しい牛肉を食べられる販売店・飲食店リスト」付き。

800



978-4-06-288456-3

2457

世界神話学入門

後藤 明

なぜ世界中によく似た神話が見られるのか。最新の神話研究とDNA研究のコラボが解明する「出アフリカ」以降のホモ・サピエンス移動の軌跡。いま、人類史の見方が変わる！

900

978-4-06-288457-0

2458

核兵器と原発

日本が抱える「核」のジレンマ

鈴木達治郎

北朝鮮の核の脅威にどう対峙すべきか。「核の傘」は本当に日本を守ってくれるのか。なぜ自民党は原発政策を逆行させるのか。原子力委員会の元委員長代りが明かした「核」の真実！

800

978-4-06-288458-7

2459

9・11後の現代史

酒井啓子

アメリカの陰り、難民、テロ、宗派対立……「犠牲者の座」を誰もが競うことで対立は泥沼化し、世界は不寛容になる。中東における3つの起点から国際情勢を読み解く、かつてない現代史。

800

978-4-06-288459-4

2460

自民党秘史

過ぎ去りし政治家の面影

岡崎守恭

田中角栄・金丸信・竹下登・山中貞則……あのころの政治家は、どこか器の大きさを感じさせた。自民党取材歴40年・伝説の政治記者が語る、驚愕と禁断と哀愁のエピソード。

800

978-4-06-288460-0

2461

新・日本の階級社会

橋本健二

貧困者数が2000万人を超え、男性の3割が生涯未婚に……。日本に今、900万人を超える新しい下層階級が誕生した！ 固定化し、次世代へ「継承」される負の連鎖を直視できるか!?

900

978-4-06-288461-7

2462

王政復古

天皇と將軍の明治維新

久住真也

幕末期、禁裏御所では何が起きていたのか。天皇をめぐる幕府と有志大名の争い。宮中の奥に進出していく藩士たちと身分秩序の維持に腐心する公家勢力。近代国家が形成される舞台裏に迫る。

900



978-4-06-288462-4

2465

哲学の

最新キーワードを読む

「私」と社会をつなぐ知

小川仁志

ポピュリズム、思弁的実在論、OOO……ポスト・グローバル化が進行する新時代を生き抜くために、最低限おさえるべき思想の数々を身につけ、まったく新しい公共哲学を打ちたてよう！

840



978-4-06-288465-5

2466

京都学派

菅原 潤

西田幾多郎、田辺元、三木清、「京大四天王」……戦前、世界最先端の哲学を目指した最高の知性たちは、なぜ戦争協力者へと墜ちてしまったのか？ 自文化礼賛を超え、改めてその可能性を探る。

900



978-4-06-288466-2

2467

プライベートバンカー 驚異の資産運用砲

杉山智一

なぜ日本の金持ちは海外で資産運用をするのか。海外の生命保険と投資信託を組み合わせた運用方法など、彼らが海外で行っている「超資産活用方法」を凄腕のプライベートバンカーが初めて詳細に明かす。

840



978-4-06-288467-9

2468

伝わる技術

力を引き出すコミュニケーション

風間八宏

若手の能力をどうやって引き出すか。ペテランを交えるにはどうするか。名古屋グランパスを1年でJ1復帰に導き、川崎フロンターレ初優勝の基礎を作った知将の、人を育てるコミュニケーションの技法。

800



978-4-06-220997-7

2469

上司の「いじり」が許せない 中野円佳

時として「いじり」は「いじめ」よりも残酷なハラ
スメントになる。なぜ職場で「いじり」は起きる？
「いじり」に遭ったらどうする？ ほか、ネットで大
きな反響を呼んだ人気連載を大幅加筆。

800



978-4-06-288469-3

2470

埼玉県立浦和高校
人生活を伸ばす浦高の極意佐藤 優
杉山 剛士

高校時代の学習法、大学受験の奥義、社会人のサバ
イバル術……。浦高OBの佐藤優氏が、名門県立高
校で、今もなお受け継がれている伝統教育の真髓を、
同高の学校長とともに徹底解説する。

760



978-4-06-288470-9

2471

アクティブラーニング
学校教育の理想と現実

小針 誠

新学習指導要領がもたらす未来は本当にバラ色なの
か？ 学力は向上するのか？ 学力格差はどうなる
か？ 明治から平成に至る〈学び〉の近代史を辿り
ながら、2020年実施の改革の問題点を探る。

880



978-4-06-288471-6

2472

地図から消される街
3・11後の「言ってはいけない真実」

青木美希

あの忌まわしい事故から丸7年——避難指示解除が
進む福島第一原子力発電所近隣地域で進行中の恐る
べき事態とは何か。帰還率「4・3%」の衝撃ほか、
震災直後から取材を続ける女性記者が見た現実。

920



978-4-06-220996-0

--	--	--	--	--



2133	つながる読書術	日垣 隆
2173	日本人のための日本語文法入門	原沢伊都夫
2200	漢字雑談	高島俊男
2213	ラノベのなかの現代日本	波戸岡景太
2215	ウルトラマンが泣いている	円谷英明
2233	ユーミンの罪	酒井順子
2237	漢字はすごい!	山口謙司
2258	万葉びとの宴	上野 誠
2273	非言語表現の威力	佐藤綾子
2287	カフェと日本人	高井尚之
2304	アイヌ学入門	瀬川拓郎
2309	クール・ジャパン!?	鴻上尚史
2310	加藤周一を記憶する	成田龍一
2367	漢字と日本語	高島俊男
2419	京都のおねだん	大野裕之
2427	みんなの朝ドラ	木俣 冬
2441	ニッポンの奇祭	小林紀晴

1422	演劇入門	平田オリザ
1454	スポーツとは何か	玉木正之
1510	最強のプロ野球論	二宮清純
1653	これがビートルズだ	中山康樹
1723	演技と演出	平田オリザ
1765	科学する麻雀	とつびぎ東北
1808	ジャズの名盤入門	中山康樹
1890	「天才」の育て方	五嶋 節
1915	ベートーヴェンの交響曲	金 聖響・玉木正之
1941	プロ野球の一流たち	二宮清純
1970	ビートルズの謎	中山康樹
1990	ロマン派の交響曲	金 聖響・玉木正之
2007	落語論	堀井憲一郎
2045	マイケル・ジャクソン	西寺郷太
2055	世界の野菜を旅する	玉村豊男
2058	浮世絵は語る	浅野秀剛
2096	モーツァルトを「造った」男	小宮正安
2113	なぜ僕はドキュメンタリーを撮るのか	想田和弘
2132	マーラーの交響曲	金 聖響・玉木正之
2210	騎手の一分	藤田伸二
2214	ツールド・フランス	山口和幸
2221	歌舞伎 家と血と藝	中川右介
2239	癒しのランニング	金 哲彦
2270	ロックの歴史	中山康樹
2282	ふしぎな国道	佐藤健太郎
2288	オリブの罨	酒井順子
2296	ニッポンの音楽	佐々木 敦
2305	プロ野球 最強の助っ人論	中島国章
2329	日本のロック名盤ベスト100	川崎大助
2348	努力は天才に勝る!	井上真吾
2366	人が集まる建築	仙田 満
2378	不屈の棋士	大川慎太郎
2381	138億年の音楽史	浦久俊彦
2389	ピアニストは語る	ヴァレリー・アフアナシエフ
2393	現代美術コレクター	高橋龍太郎
2399	ヒットの崩壊	柴 那典

2402	ジャニーズと日本	矢野利裕
2404	本物の名湯ベスト100	石川理夫
2417	ビートたけしと北野武	近藤正高
2420	カラー版 東京の森を歩く	福嶋 司
2424	タロットの秘密	鏡 リュウジ
2446	ピアノの名曲	イリーナ・メジュエワ

●日本語・日本文化

105	タテ社会の人間関係	中根千枝
258	日本人の論理構造	板坂 元
293	日本人の意識構造	会田雄次
300	適応の条件	中根千枝
444	出雲神話	松前 健
1193	漢字の字源	阿辻哲次
1200	外国語としての日本語	佐々木瑞枝
1239	武士道とエロス	氏家幹人
1262	「世間」とは何か	阿部謹也
1432	江戸の性風俗	氏家幹人
1448	日本人のしつけは衰退したか	広田照幸
1618	まちがいたらけの日本語文法	町田 健
1719	「しきり」の文化論	柏木 博
1935	中学入試国語のルール	石原千秋
1943	なぜ日本人は学ばなくなったのか	齋藤 孝
1947	落語の国からのぞいてみれば	堀井憲一郎
1960	女装と日本人	三橋順子
2006	「空気」と「世間」	鴻上尚史
2013	日本語という外国語	荒川洋平
2033	新編 日本語誤用・慣用小辞典	国広哲弥
2065	江戸の気分	堀井憲一郎
2067	日本料理の贅沢	神田裕行
2092	新書 沖縄読本	下川裕治・仲村清司=著・編
2126	日本を滅ぼす(世間の良識)	森巢 博
2127	ラーメンと愛国	速水健朗

1620 相手に「伝わる」話し方 ……池上 彰
 1627 インタビュー術! ……永江 朗
 1679 子どもに教えたい算数 ……栗田哲也
 1738 大人のための文章教室 ……清水義範
 1786 数学的思考法 ……芳沢光雄
 1806 議論のウソ ……小笠原喜康
 1809 畑村式「わかる」技術 ……畑村洋太郎
 1810 わが子に教える作文教室 ……清水義範
 1855 だまされない(議論力) ……吉岡友治
 1865 老いるということ ……黒井千次
 1870 組織を強くする技術の伝え方
 ……畑村洋太郎
 1936 かけがえのない人間 ……上田紀行
 1940 調べる技術・書く技術 ……野村 進
 1979 回復力 ……畑村洋太郎
 1981 日本語論理トレーニング ……中井浩一
 2003 わかりやすく(伝える)技術 ……池上 彰
 2021 新版 大学生のためのレポート・論文術
 ……小笠原喜康
 2027 地アタマを鍛える知的勉強法 齋藤 孝
 2035 22歳からの国語力 ……川辺秀美
 2046 大学生のための知的勉強術 松野 弘
 2054 (わかりやすさ)の勉強法 ……池上 彰
 2083 誰も教えてくれない 人を動かす文章術
 ……齋藤 孝
 2103 アイデアを形にして伝える技術
 ……原尻淳一
 2124 デザインの教科書 ……柏木 博
 2165 エンディングノートのすすめ ……本田桂子
 2188 学び続ける力 ……池上 彰
 2201 野心のすすめ ……林 真理子
 2222 フルーツひとつばなし ……田中 修
 2234 データを紡いで社会につなぐ 渡邊英徳
 2238 幸せのメカニズム ……前野隆司
 2280 体の知性を取り戻す ……尹 雄大
 2298 試験に受かる「技術」 ……吉田たかよし
 2332 「超」集中法 ……野口悠紀雄
 2342 食をめぐるほんとうの話
 ……阿部尚樹・上原万里子・中沢彰吾

2350 仕事の技法 ……田坂広志
 2355 2020年の大学入試問題 ……石川一郎
 2360 女子高生アイドルは、なぜ東大生に知力
 で勝てたのか?
 ……村松 秀/五月女ケイ子=絵
 2396 すごい「会話力」 ……齋藤 孝
 2421 牙を研げ ……佐藤 優
 2432 部活があぶない ……島沢優子
 2447 正しい本の読み方 ……橋爪大三郎
 2456 炎の牛肉教室! ……山本謙治

●文学

2 光源氏の一生 ……池田弥三郎
 180 美しい日本の私
 川端康成/サイデンステッカー英訳併載
 1026 漢詩の名句・名吟 ……村上哲見
 1208 王朝貴族物語 ……山口 博
 1501 アメリカ文学のレッスン ……柴田元幸
 1667 悪女入門 ……鹿島 茂
 1708 きむら式 童話のつくり方 ……木村裕一
 1743 漱石と三人の読者 ……石原千秋
 1841 知ってる古文の知らない魅力 鈴木健一
 2029 決定版 一億人の俳句入門
 ……長谷川 權
 2071 村上春樹を読みつくす ……小山鉄郎
 2209 今を生きるための現代詩 ……渡邊十絲子
 2323 作家という病 ……校條 剛
 2356 ニッポンの文学 ……佐々木 敦
 2364 我が詩的自伝 ……吉増剛造

●趣味・芸術・スポーツ

620 時刻表ひとり旅 ……宮脇俊三
 676 酒の話 ……小泉武夫
 1287 写真美術館へようこそ ……飯沢耕太郎
 1404 踏みはずす美術史 ……森村泰昌

- 2338 世界史を変えた薬 ……佐藤健太郎
 2344 ヒトの本性 ……川合伸幸
 2359 ウイルスは生きている ……中屋敷 均
 2370 明日、機械がヒトになる ……海猫沢めろん
 2374 ブラネタリウム男 ……大平貴之
 2383 生殖医療の衝撃 ……石原 理
 2384 ゲノム編集とは何か ……小林雅一
 2395 不要なクスリ 無用な手術 ……富家 孝
 2433 〈弱いロボット〉の思考 ……岡田美智男
 2434 生命に部分はない
 ……A・キンブレル/福岡伸一=訳
 2452 健康格差 ……NHKスペシャル取材班

●心理・精神医学

- 331 異常の構造 ……木村 敏
 590 家族関係を考える ……河合隼雄
 725 リーダーシップの心理学 ……国分康孝
 824 森田療法 ……岩井 寛
 1011 自己変革の心理学 ……伊藤順康
 1020 アイデンティティの心理学 ……鎌 幹八郎
 1044 〈自己発見〉の心理学 ……国分康孝
 1241 心のメッセージを聴く ……池見 陽
 1289 軽症うつ病 ……笠原 嘉
 1348 自殺の心理学 ……高橋祥友
 1372 〈むなしさ〉の心理学 ……諸富祥彦
 1376 子どものトラウマ ……西澤 哲
 1465 トランスパーソナル心理学入門
 ……諸富祥彦
 1585 フロイト思想のキーワード ……小此木啓吾
 1586 〈ほんとうの自分〉のつくり方 ……榎本博明
 1744 幸福論 ……春日武彦
 1787 人生に意味はあるか ……諸富祥彦
 1827 他人を見下す若者たち ……速水敏彦
 1862 「普通がいい」という病 ……泉谷閑示
 1912 リストカット ……林 直樹
 1922 発達障害の子どもたち ……杉山登志郎
 1962 親子という病 ……香山リカ

- 2008 関係する女 所有する男 ……斎藤 環
 2044 母親はなぜ生きづらいか ……香山リカ
 2062 人間関係のレッスン ……向後善之
 2076 子ども虐待 ……西澤 哲
 2105 はじめての認知療法 ……大野 裕
 2116 発達障害のいま ……杉山登志郎
 2119 動きが心をつくる ……春木 豊
 2143 アサーション入門 ……平木典子
 2180 パーソナリティ障害とは何か ……牛島定信
 2207 「動かない」と人は病む ……大川弥生
 2231 精神医療ダークサイド ……佐藤光展
 2347 信頼学の教室 ……中谷内一也
 2349 「脳疲労」社会 ……徳永雄一郎
 2385 はじめての森田療法 ……北西憲二
 2415 新版 うつ病をなおす ……野村総一郎
 2444 科学の知恵 怒りを鎮める うまく謝る
 ……川合伸幸

●知的生活のヒント

- 78 大学でいかに学ぶか ……増田四郎
 86 愛に生きる ……鈴木鎮一
 240 生きることと考えること ……森 有正
 297 本はどう読むか ……清水幾太郎
 327 考える技術・書く技術 ……板坂 元
 436 知的生活の方法 ……渡部昇一
 553 創造の方法学 ……高根正昭
 587 文章構成法 ……樺島忠夫
 648 働くということ ……黒井千次
 706 ジョークとトリック ……織田正吉
 722 「知」のソフトウェア ……立花 隆
 1027 「からだ」と「ことば」のレッスン 竹内敏晴
 1275 自分をどう表現するか ……佐藤綾子
 1468 国語のできる子どもを育てる ……工藤順一
 1485 知の編集術 ……松岡正剛
 1517 悪の対話術 ……福田和也
 1522 算数のできる子どもを育てる ……木幡 寛
 1563 悪の恋愛術 ……福田和也

1746 中国の大盗賊・完全版 ……高島俊男
 1761 中国文明の歴史 ……岡田英弘
 1769 まんが パレスチナ問題 ……山井教雄
 1811 歴史を学ぶということ ……入江 昭
 1932 都市計画の世界史 ……日端康雄
 1966 〈満洲〉の歴史 ……小林英夫
 2005 カペー朝 ……佐藤賢一
 2018 古代中国の虚像と実像 ……落合淳思
 2025 まんが 現代史 ……山井教雄
 2070 イギリス近代史講義 ……川北 稔
 2120 居酒屋の世界史 ……下田 淳
 2182 おどろきの中国
 ……橋爪大三郎・大澤真幸・宮台真司
 2189 世界史の中のパレスチナ問題
 ……白杵 陽
 2241 科学vs.キリスト教 ……岡崎勝世
 2257 歴史家が見る現代世界 ……入江 昭
 2281 ヴァロワ朝 ……佐藤賢一
 2301 高層建築物の世界史 ……大澤昭彦
 2316 ナチスの財宝 ……篠田航一
 2318 ヒトラーとナチ・ドイツ ……石田勇治
 2331 続 まんが パレスチナ問題 ……山井教雄
 2345 鄧小平 ……エズラ・F・ヴォーゲル/
 橋爪大三郎=聞き手
 2386 〈情報〉帝国の興亡 ……玉木俊明
 2409 〈軍〉の中国史 ……澁谷由里
 2410 入門 東南アジア近現代史 ……岩崎育夫
 2442 ハプスブルク帝国 ……岩崎周一
 2445 珈琲の世界史 ……且部幸博
 2457 世界神話学入門 ……後藤 明
 2459 9・11後の現代史 ……酒井啓子

●自然科学・医学

1126 「気」で観る人体 ……池上正治
 1141 安楽死と尊厳死 ……保阪正康
 1328 「複雑系」とは何か ……吉永良正
 1343 カンブリア紀の怪物たち・生命の歴史①

……………S・C・モリス/松井孝典=監訳
 1500 科学の現在を問う ……村上陽一郎
 1511 優生学と人間社会
 米本昌平・松原洋子・鵬鳥次郎・市野川
 容孝
 1689 時間の分子生物学 ……糸 和彦
 1700 核兵器のしくみ ……山田克哉
 1706 新しいリハビリテーション ……大川弥生
 1759 文系のための数学教室 ……小島寛之
 1805 人類進化の700万年 ……三井 誠
 1813 はじめての〈超ひも理論〉 ……川合 光
 1840 算数・数学が得意になる本 ……芳沢光雄
 1861 〈勝負脳〉の鍛え方 ……林 成之
 1881 「生きている」を見つめる医療
 ……中村桂子・山岸 敦
 1891 生物と無生物のあいだ ……福岡伸一
 1925 数学でつまずくのはなぜか ……小島寛之
 1929 脳のなかの身体 ……宮本省三
 2000 世界は分けてもわからない ……福岡伸一
 2023 ロボットとは何か ……石黒 浩
 2030 がんを生きる ……佐々木常雄
 2039 ソーシャルブレインズ入門 ……藤井直敬
 2085 言葉と脳と心 ……山島 重
 2097 〈麻薬〉のすべて ……船山信次
 2122 量子力学の哲学 ……森田邦久
 2166 化石の分子生物学 ……更科 功
 2191 DNA医学の最先端 ……大野典也
 2204 森の力 ……宮脇 昭
 2219 宇宙はなぜこのような宇宙なのか
 ……青木 薫
 2226 宇宙生物学で読み解く「人体」の不思議
 ……吉田たかよし
 2244 呼鈴の科学 ……吉田 武
 2262 生命誕生 ……中沢弘基
 2265 SFを実現する ……田中浩也
 2268 生命のからくり ……中屋敷 均
 2269 認知症を知る ……飯島裕一
 2292 認知症の「真実」 ……東田 勉
 2312 文明探偵の冒険 ……神里達博

2154 邪馬台国をとらえなおす ……大塚初重
 2190 戦前日本の安全保障 ……川田 稔
 2192 江戸の小判ゲーム ……山室恭子
 2196 藤原道長の日常生活 ……倉本一宏
 2202 西郷隆盛と明治維新 ……坂野潤治
 2212 明治国家をつくった人びと ……瀧井一博
 2225 黒田官兵衛 ……渡邊大門
 2243 日本軍と日本兵 ……一ノ瀬俊也
 2248 城を攻める 城を守る ……伊東 潤
 2272 昭和陸軍全史1 ……川田 稔
 2278 織田信長(天下人)の実像 ……金子 拓
 2284 スードと愛国 ……池川玲子
 2285 思索の源泉としての鉄道 ……原 武史
 2289 昭和陸軍全史2 ……川田 稔
 2299 日本海軍と政治 ……手嶋泰伸
 2319 昭和陸軍全史3 ……川田 稔
 2325 商店街はいま必要なのか ……満園 勇
 2328 タモリと戦後ニッポン ……近藤正高
 2330 弥生時代の歴史 ……藤尾慎一郎
 2343 天下統一 ……黒嶋 敏
 2351 戦国の陣形 ……乃至政彦
 2376 昭和の戦争 ……井上寿一
 2380 刀の日本史 ……加来耕三
 2382 田中角栄 ……服部龍二
 2391 げんきな日本論 橋爪大三郎・大澤真幸
 2394 井伊直虎 ……夏目琢史
 2398 日米開戦と情報戦 ……森山 優
 2401 愛と狂瀾のメリークリスマス 堀井憲一郎
 2405 織田信長の城 ……加藤理文
 2414 海の向こうから見た倭国 ……高田貫太
 2428 戦争の日本古代史 ……倉本一宏
 2438 飛行機の戦争 1914-1945 ……一ノ瀬俊也
 2439 知ってはいけない ……矢部宏治
 2449 天皇家のお葬式 ……大角 修
 2451 不死身の特攻兵 ……鴻上尚史
 2453 戦争調査会 ……井上寿一
 2454 縄文の思想 ……瀬川拓郎
 2462 王政復古 ……久住真也

●世界史

834 ユダヤ人 ……上田和夫
 930 フリーメイソン ……吉村正和
 934 大英帝国 ……長島伸一
 959 東インド会社 ……浅田 實
 968 ローマはなぜ滅んだか ……弓削 達
 971 文化大革命 ……矢吹 晋
 1017 ハプスブルク家 ……江村 洋
 1019 動物裁判 ……池上俊一
 1076 デパートを発明した夫婦 ……鹿島 茂
 1080 ユダヤ人とドイツ ……大澤武男
 1085 アラブとイスラエル ……高橋和夫
 1088 ヨーロッパ「近代」の終焉 ……山本雅男
 1097 オスマン帝国 ……鈴木 董
 1099 「民族」で読むアメリカ ……野村達朗
 1151 ハプスブルク家の女たち ……江村 洋
 1231 キング牧師とマルコムX ……上坂 昇
 1249 ヒトラーとユダヤ人 ……大澤武男
 1252 ロスチャイルド家 ……横山三四郎
 1282 戦うハプスブルク家 ……菊池良生
 1283 イギリス王室物語 ……小林章夫
 1306 モンゴル帝国の興亡(上) ……杉山正明
 1307 モンゴル帝国の興亡(下) ……杉山正明
 1321 聖書vs.世界史 ……岡崎勝世
 1366 新書アフリカ史 宮本正興・松田素二=編
 1442 メディチ家 ……森田義之
 1470 中世シチリア王国 ……高山 博
 1486 エリザベスI世 ……青木道彦
 1572 ユダヤ人とローマ帝国 ……大澤武男
 1587 傭兵の二千年史 ……菊池良生
 1588 現代アラブの社会思想 ……池内 恵
 1664 新書ヨーロッパ史 中世篇 堀越孝一=編
 1673 神聖ローマ帝国 ……菊池良生
 1687 世界史とヨーロッパ ……岡崎勝世
 1705 魔女とカルトのドイツ史 ……浜本隆志
 1712 宗教改革の真実 ……永田諒一

- 2422 捨てられる銀行2 非産運用 橋本卓典
 2423 勇敢な日本経済論
 ……………高橋洋一・ぐっちーさん
 2425 真説・企業論 ……………中野剛志
 2426 東芝解体 電機メーカーが消える日
 ……………大西康之
 2448 変な経営論 澤田秀雄インタビュー
 ……………桐山秀樹・丸本忠之=聞き手
 2461 新・日本の階級社会 ……………橋本健二
 2467 プライベートバンカー 驚異の資産運用砲
 ……………杉山智一
 2468 伝わる技術 ……………風間八宏

●世界の言語・文化・地理

- 958 英語の歴史 ……………中尾俊夫
 987 はじめての中国語 ……………相原 茂
 1025 J・S・パツハ ……………磯山 雅
 1073 はじめてのドイツ語 ……………福本義憲
 1111 ヴェネツィア ……………陣内秀信
 1183 はじめてのスペイン語 ……………東谷頼人
 1353 はじめてのラテン語 ……………大西英文
 1396 はじめてのイタリア語 ……………郡 史郎
 1446 南イタリアへ! ……………陣内秀信
 1701 はじめての言語学 ……………黒田龍之助
 1753 中国語はおもしろい ……………新井一二三
 2081 はじめてのポルトガル語 ……………浜岡 究
 2086 英語と日本語のあいだ ……………菅原克也
 2104 国際共通語としての英語 鳥飼玖美子
 2107 野生哲学 ……………管 啓次郎・小池桂一
 2158 一生モノの英文法 ……………澤井康佑
 2227 アメリカ・メディア・ウォーズ ……………大治朋子
 2228 フランス文学と愛 ……………野崎 欽
 2353 本物の英語力 ……………鳥飼玖美子
 2411 話すための英語力 ……………鳥飼玖美子

●日本史

- 1258 身分差別社会の真実・新書江戸時代②
 ……………斎藤洋一・大石慎三郎
 1265 七三一部隊 ……………常石敬一
 1292 日光東照宮の謎 ……………高藤晴俊
 1322 藤原氏千年 ……………隴谷 寿
 1379 白村江 ……………遠山美都男
 1394 参勤交代 ……………山本博文
 1414 謎とき日本近現代史 ……………野島博之
 1599 戦争の日本近現代史 ……………加藤陽子
 1648 天皇と日本の起源 ……………遠山美都男
 1680 鉄道ひとつばなし ……………原 武史
 1702 日本史の考え方 ……………石川晶康
 1707 参謀本部と陸軍大学校 ……………黒野 耐
 1797 「特攻」と日本人 ……………保阪正康
 1885 鉄道ひとつばなし2 ……………原 武史
 1892 近江から日本史を読み直す ……………今谷 明
 1900 日中戦争 ……………小林英夫
 1904 八幡神と神仏習合 ……………遠 日出典
 1918 日本人はなぜキツネにたまされなくなった
 のか ……………内山 節
 1924 東京裁判 ……………日暮吉延
 1931 幕臣たちの明治維新 ……………安藤優一郎
 1950 「昭和」を点検する
 ……………保阪正康・半藤一利
 1982 皇軍兵士の日常生活 ……………一ノ瀬俊也
 1999 吉田茂と昭和史 ……………井上寿一
 2031 明治維新 1858-1881
 ……………坂野潤治・大野健一
 2040 中世を道から読む ……………齋藤慎一
 2069 攘夷の幕末史 ……………町田明広
 2089 占いと中世人 ……………菅原正子
 2095 鉄道ひとつばなし3 ……………原 武史
 2098 戦前昭和の社会 1926-1945 井上寿一
 2106 戦国誕生 ……………渡邊大門
 2109 「神道」の虚像と実像 ……………井上寛司

2400	米中戦争	渡部悦和
2413	アメリカ帝国の終焉	進藤榮一
2431	未来の年表	河合雅司
2436	縮小ニッポンの衝撃	……………NHKスペシャル取材班
2443	福島第一原発 1号機冷却「失敗の本質」	NHKスペシャル「メルトダウン」取材班
2455	保守の真髓	……………西部 邁
2458	核兵器と原発	……………鈴木達治郎
2460	自民党秘史	……………岡崎守恭
2469	上司の「いじり」が許せない	……………中野円佳
2470	埼玉県立浦南高校	……………佐藤 優・杉山剛士
2471	アクティブラーニング	……………小針 誠
2472	地図から消される街	……………青木美希

●経済・ビジネス

350	経済学はむずかしくない 第2版	……………都留重人
1596	失敗を生かす仕事術	……………畑村洋太郎
1624	企業を高めるブランド戦略	……………田中 洋
1641	ゼロからわかる経済の基本	……………野口 旭
1656	コーチングの技術	……………菅原裕子
1926	不機嫌な職場	……………高橋克徳・河合太介・永田 稔・渡部 幹
1992	経済成長という病	……………平川克美
1997	日本の雇用	……………大久保幸夫
2010	日本銀行は信用できるか	……………岩田規久男
2016	職場は感情で変わる	……………高橋克徳
2036	決算書はこだけ読め!	……………前川修満
2064	決算書はこだけ読め! キャッシュ・フロー計算書編	……………前川修満
2125	ビジネスマンのための「行動観察」入門	……………松波晴人
2128	日本経済の奇妙な常識	……………吉本佳生
2148	経済成長神話の終わり	……………アンドリュウ・J・サター/中村起子=訳

2171	経済学の犯罪	……………佐伯啓思
2178	ゼロからわかる 経済学の思考法	……………小島寛之
2203	ビッグデータの覇者たち	……………海部美知
2206	頭が良くなる議論の技術	……………齋藤 孝
2218	会社を変える分析の力	……………河本 薫
2229	ビジネスをつくる仕事	……………小林敬幸
2235	20代のための「キャリア」と「仕事」入門	……………塩野 誠
2236	部長の資格	……………米田 巖
2240	会社を変える会議の力	……………杉野幹人
2242	孤独な日銀	……………白川浩道
2261	変わった世界 変わらない日本	……………野口悠紀雄
2267	「失敗」の経済政策史	……………川北隆雄
2300	世界に冠たる中小企業	……………黒崎 誠
2302	明日のプランニング	……………佐藤尚之
2303	「タレント」の時代	……………酒井崇男
2308	本社はわかってくれない	……………下川裕治=編
2315	〈未来〉のつくり方	……………池田純一
2322	技術大国幻想の終わり	……………畑村洋太郎
2324	〈税金逃れ〉の衝撃	……………深見浩一郎
2335	損したくないニッポン人	……………高橋秀実
2339	指揮官の条件	……………高嶋博視
2340	ネットフリックスの時代	……………西田宗千佳
2346	信じていいのか銀行員	……………山崎 元
2354	インド人の「力」	……………山下博司
2362	トヨタの強さの秘密	……………酒井崇男
2371	捨てられる銀行	……………橋本卓典
2372	現代語訳 貧乏物語	……………河上 肇/佐藤 優=訳・解説
2388	マンション格差	……………榊 淳司
2397	老いる家 崩れる街	……………野澤千絵
2403	親の介護をする前に読む本	……………東田 勉
2407	国税局査察部24時	……………上田二郎
2412	楽しく学べる「知財」入門	……………稲穂健市
2416	日本経済入門	……………野口悠紀雄
2418	2025年 日本の農業ビジネス	……………21世紀政策研究所=編

- 1837 若者殺しの時代 ……堀井憲一郎
- 1844 「関係の空気」「場の空気」…冷泉彰彦
- 1866 欲ばり過ぎるニッポンの教育
……………菊谷剛彦・増田ユリヤ
- 1888 50年前の憲法大論争 保阪正康=監修
- 1921 モテたい理由 ……赤坂真理
- 1949 見えないアメリカ ……渡辺将人
- 1958 早稲田と慶応 ……橘木俊詔
- 1965 創価学会の研究 ……玉野和志
- 1971 歴史と外交 ……東郷和彦
- 1977 天皇陛下の全仕事 ……山本雅人
- 1978 思考停止社会 ……郷原信郎
- 1984 いじめの構造 ……内藤朝雄
- 1985 日米同盟の正体 ……孫崎 享
- 1993 新しい「教育格差」 ……増田ユリヤ
- 2038 ガラバゴス化する日本 ……吉川尚宏
- 2053 〈中東〉の考え方 ……酒井啓子
- 2068 財政危機と社会保障 ……鈴木 亘
- 2073 リスクに背を向ける日本人
……………山岸俊男 メアリー・C・ブリントン
- 2079 認知症と長寿社会
……………信濃毎日新聞取材班
- 2082 変わる家族と介護 ……春日キスヨ
- 2094 「認められたい」の正体 ……山竹伸二
- 2115 国力とは何か ……中野剛志
- 2117 未曾有と想定外 ……畑村洋太郎
- 2123 中国社会の見えない掟 ……加藤隆則
- 2130 ケインズとハイエク ……松原隆一郎
- 2135 弱者の居場所がない社会 ……阿部 彩
- 2136 大震災後の社会学 ……遠藤 薫=編著
- 2138 超高齢社会の基礎知識 ……鈴木隆雄
- 2139 日本の国防 ……久江雅彦
- 2140 クラウドの未来 ……小池良次
- 2145 電力改革 ……橘川武郎
- 2152 鉄道と国家 ……小牟田哲彦
- 2156 本音の沖縄問題 ……仲村清司
- 2157 冤罪と裁判 ……今村 核
- 2176 JAL再建の真実 ……町田 徹
- 2183 死刑と正義 ……森 炎
- 2186 民法はおもしろい ……池田真朗
- 2194 韓国のグローバル人材育成力
……………岩秀秀樹
- 2195 反教育論 ……泉谷閑示
- 2245 校長という仕事 ……代田昭久
- 2246 愛と暴力の戦後とその後 ……赤坂真理
- 2247 国際メディア情報戦 ……高木 徹
- 2250 絶望の裁判所 ……瀬木比呂志
- 2251 憲法改正のオモテとウラ ……舛添要一
- 2253 社会保障亡国論 ……鈴木 亘
- 2264 孤独死のリアル ……結城康博
- 2277 米軍と人民解放軍 ……布施 哲
- 2283 デジタルは人間を奪うのか ……小川和也
- 2286 大人のひきこもり ……池上正樹
- 2294 安倍官邸の正体 ……田嶋史郎
- 2295 福島第一原発事故 7つの謎
NHKスペシャル『メルトダウン』取材班
- 2297 ニッポンの裁判 ……瀬木比呂志
- 2306 暗闇から世界が変わる ……志村真介
- 2307 AIの衝撃 ……小林雅一
- 2314 中高年ブラック派遣 ……中沢彰吾
- 2317 ふしぎなイギリス ……笠原敏彦
- 2320 新・自衛隊論 自衛隊を活かす会=編著
- 2321 原発労働者 ……寺尾紗穂
- 2326 石油・武器・麻薬 ……宮田 律
- 2327 「イスラム国」と「恐怖の輸出」
……………菅原 出
- 2334 介護ビジネスの罠 ……長岡美代
- 2336 生身の暴力論 ……久田将義
- 2352 警察捜査の正体 ……原田宏二
- 2358 貧困世代 ……藤田孝典
- 2361 地方議員の逆襲 ……佐々木信夫
- 2363 下り坂をそろそろと下る ……平田オリザ
- 2369 バックス・チャイナ 中華帝国の野望
……………近藤大介
- 2375 自民党ひとり良識派 ……村上誠一郎
- 2377 情報参謀 ……小口日出彦
- 2387 憲法という希望
……………木村草太/国谷裕子=対談

2050	超解説! はじめてのヘーゲル『精神現象学』	竹田青嗣・西 研
2084	はじめての政治哲学	小川仁志
2093	ウェブ×ソーシャル×アメリカ	池田純一
2099	超解説! はじめてのカント『純粹理性批判』	竹田青嗣
2114	いつだって大変な時代	堀井憲一郎
2134	いまを生きるための思想キーワード	仲正昌樹
2153	感性の限界	高橋昌一郎
2155	独立国家のつくりかた	坂口恭平
2167	新しい左翼入門	松尾 匡
2168	社会を変えるには	小熊英二
2169	超解説! はじめてのフッサール『現象学の理念』	竹田青嗣
2172	私とは何か	平野啓一郎
2177	わかりあえないことから	平田オリザ
2179	アメリカを動かす思想	小川仁志
2185	死別の悲しみに向き合う	坂口幸弘
2208	非社会的社交性	中島義道
2216	まんが 哲学入門	森岡正博・寺田にゃんこふ
2224	絆の構造	高橋恵子
2254	教育の力	苦野一徳
2263	ナショナリズム入門	植村和秀
2274	現実脱出論	坂口恭平
2279	マックス・ウェーバーを読む	仲正昌樹
2290	問うための哲学書 小川仁志・萱野稔人	
2341	ハイデガー哲学入門—『存在と時間』を読む	仲正昌樹
2357	死ぬ力	鷺田小彌太
2406	幸福の哲学	岸見一郎
2437	ハイデガー『存在と時間』入門	轟 孝夫
2440	山本七平の思想	東谷 暁
2465	哲学の最新キーワードを読む	小川仁志
2466	京都学派	菅原 潤

● 宗教

27	禅のすすめ	佐藤幸治
135	日蓮	久保田正文
217	道元入門	秋月龍珉
606	「般若心経」を読む	紀野一義
667	生命あるすべてのものに	マザー・テレサ
698	神と仏	山折哲雄
997	空と無我	定方 晟
1210	イスラームとは何か	小杉 泰
1469	ヒンドゥー教 K・M・セーン/中川正生=訳	
1609	一神教の誕生	加藤 隆
1755	仏教発見!	西山 厚
1988	入門 哲学としての仏教	竹村牧男
2100	ふしぎなキリスト教	橋爪大三郎・大澤真幸
2146	世界の陰謀論を読み解く	辻 隆太郎
2159	古代オリエントの宗教	青木 健
2220	仏教の真実	田上太秀
2293	善の根拠	南 直哉
2333	輪廻転生	竹倉史人
2337	『臨濟録』を読む	有馬頼底
2368	「日本人の神」入門	島田裕巳

● 政治・社会

1145	冤罪はこうして作られる	小田中聰樹
1201	情報操作のトリック	川上和久
1488	日本の公安警察	青木 理
1540	戦争を記憶する	藤原婦一
1567	〈子どもの虐待〉を考える	玉井邦夫
1742	教育と国家	高橋哲哉
1767	武装解除	伊勢崎賢治
1788	カーニヴァル化する社会	鈴木謙介
1807	「戦争学」概論	黒野 耐
1826	日本を滅ぼす教育論議	岡本 薫

既刊書目 部門別一覧

数字は書目番号です。
品切れの書目は除いてあります。

●哲学・思想

- 13 論語 ……貝塚茂樹
66 哲学のすすめ ……岩崎武雄
159 弁証法はどういう科学か ……三浦つとむ
285 正しく考えるために ……岩崎武雄
324 美について ……今道友信
501 ニーチェとの対話 ……西尾幹二
871 言葉と無意識 ……丸山圭三郎
898 はじめての構造主義 ……橋爪大三郎
916 哲学入門一歩前 ……廣松 渉
921 現代思想を読む事典 ……今村仁司=編
977 哲学の歴史 ……新田義弘
989 ミシェル・フーコー ……内田隆三
1001 今こそマルクスを読み返す ……廣松 渉
1007 日本の風景・西欧の景観
……オギュスタン・ペルク/篠田勝英=訳
1123 はじめてのインド哲学 ……立川武蔵
1150 「欲望」と資本主義 ……佐伯啓思
1163 「孫子」を読む ……浅野裕一
1247 メタファー思考 ……瀬戸賢一
1248 20世紀言語学入門 ……加賀野井秀一
1278 ラカンの精神分析 ……新宮一成

- 1286 哲学の謎 ……野矢茂樹
1293 「時間」を哲学する ……中島義道
1301 〈子ども〉のための哲学 ……永井 均
1315 じぶん・この不思議な存在 ……鷺田清一
1357 新しいヘーゲル ……長谷川 宏
1358 「教養」とは何か ……阿部謹也
1383 カントの人間学 ……中島義道
1401 これがニーチェだ ……永井 均
1420 無限論の教室 ……野矢茂樹
1436 古事記と日本書紀 ……神野志隆光
1439 〈意識〉とは何だろうか ……下條信輔
1466 ゲーデルの哲学 ……高橋昌一郎
1542 自由はどこまで可能か ……森村 進
1544 倫理という力 ……前田英樹
1560 神道の逆襲 ……菅野覚明
1575 動物化するポストモダン ……東 浩紀
1582 ロボットの心 ……柴田正良
1600 ハイデガー=存在神秘の哲学 古東哲明
1635 これが現象学だ ……谷 徹
1638 時間は実在するか ……入不二基義
1675 ウイトゲンシュタインはこう考えた
………鬼界彰夫
1741 武士道の逆襲 ……菅野覚明
1745 私・今・そして神 ……永井 均
1749 自由とは何か ……佐伯啓思
1763 ソシユールと言語学 ……町田 健
1783 スピノザの世界 ……上野 修
1839 読む哲学事典 ……田島正樹
1849 系統樹思考の世界 ……三中信宏
1867 現代建築に関する16章 ……五十嵐太郎
1883 ゲーム的リアリズムの誕生 ……東 浩紀
1948 理性の限界 ……高橋昌一郎
1957 リアルのゆくえ ……大塚英志・東 浩紀
1961 国際正義の論理 ……押村 高
1996 今こそアレントを読み直す 仲正昌樹
2004 はじめての言語ゲーム ……橋爪大三郎
2009 ニッポンの思想 ……佐々木 敦
2014 分類思考の世界 ……三中信宏
2048 知性の限界 ……高橋昌一郎

--	--	--	--

--	--	--	--

●ろ

N・ローゼンタール
 ——※1098
 ロート美恵 ——※1045
 K・ローレンツ ——※418

●わ

若狭蔵之助 ——※681
 和歌森太郎 ——※94
 若山 滋 ——※992
 脇 明子 ——※348
 脇 英世 ——※730
 ——※807
 脇山 怜 ——※994
 鷺田清一 ——1315
 鷺田小彌太 ——2357
 和田秀樹 ——※1390
 ——※1781
 和田充夫 ——※1065
 和田芳恵 ——※277
 渡辺一夫 ——※6
 ——※334
 渡辺吉籍 ——※614
 ——※687
 渡辺憲司 ——※1224
 渡辺浩武 ——※1631
 渡辺浩平 ——※1336
 ——※1951
 渡部 淳 ——※1812
 渡部潤一 ——※1503
 渡部昇一 ——436
 ——※372
 ——※480
 ——※538
 ——※595
 ——※596
 ——※634
 渡辺 深 ——※1447

渡邊大門 ——2106
 ——2225
 ——※2022
 渡辺恒夫 ——※1303
 渡辺利夫 ——※831
 ——※1227
 渡邊十絲子 ——2209
 渡邊英徳 ——2234
 渡辺正雄 ——※73
 渡辺将人 ——1949
 渡邊昌美 ——※1312
 渡辺美紀子 ——※984
 渡辺みどり ——※1491
 渡辺明次 ——※1035
 渡部悦和 ——2400
 渡辺龍策 ——※169
 渡部 幹 ——1926
 ——※2056

山本 敏 ——— ※323
山本 偕 ——— ※536
————— ※605
山本真司 ——— ※1642
山元大輔 ——— ※1351
山本直樹 ——— ※1370
山本博文 ——— 1394
————— ※1541
————— ※1607
山本雅男 ——— 1088
山本雅人 ——— 1977
山本昌弘 ——— ※783
山本三毅夫 ——— ※1370
山本義郎 ——— ※1773
梁 石日^{マン ヲキル} ——— ※1240

●ゆ

游 仲勲 ——— ※980
結城康博 ——— 2264
有倉巳幸 ——— ※1683
湯川秀樹 ——— ※7
雪山伸一〈訳〉 ——— ※1271
弓削 達 ——— 968
————— ※312
尹 雄大^{ユン ウンデ} ——— 2280

●よ

横田喜三郎 ——— ※118
横田健一 ——— ※195
横田敏勝 ——— ※1527
横山三四郎 ——— 1252
————— ※1127
横山征次 ——— ※1686
横山正義 ——— ※735

吉井直三郎 ——— ※196
吉井博明 ——— ※1332
吉岡郁夫 ——— ※825
吉岡友治 ——— 1855
吉川高宏 ——— 2038
吉川裕子 ——— ※407
————— ※537
吉川良三 ——— ※2151
吉國恒雄 ——— ※1473
芳沢光雄 ——— 1786
————— 1840
————— ※1946
吉田敦彦 ——— ※420
吉田和男 ——— ※1266
吉田寿三郎 ——— ※604
吉田たかよし ——— 2226
————— 2298
————— ※1668

吉田 武 ——— 2244
吉田禎吾 ——— ※218
吉田夏彦 ——— ※174
吉田光邦 ——— ※99
吉田洋一 ——— ※46
吉永良正 ——— 1328
吉野裕子 ——— ※405
————— ※675
吉原清児 ——— ※1495
————— ※1682
吉増剛造 ——— 2364
吉村作治 ——— ※554
————— ※683
————— ※749
吉村正和 ——— 930
吉本佳生 ——— 2128
————— ※2205

四谷シモン ——— ※1633
米田 巖 ——— 2236
米本昌平 ——— 1511
————— ※759
米山俊直 ——— ※152
————— ※447
読売新聞医療情報部

————— ※1967
読売新聞科学部
————— ※1425
四方田犬彦 ——— ※2118
頼富本宏 ——— ※926

●ら

E・O・ライシャワー ※56

●り

I・リバス ——— ※777
梁 過 ——— ※2108
劉 影 ——— ※1524

●る

L・M・ルクロン ——— ※607

●れ

冷泉彰彦 ——— 1844
————— ※2141

森田松太郎	※858	安武秀岳	※929	山口義行	※1212
森田優三	※268	安永祖堂	※2080	山崎 功	※547
森田良行	※873	安本美典	※294	山崎克雄	※1902
	※919		※361	山崎 清	※896
	※969		※506	山崎国紀	※467
森田義之	1442		※637	山崎敬之	※1789
森谷尅久	※521		※685	山崎 元	2346
森谷正規	※852		※908	山崎正一	※148
森戸由久	※840	矢田 浩	※1778	〈編〉	※225
森永卓郎	※1338	八木公生	※1534		※276
	※1431		※1535	山崎庸一郎	※257
	※1489	柳田為正(訳)	※271	山下富美代	※895
	※1597	柳原良平	※869	山下博司	2354
	※1750	柳瀬尚紀	※652	山下正男	※123
森村 進	1542		※811	山田 勇	※163
森村泰昌	1404	矢野健太郎	※15	山田英二	※7
森本和夫	※374		※89	山田克哉	1700
森本豊富(訳)	※1253		※150		※1860
森本良男	※979		※210	山田祥平	※1299
森山 優	2398		※253	山田眞次郎	※1660
森山重雄	※201	矢野利裕	2402	山田鋭夫	※1146
諸富祥彦	1372	矢吹 晋	971	山田登世子	※1374
	1465		※1070	山田無文	※259
	1787		※1153	山田雄一	※650
諸橋轍次	※55	矢部宏治	2439		※772
	※322	山内 進	※1516		※854
		山内昌之	※1355		※947
			※1400	山竹伸二	2094
		山尾幸久	※284	山登敬之	※1416
			※835	山鳥 重	2085
		山折哲雄	698		※1427
			※940	山根一眞	※1426
			※1663	山根貞男	※902
●や		山形孝夫	※448	山井教雄	1769
八木誠一	※179	山岸 敦	1881		2025
	※243	山岸俊男	2073		2331
	※798	山極寿一	※1156	山内恭彦	※83
八木宏之	※1717	山口和幸	2214	山之内克子	※1276
八木 充	※351	山口二郎	※1969	山室恭子	2192
八木下 弘	※801	山口 博	1208	山本健吉	※21
八杉龍一	※11	山口昌男	※893		※422
安田章生	※384	山口謠司	2237	山本謙治	2456
安田 武	※524				
安田敏朗	※1916				

_____※597
 南川高志 _____※1389
 南塚信吾 _____※995
 宮川 透 _____※133
 宮城音弥 _____※22
 _____※336
 〈訳〉 _____※383
 _____※627
 _____※702
 宮沢健一〈編〉 _____※163
 宮下啓三 _____※154
 宮下志朗 _____※1610
 宮島直機〈編〉 _____※995
 宮島英紀 _____※1898
 宮田 律 _____2326
 宮台真司 _____2182
 _____※2112
 宮本省三 _____1929
 宮本正興〈編〉 _____1366
 宮本雅行 _____※1659
 宮脇 昭 _____2204
 宮脇俊三 _____620
 P・ミルワード _____※496
 _____※523
 _____※649
 _____※766
 _____※828
 _____※1021
 _____※1179
 _____※1402
 三輪公忠 _____※170
 A・ミンデル _____※1570

●む

向井 敏 _____※689
 向 壽一 _____※1010
 _____※1362
 向井承子 _____※1155

麦島文夫 _____※247
 陸口 潤〈編〉 _____※1160
 向 一陽 _____※1727
 武者小路公秀 _____※199
 武者小路実篤 _____※65
 務台理作 _____※19
 無藤 隆 _____※1202
 宗像恒次 _____※1130
 村井 実 _____※4
 村井康彦 _____※424
 村尾信尚 _____※1734
 村上重良 _____※161
 _____※571
 村上誠一郎 _____2375
 村上哲見 _____1026
 _____※592
 _____※837
 村上光彦 _____※1109
 村上陽一郎 _____1500
 村瀬 学 _____※2032
 村田見嗣 _____※1774
 村松 秀 _____2360
 村松 剛 _____※34
 _____※106
 村松常雄 _____※93
 _____※510
 _____※579
 村山リウ _____※97

●め

イリーナ・メジューエワ
 _____2446
 校條 剛 _____2323

●も

H・モーゲンソー _____※360
 望田幸男 _____※1015
 本村凌二 _____※1476
 _____※1562
 百瀬明治 _____※1137
 _____※1313
 森 明子 _____※679
 森 有正 _____240
 _____※445
 森 清 _____※566
 _____※1089
 森 謙二 _____※1152
 森 崇 _____※862
 森 常治 _____※483
 _____※534
 森 省二 _____※945
 _____※1014
 _____※1143
 森 達也 _____※1930
 森 毅 _____※264
 森 英明〈訳〉 _____※1908
 森 秀樹 _____※1434
 森 秀行 _____※1657
 森 炎 _____2183
 護 雅夫 _____※116
 森 三樹三郎 _____※207
 _____※261
 _____※431
 森 義信 _____※1238
 森 龍吉 _____※550
 森枝卓士 _____※937
 _____※1421
 森岡正博 _____2216
 盛口 満 _____※1405
 森下 晶 _____※344
 S・C・モリス _____1343
 森巢 博 _____2126
 _____※1987
 森田 章 _____※1068
 森田邦久 _____2122
 森田正人 _____※1619

牧野 剛	——※126	松尾 匡	——2167		——※2041
孫崎 享	——1985	松岡悦子〈編〉	※1876	丸山圭三郎	——871
	——※2149	松岡正剛	——1485		——※1002
W・マーザー	——※1242	松下幸之助	——※74		
マザー・テレサ	——667	松下文洋	——※1782		
正木ひろし	——※9	松島大輔	——※2163		
	——※332	松田卓也	——※1005		
正高信男	——※1280	松田道雄	——※16		
増井武士	——※1483		——※333		
増島みどり	——※1539	松田道弘	——※799	●み	
舛添要一	——2251	松田素二〈編〉	——1366	三浦 展	——※1482
増田重光	——※134	松平 誠	——※582	三浦綾子	——※279
増田四郎	——78	松谷みよ子	——※370	三浦つとむ	——159
	——※163	松永伍一	——※401	三上章允	——※1059
増田ユリヤ	——1866	松永俊男	——※1110	三木光範	——※1616
	——1993	松永嘉夫	——※221	G・ミケシュ	——※526
増田義郎	——※119		——※281	水上 勉	——※299
増谷文雄	——※117	松波晴人	——2125	水島広子	——※1505
	——※244	松野 弘	——2046	水田 洋	——※186
	——※347	〈編著〉	——※1564		——※399
増原良彦	——※696	松葉一清	——※986		——※556
	——※745	松原健二	——※1601		——※665
	——※925	松原治郎	——※309	水野 祐	——※128
榊山 寛	——※1573	松原洋子	——1511		——※167
町田明広	——2069	松原隆一郎	——2130		——※525
町田 健	——1618	松前 健	——444	水原明人	——※1216
	——1763	松村 潔	——※1829		——※1304
町田 徹	——2176	松本 亨	——※52	見田宗介	——※142
松井和夫	——※1048	松本 肇	——※1658	三井 徹	——※985
松井孝典〈監訳〉	——1343	松本道弘	——※617	三井 誠	——1805
	——※1006		——※673	三井銀総合研究所〈編〉	——
〈監修〉	——※1344		——※748		——※918
〈監修〉	——※1345		——※829	満蘭 勇	——2325
松井良明	——※1512		——※923	三橋順子	——1960
松井力也	——※1444	真鍋俊照	——※1066	〈編〉	——※2034
松居竜五	——※1142	真鍋 真〈校定〉	——※1345	三中信宏	——1849
松浦晋也	——※2291	間野英二	——※458		——2014
松尾式之	——※867	N・マルコム	——※345	皆川達夫	——※291
	——※911	丸田 一	——※1873		——※472
	——※1148	丸茂明則	——※931	南 和男	——※588
	——※1234	丸本忠之〈聞き手〉	——2448	南 直哉	——2293
松尾剛次	——※1273	丸谷 馨	——※1678	南 博	——※3
					——※31

野口 旭	1641		2100	蜂屋邦夫	※846
野口 広<編>	※624		2182		※1354
野口悠紀雄	2261	〈聞き手〉	2345	服部英二	※1256
	2332		2391	服部公一	※682
	2416		2447	服部正明	※529
野崎 欽	2228	橋本一郎	※514	服部龍二	2382
野澤千絵	2397	橋本凝胤	※192	V・ハーディ	※1122
野島博之	1414		※228		※1288
	※1546	橋本健二	2461	波戸岡景太	2213
野田春彦	※282	橋本卓典	2371	花山勝友	※953
野々山真輝帆	※603		2422	羽仁五郎	※79
信田さよ子	※2002	橋本雅之	※1975	羽田節子(訳)	※418
信原幸弘	※1525	橋本峰雄	※396	羽場久泥子	※1218
野町 啓	※1493	橋本義夫	※522	浜岡 究	2081
野村二郎	※842	蓮實重彦	※1400	浜本隆志	1705
	※885	筈見有弘	※819		※1462
	※1132		※875	速川和男	※891
	※1195	長谷章久	※183		※966
野村 進	1940	長谷川 權	2029	早坂泰次郎	※539
	※1576		※2074	林 信吾	※1976
野村総一郎	2415	長谷川 潔	※1318	林 謙	※18
	※1625	長谷川滋成	※897		※72
	※1752	長谷川貴弘	※2184	林 武	※60
野村達朗	1099	長谷川 宏	1357	林 竹二	※442
	※933		※1554	林 太郎	※131
野村 實	※1461	長谷川真理子	※1138	林 直樹	1912
野元菊雄	※868	長谷川幸洋	※1556	林 成之	1861
野本陽代	※2011		※1671	林 真理子	2201
野矢茂樹	1286	長谷部史親	※1211	林 雄二郎	※187
	1420	畑 尚子	※1565		※234
		畑中美樹	※1973	林 玲子	※1261
		波多野完治	※41	林田愼之助	※1440
		J・M・バーダマン	※1253		※1629
		畑村洋太郎	1596		※1824
			1809	早島鏡正	※251
			1870	林屋辰三郎	※362
●は			1979		※379
芳賀 登<編>	※415		2117		※380
	〈編〉		2322		※381
	〈編〉		2322		※425
橋爪紳也	※1520		※1660	早野 透	※1694
橋爪大三郎	898		※2151	速水 侑	※1326
	2004	畑山 博	※700		

徳田良仁	————	※567	————	————	※1107	中谷 巖	————	※848
徳永 恂〈訳〉	————	※341	永井晃子〈訳〉	————	※828	————	————	※1003
徳永雄一郎	————	2349	永井 均	————	1301	永積 昭	————	※457
戸田忠雄	————	※1909	————	————	1401	中西 進	————	※391
とつげき東北	————	1765	————	————	1745	————	————	※733
轟 孝夫	————	2437	永井道雄	————	※62	————	————	※734
苫野一徳	————	2254	永井陽之助〈編〉	————	※145	中西信男	————	※877
富岡幸一郎	————	※1899	永江 朗	————	1627	中根千枝	————	105
富田恭彦	————	※1406	中尾佐助	————	※139	————	————	300
————	————	※1758	中尾俊夫	————	958	————	————	※500
————	————	※1817	長岡美代	————	2334	中野 取	————	※849
富塚嘉一	————	※1612	中川 剛	————	※760	中野孝次	————	※705
富村 傳	————	※311	————	————	※950	————	————	※915
友岡 賛	————	※1388	中川正生〈訳〉	————	1469	————	————	※1192
友田昌宏	————	※2012	中川右介	————	2221	中野尊正	————	※509
外山滋比古	————	※255	中川洋吉	————	※1199	中野剛志	————	2115
————	————	※490	中川米造	————	※1180	————	————	2425
————	————	※633	中沢彰吾	————	2314	中埜 肇	————	※439
外山ひとみ	————	※2042	————	————	2342	中野雅至	————	※2028
豊島 修	————	※1103	中澤二郎	————	※2230	中野円佳	————	2469
豊田 堯	————	※316	中沢孝夫	————	※1662	中野美代子	————	※356
豊田昌倫	————	※1069	中澤英彦	————	※1054	中野好夫	————	※53
————	————	※1176	中沢弘基	————	2262	永畑道子	————	※729
鳥飼玖美子	————	2104	長沢和俊	————	※555	長濱貞治	————	※878
————	————	2353	永沢 哲〈監修〉	————	※1570	永瀨康之	————	※1395
————	————	2411	中路正恒	————	※1559	仲正昌樹	————	1996
————	————	※1605	中嶋洋介	————	※1509	————	————	2134
フランス・ドルヌ	————	※1800	中嶋国章	————	2305	————	————	2279
			中嶋さおり	————	※2052	————	————	2341
			中嶋隆博〈訳〉	————	※1614	中丸 明	————	※1480
			中嶋岳志	————	※1954	中村逸郎	————	※1968
			中嶋嶺雄	————	※100	仲村清司〈著・編〉	————	2092
			中嶋義道	————	1293	————	————	2156
			————	————	1383	中村桂子	————	1881
			————	————	2208	中村健之介	————	※2102
			長島伸一	————	934	中村修也	————	※1843
			長洲一二	————	※122	中村真一郎	————	※188
			————	————	※386	中村誠太郎	————	※125
			中瀬喜陽	————	※1142	中村聡一	————	※1816
			中田安彦	————	※1927	中村武生	————	※2131
			永田 稔	————	1926	中村 元	————	※59
			永田諒一	————	1712	中村浩美	————	※838

●な

乃至政彦	————	2351
内藤朝雄	————	1984
内藤 耕	————	※1895
————	————	※2066
内藤遊人	————	※863
内藤陽介	————	※1790
中井浩一	————	1981
永井清彦	————	※694

- 田辺洋二 —— ※917
 —— ※1102
 谷 晃 —— ※1878
 谷 徹 —— 1635
 谷川徹三 —— ※254
 谷川健一 —— ※1513
 谷川道雄 —— ※452
 谷口規矩雄 —— ※454
 谷山鉄郎 —— ※1055
 田沼靖一 —— ※1308
 種村直樹 —— ※636
 田端泰子 —— ※1294
 田原嗣郎 —— ※138
 田原八郎 —— ※963
 玉井邦夫 —— 1567
 玉井収介 —— ※697
 玉上琢弥 —— ※392
 玉木俊明 —— 2386
 玉木正之 —— 1454
 —— 1915
 —— 1990
 —— 2132
 —— ※1052
 玉野和志 —— 1965
 玉村豊男 —— 2055
 —— ※1498
 田村慶子 —— ※1135
 團 伊玖磨 —— ※462
 丹下健三 —— ※77
 且部幸博 —— 2445
- ち
 陳 凱歌(チェン カイコー)
 —— ※1008
 竺沙雅章 —— ※453
 筑紫哲也(編) —— ※1547
 千地万造 —— ※1207
 千田 善 —— ※1168
- 千葉徳爾 —— ※287
 千葉康則 —— ※762
 趙 甲濟 —— ※1009
 千代崎秀雄 —— ※880
 鄭 大聲 —— ※1116
- つ
 塚田富治 —— ※1206
 津金澤聰廣 —— ※1050
 塚原 史 —— ※1214
 月川和雄 —— ※1142
 筑波常治 —— ※175
 辻 日出典 —— 1904
 辻 由美 —— ※1453
 辻 隆太郎 —— 2146
 辻井 喬 —— ※1196
 辻田啓志 —— ※513
 辻村 明 —— ※751
 津田和夫 —— ※999
 —— ※1157
 土屋 巖 —— ※400
 土屋耕一 —— ※724
 土屋喬雄 —— ※35
 都筑卓司 —— ※437
 —— ※504
 堤 重久 —— ※329
 常石敬一 —— 1265
 —— ※1698
 円谷英明 —— 2215
 坪谷郁子 —— ※1533
 鶴 光太郎 —— ※1221
 都留重人 —— 350
 —— ※1
 —— ※163
 都留春夫 —— ※870
 鶴木 眞 —— ※449
 鶴見和子 —— ※275
 鶴見俊輔 —— ※90
- 鶴見祐輔 —— ※43
 鶴見良行(編) —— ※377
- て
 C・デカン —— ※1263
 出口 顯 —— ※1549
 デジタル生活研究会
 —— ※1697
 手嶋泰伸 —— 2299
 手塚富雄 —— ※157
 寺尾紗穂 —— 2321
 寺田にゃんこふ —— 2216
 寺村鉄三 —— ※158
 寺村輝夫 —— ※661
 電通メディア社会プロジ
 ェクトー ※1477
- と
 涂 照彦 —— ※889
 —— ※1022
 R・P・ドーア(監修)
 —— ※512
 東後勝明 —— ※806
 —— ※939
 東郷和彦 —— 1971
 東郷正延 —— ※95
 東野伝吉 —— ※321
 遠山美都男 —— 1379
 —— 1648
 (編) —— ※1709
 —— ※2077
 遠山義孝(訳) —— ※220
 土岐健治 —— ※1693
 常盤新平 —— ※727

高根正昭	—————553	—————※1845	田崎清忠	—————※39	
高野 孟	—————※1464	たくき よしみつ ※1963	—————※40		
鷹羽狩行	—————※440	—————※2017	田崎史郎	—————2294	
—————※666	—————※2259	田寫誠一	—————※1117		
—————※882	田窪恭治	—————※1661	田島正樹	—————1839	
高橋 功	—————※87	詫摩武俊	—————※263	田代靖尚	—————※1632
高橋和夫	—————1085	—————※609	多田道太郎〈編〉	—————※278	
高橋和夫	—————※1235	—————※744	〈編〉	—————※280	
高橋和巳	—————※1237	—————※1077	〈編〉	—————※283	
高橋克徳	—————1926	—————※1398	—————※408		
—————2016	武内孝夫	—————※1833	只木良也	—————※612	
高橋恵子	—————2224	竹内敏晴	—————1027	鐘 幹八郎	—————1020
高橋繁行	—————※1724	—————※1399	—————※1387		
高橋順一	—————※1071	竹内 宏	—————※669	立川武蔵	—————1123
高橋昌一郎	—————1466	竹内靖雄	—————※1443	—————※924	
—————1948	竹内 洋	—————※1038	—————※1254		
—————2048	—————※1134	竹倉史人	—————2333	立花 隆	—————722
—————2153	竹崎 孜	—————※638	橘木俊詔	—————1958	
高橋たか子	—————※1317	武澤秀一	—————※1994	辰巳和弘	—————※1330
高橋哲哉	—————1742	竹下節子	—————※1337	巽 孝之	—————※1521
高橋秀実	—————2335	竹田 晃	—————※1030	伊達邦春	—————※224
高橋英郎	—————※710	竹田いさみ	—————※1823	立野美奈子	—————※679
高橋文利	—————※1475	武田修三郎	—————※695	田中 彰	—————※487
高橋洋一	—————※1274	武田修志	—————※1391	田中 勇	—————※232
高橋洋一	—————2423	竹田青嗣	—————2050	田中 修	—————2222
高橋祥友	—————1348	—————2099	—————2169	田中克己	—————※155
—————※1566	—————2169	武田 徹	—————※2110	田中啓一	—————※499
高橋龍太郎	—————2393	竹中信常	—————※245	田中澄江	—————※50
高島正明	—————※260	竹中文良	—————※1356	田中貴子	—————※1457
高藤晴俊	—————1292	竹村健一〈聞き手〉	—————※560	田中千世子	—————※1347
高見茂人	—————※1036	竹村民郎	—————※565	田中利幸	—————※1945
田上太秀	—————2220	竹村牧男	—————1988	田中日佐夫	—————※397
田上隆司	—————※679	—————※903	—————※1082	田中秀臣	—————※1760
高見沢潤子	—————※215	竹村嘉夫	—————※656	田中 洋	—————1624
高山一彦	—————※642	竹本善次	—————※1571	田中浩也	—————2265
高山智博	—————※533	—————※1681	竹山博英	—————※1041	
高山 博	—————1470	田坂広志	—————2350	田辺厚子	—————※718
財部誠一	—————※1438			田辺繁治	—————※1655
瀧井一博	—————2212			田辺新一	—————※1412
瀧口雅仁	—————※1980			田辺聖子	—————※786
滝澤武人	—————※1350			田辺 保	—————※165
滝田誠一郎	—————※1697			—————※542	
				—————※610	

●き

鬼界彰夫 ————— 1675
 菊地敬一 ————— ※137
 菊池英博 ————— ※2181
 菊池理夫 ————— ※1875
 菊池良生 ————— 1282
 ————— 1587
 ————— 1673
 ————— ※1732
 私市正年 ————— ※1291
 岸見一郎 ————— 2406
 北川敏男 ————— ※200
 北沢方邦 ————— ※171
 ————— ※532
 北中正和 ————— ※776
 北西憲二 ————— 2385
 来村多加史 ————— ※1674
 ————— ※1736
 北村 肇 ————— ※1665
 北森嘉蔵 ————— ※266
 北山 修 ————— ※851
 ————— ※1975
 橋川武郎 ————— 2145
 木津川 計 ————— ※716
 紀野一義 ————— 606
 ————— ※657
 ————— ※912
 木俣 冬 ————— 2427
 金 思燁 ————— ※289
 キム・ジョンキュー
 ————— ※1831
 金 聖響 ————— 1915
 ————— 1990
 ————— 2132
 木村明生 ————— ※856
 木村 栄 ————— ※1296
 木村重信 ————— ※307
 ————— ※402
 木村 駿 ————— ※206
 木村俊介 ————— ※2129
 木村草太 ————— 2387

木村 剛 ————— ※1713
 木村 敏 ————— 331
 木村盛世 ————— ※2026
 木村裕一 ————— 1708
 久新大四郎 ————— ※1913
 及能正男 ————— ※872
 ————— ※1397
 許 光俊 ————— ※2161
 桐本東太(編) ————— ※1142
 桐山桂一 ————— ※1799
 桐山秀樹〈聞き手〉 — 2448
 金 哲彦 ————— 2239
 ————— ※2037
 金田一京助 ————— ※162
 金田一春彦 ————— ※410
 近代日本思想研究会〈編〉
 ————— ※1688

A・キンブレル — 2434

●く

草壁焰太 ————— ※578
 草場公邦 ————— ※715
 串田久治 ————— ※998
 久住真也 ————— 2462
 ぐっちーさん ————— 2423
 轡田隆史 ————— ※1467
 工藤順一 ————— 1468
 ————— ※1643
 工藤庸子 ————— ※1874
 ————— ※1896
 国広哲弥 ————— 2033
 ————— ※1042
 ————— ※1250
 国谷裕子〈対談〉 — 2387
 久野万太郎 ————— ※1305
 L・クビリヤノヴィッチ
 ————— ※577
 ————— ※670

窪島誠一郎 ————— ※1101
 久保田正文 ————— 135
 熊谷高幸 ————— ※1177
 熊代 亨 ————— ※2249
 熊野剛雄 ————— ※942
 糸 和彦 ————— 1689
 久山宗彦 ————— ※1169
 G・クラーク ————— ※560
 倉沢愛子 ————— ※1617
 倉澤資成 ————— ※904
 倉田保雄 ————— ※789
 ————— ※1197
 倉谷直臣 ————— ※470
 〈訳編〉 ————— ※526
 J・クラック ————— ※1345
 C・クラックホーン
 ————— ※255
 蔵野 勇(訳) ————— ※785
 倉本一宏 ————— 2196
 ————— 2428
 栗田哲也 ————— 1679
 栗原 優 ————— ※1492
 呉 茂一 ————— ※29
 ————— ※92
 黒井千次 ————— 648
 ————— 1865
 黒鉄ヒロシ〈絵〉 — ※1541
 〈絵〉 ————— ※1607
 黒木 喬 ————— ※491
 黒木敏郎 ————— ※310
 黒崎 誠 ————— 2300
 ————— ※1695
 黒嶋 敏 ————— 2343
 黒田恭一 ————— ※874
 黒田 清 ————— ※775
 黒田龍之助 ————— 1701
 ————— ※1959
 黒田りよ〈訳〉 ————— ※625
 黒沼克史 ————— ※1474
 黒野 耐 ————— 1707
 ————— 1807
 ————— ※1859

加藤 博	——※1832	上西朗夫	——※796	川口邦雄	——※692
加藤正明	——※193	神沼克伊	——※899	——	——※739
加藤理文	——2405	神谷不二<監訳>	——※360	川崎淳之助	——※907
加藤祐三	——※600	茅田俊一	——※1369	川崎大助	——2329
加藤陽子	——1599	萱野稔人	——2290	河崎義祐	——※731
門倉貴史	——※2047	茅野良男	——※168	川島弘三	——※1012
金井郁夫	——※557	——	——※203	川島宙次	——※528
金関寿夫	——※701	——	——※308	川島隆太	——※1716
金谷 治	——※303	香山リカ	——1962	川尻信夫	——※286
兼岩正夫	——※313	——	——2044	河瀬 誠	——※1766
鐘ヶ江信光	——※23	——	——※1456	河田雅圭	——※983
金子 勇	——※1236	——	——※1740	川田 稔	——2190
金子史朗	——※328	——	——※1852	——	——2272
——	——※398	——	——※1889	——	——2289
——	——※489	——	——※2101	——	——2319
——	——※548	唐津 一	——※237	川西政明	——※1270
——	——※584	J・ガラルダ	——※955	河野健二	——※110
金子兜太	——※363	——	——※1124	河野重行	——※1455
——	——※591	——	——※1272	川端康成	——180
金子 拓	——2278	P・カリー	——※1205	川原栄峰	——※468
金子不二夫<訳>	——※469	刈間文俊<訳>	——※1008	河原 宏	——※262
金子 勝	——※1721	荻谷剛彦	——1866	川人 博	——※1897
金子隆一	——※815	河合太介	——1926	川辺秀美	——2035
——	——※861	——	——※2056	河村幹夫	——※944
金丸由雄<訳>	——※255	川合伸幸	——2344	——	——※1061
金光不二夫<訳>	——※577	——	——2444	川村善樹	——※1333
<訳>	——※670	河合隼雄	——590	——	——※1415
狩野直禎	——※761	川合 光	——1813	川本 彰	——※507
——	——※853	河合雅司	——2431	河本 薫	——2218
加納喜光	——※954	川上和久	——1201	川本三郎	——※727
叶内拓哉	——※746	——	——※1477	川本崇雄	——※594
樺島忠夫	——587	河上 肇	——2372	関西性欲研究会	——※1762
樺山紘一	——※1589	川喜田二郎	——※111	神崎宣武	——※1064
香原志勢	——※816	——	——※390	神田裕行	——2067
我部政明	——※1608	——	——※475	菅野覚明	——1560
鎌倉 昇	——※42	川北隆雄	——2267	——	——1741
——	——※112	——	——※932	菅野聡美	——※1815
鎌田茂雄	——※1341	——	——※1046	上林茂暢	——※974
鎌田浩毅	——※1972	——	——※2087		
鎌田真彰	——※1546	河北展生	——※149		
神里達博	——2312	川北 稔	——2070		
神島二郎	——※403	川口和久	——※1460		

—————※654	小原秀雄〈編著〉—※544	鹿島 茂 —————1076
荻上チキ ————※1998	小尾敏夫 —————※1060	—————1667
荻野恒一 ————※211	臈谷 寿 —————1322	梶村秀樹 —————※460
奥津文夫 ————※951	小俣和一郎 ————※1363	梶山雄一 —————※711
奥野修司 ————※1880	—————※2049	柏木恵子 —————※2090
小熊英二 —————2168	P・オリバー ————※1908	柏木繁男 —————※205
奥村禎秀 ————※1864	A・オレイニコフ —※469	柏木 博 —————1719
小倉紀藏 ————※1430		—————2124
—————※1536		—————※864
—————※1819		梶原正昭 —————※120
小倉純二 ————※1730		春日キスヨ ————2082
小栗純子 ————※419		春日武彦 ————1744
小此木啓吾 ————1585		—————※2160
—————※239	●か	春日直樹 —————※1645
—————※812	海津一郎 ————※1243	粕谷甲一 —————※794
尾崎茂雄 ————※573	貝塚茂樹 ————13	加太こうじ ————※599
—————※619	—————※104	片桐一男 —————※1377
小沢重男 ————※545	戒能通孝 ————※98	片山宗臣 —————※1497
押村 高 ————1961	海部美知 ————2203	片山泰久 —————※7
織田正吉 ————706	海保博之 ————※836	勝見洋一 ————※1502
—————※808	加賀乙彦 ————※343	加藤恭子 ————※1122
—————※975	—————※593	〈編訳〉—※1288
織田武雄 ————※368	加賀野井秀一 ————1248	加藤耕一 ————※1991
—————※369	—————※1459	加藤周一 ————※512
小田 実 ————※758	R・R・カーカフ —※1091	加藤 隆 ————1609
小田中聰樹 ————1145	加賀美雅弘 ————※1047	—————※2164
越智治雄 ————※395	—————※1361	加藤隆則 ————2123
落合淳思 ————2018	鏡 リュウジ ————2424	—————※2197
—————※1905	加賀山 弘〈編〉—※727	加藤延夫 ————※1771
落合仁司 ————※1392	—————※793	加藤尚武 ————※857
乙武洋匡 ————※2198	柿崎明二 ————※1964	加藤秀俊 ————※115
尾鍋輝彦〈訳〉—※229	加来耕三 ————2380	—————※379
〈訳〉—※233	岳 南 ————※1232	—————※380
小野 泉 ————※2061	加護野忠男 ————※890	—————※381
小野健一 ————※618	笠島準一 ————※810	—————※387
小野俊太郎 ————※1901	笠原一男 ————※178	—————※515
小野信爾 ————※455	笠原敏彦 ————2317	—————※516
小野経男 ————※1691	笠原 嘉 ————1289	—————※647
小野良太 ————※2063	—————※901	—————※728
小畠郁生〈訳〉—※1205	風間 研 ————※982	加藤 仁 ————※2015
小原 信 ————※357	風間八宏 ————2468	加藤 寛 ————※130
小原由紀子 ————※1496	加地伸行 ————※527	—————※2121
	—————※756	

大内 博	——※1106	太田龍朗〈監訳〉	—※1098	岡崎寛徳	——※1974
	——※1164	太田時男	——※371	岡崎守恭	——2460
	——※1285		——※598	小笠原喜康	——1806
大江志乃夫	——※209	太田秀通	——※222		——2021
大江 建	——※1615	大谷浩己	——※1441		——※1603
大岡 信	——※1170	大塚英志	——1957		——※1677
	——※1171		——※1553	岡田明憲	——※888
	——※1172		——※1646		——※1115
	——※1173		——※1703	岡田喜秋	——※389
	——※1174		——※2043	岡田 充	——※1649
大形 徹	——※1108	大塚啓二郎	——※1479	岡田英弘	——1761
大角 修	——2449	大塚初重	——2154	岡田美智男	——2433
大川慎太郎	——2378	大西英文	——1353	岡田光雄	——※690
大川弥生	——1706	大西みつぐ	——※1364	岡堂哲雄	——※800
	——2207	大西康之	——2426		——※1228
大川玲子	——※1711	大貫良夫	——※1084	岡庭 昇	——※570
大木幸介	——※680	大野健一	——2031	岡野憲一郎	——※1519
大久保幸夫	——1997	大野 純	——※441	岡野友彦	——※1690
大熊 正	——※635	大野典也	——2191	岡部伊都子	——※273
大隈秀夫	——※1644	大野裕之	——2419		——※353
大河内一男	——※75	大野正義	——※1879		——※354
	——※290	大野盛雄	——※246		——※1121
大崎裕史	——※1595	大野 裕	——2105	岡部恒治	——※644
大澤昭彦	——2301	大庭 健	——※1651	岡部朗一	——※1194
大澤武男	——1080		——※1821	岡村多佳夫	——※1067
	——1249	大原健士郎	——※622	岡本 薫	——1826
	——1572	大平貴之	——2374	岡本浩一	——※1435
	——※1329	大町陽一郎	——※51	岡本太郎	——※304
	——※1937	大村皓一	——※1555	岡本 真	——※2187
大澤真幸	——2100	大森真一郎	——※292	岡本 勝	——※1284
	——2182	大森曹玄	——※709	岡山誠司	——※639
	——2391	岡 潔	——※5	小川和佑	——※585
大治朋子	——2227		——※76	小川和也(かざなり)	——※2019
大鹿靖明〈編著〉	—※2276		——※107	小川和也(かざや)	—2283
大島一洋	——※1854		——※191	小川捷之	——※704
大島泰郎	——※1471		——※204	小川 忠	——※1669
大島直政	——※546	岡井 隆〈編〉	——※754	小川仁志	——2084
	——※629	岡倉登志	——※1031		——2179
大島保彦	——※1546	岡倉徹志	——※913		——2290
太田愛人	——※795	岡崎勝世	——1321		——2465
太田次郎	——※630		——1687		——2465
	——※769		——2241	尾川正二	——※433

●う

C・F・V・ヴァイツゼッカー

—————※220

植垣節也 ————※561

植島啓司 ————※1189

—————※1801

—————※1942

上島 有 ————※426

上杉 忍 ————※938

上田和夫 ————834

上田二郎 ————2407

上田 雄 ————※1104

上田紀行 ————1936

上田正昭 ————※252

—————※337

—————※423

上田三四二〈編〉 ————※755

上野 修 ————1783

上野輝彌 ————※1095

上野 誠 ————2258

—————※1952

上原万里子 ————2342

植村和秀 ————2263

植村清二 ————※63

植村秀樹 ————※1584

エズラ・F・ヴォーゲル

—————2345

M・ヴォルフゾーン

—————※1271

氏家幹人 ————1239

—————1432

牛島定信 ————2180

白杵 陽 ————2189

内井惣七 ————※881

—————※922

—————※970

内田研二 ————※1574

内田健三 ————※707

内田伸子 ————※1219

内田雅敏 ————※978

—————※1213

内田隆三 ————989

—————※1352

内沼幸雄 ————※981

内山喜久雄 ————※780

内山 節 ————1918

宇土卷子 ————※817

宇野功芳 ————※946

—————※993

—————※1081

—————※1204

—————※1320

宇野精一 ————※145

馬杉宗夫 ————※1120

—————※1411

海猫沢めろん ————2370

梅棹忠夫 ————※278

—————※280

—————※283

梅澤 正 ————※1955

梅田 修 ————※1437

—————※1592

梅谷繁樹 ————※1281

梅原 猛 ————※301

—————※353

—————※354

—————※471

浦久俊彦 ————2381

海野 弘 ————※943

●え

栄沢幸二 ————※1279

W・エヴァレット ————※503

—————※625

江頭 進 ————※1613

江上 剛 ————※2252

江坂輝彌 ————※108

江田五月 ————※770

枝川公一 ————※803

枝廣淳子 ————※1895

江藤恭二 ————※589

NHKスペシャル取材班

—————2436

—————2452

NHKスペシャル『メルト

ダウン』取材班 ————2295

—————2443

榎本博明 ————1586

江畑謙介 ————※1319

—————※1375

—————※1543

—————※1594

—————※1739

江原昭善 ————※659

海老坂 武 ————※2175

江村 洋 ————1017

—————1151

遠藤 薫〈編著〉 ————2136

遠藤哲夫 ————※883

遠藤秀紀 ————※1828

●お

笈川博一 ————※1100

扇谷正造 ————※54

—————※535

—————※572

小江慶雄 ————※404

大石慎三郎 ————1258

—————※1257

—————※1259

—————※1260

—————※1261

大出 晃 ————※48

大内ジャネット ————※1285

市川 浩	——※148	——※1762	——※272	
〈編〉	——※225	〈編〉	——※2034	
市川 宏	——※962	井上昌次郎	——※887	
市野川容孝	——1511	——	——※1514	
一ノ瀬俊也	——1982	井上真吾	——2348	
——	——2243	井上忠司	——※641	
——	——2438	——	——※1182	
一松 信	——※782	井上太郎	——※830	
市村真一	——※145	井上寿一	——1999	
——	——※219	——	——2098	
市村佑一	——※1260	——	——2376	
井出孫六	——※531	——	——2453	
糸魚川淳二	——※326	——	——※2266	
伊藤亜紀	——※2078	井上治代	——※1798	
伊藤勝彦	——※202	井上 宏	——※738	
伊藤秀一	——※461	——	——※865	
伊東 潤	——2248	井上寛司	——2109	
伊東俊太郎〈編〉	——※267	井上史雄	——※1450	
伊藤 進	——※1408	——	——※1672	
——	——※1777	井上宗迪	——※976	
——	——※1933	井上泰男	——※549	
伊藤清司	——※306	井上義朗	——※2174	
伊藤節子	——※2170	井上隆一郎	——※948	
伊藤 真	——※1877	——	——※988	
伊藤順康	——1011	猪木正文	——※32	
伊藤道治	——※451	——	——※68	
稲垣重雄	——※1939	——	——※114	
稲垣久和	——※1919	井野瀬久美恵	——※1407	
稲垣吉彦	——※1449	井原哲夫	——※941	
稲穂健市	——2412	——	——※1018	
井波律子	——※1139	伊原 弘	——※1161	
稲村 博	——※611	——	——※1215	
——	——※750	今井雅晴	——※1277	
稲本 正	——※737	今泉忠明	——※961	
犬丸 治	——※1654	今尾恵介	——※1995	
井上 薫	——※1893	今里義和	——※1640	
井上一馬	——※1203	今谷 明	——1892	
——	——※1428	——	——※1096	
井上 清	——※430	今津 晃	——※318	
井上浩一	——※1032	今中次磨	——※136	
井上 栄	——※1523	今西錦司	——※47	
井上章一	——※1551	今道友信	——324	
			——※2157	
			今村仁司〈編〉	——921
			——	——※788
			——	——※1000
			〈編〉	——※1040
			井村君江	——※1419
			井本農一	——※151
			居安 正	——※747
			入江 昭	——1811
			——	——2257
			入谷敏男	——※248
			入不二基義	——1638
			岩井 寛	——824
			——	——※693
			岩男寿美子	——※563
			岩崎 昶	——※335
			岩崎育夫	——2410
			岩崎周一	——2442
			岩崎武雄	——66
			——	——285
			岩崎秀雄	——※2193
			岩島久夫	——※141
			岩瀬 彰	——※1858
			岩田規久男	——2010
			——	——※1016
			——	——※2091
			岩田慶治	——※390
			——	——※894
			——	——※1323
			岩田 正	——※740
			岩田龍子	——※792
			岩田倫典	——※109
			岩谷 宏	——※1367
			——	——※1417
			岩永雅也	——※1896
			岩波 明	——※2020
			岩原信九郎	——※443
			岩瀨秀樹	——2194
			岩見 宏	——※454
			岩村 忍	——※69

G・C・アレン ———※434	池上俊一 ———1019	石田 収 ———※1604
安西徹雄〈訳〉 ———※653	—————※1125	石田かおり ———※1531
—————※686	池上正樹 ———2286	石田一良 ———※358
安藤彦太郎〈編〉 ———※298	池上正治 ———1126	石田春夫 ———※616
安藤優一郎 ———1931	—————※1056	—————※763
安藤良雄 ———※113	—————※1244	—————※949
安藤佳則 ———※1507	池川玲子 ———2284	石田保昭 ———※227
	池田 皓 ———※197	石田勇治 ———2318
	池田 潔 ———※67	石塚幸雄 ———※662
	池田純一 ———2093	石原 理 ———2383
	—————2315	石原健二 ———※126
	池田次郎 ———※668	石原千秋 ———1743
	池田比佐子〈訳〉 ———※1345	—————1935
	池田真朗 ———2186	—————※1882
	池田弥三郎 ———2	石原藤夫 ———※815
	—————※502	—————※847
	生月 誠〈訳〉 ———※607	石丸次郎 ———※1621
	—————※1119	泉 靖一 ———※190
	—————※1245	和泉雅人 ———※1532
	—————※1324	泉谷閑示 ———1862
	—————※1494	—————2195
	池見 陽 ———1241	伊勢崎賢治 ———1767
	池見西次郎 ———※166	磯貝芳郎 ———※714
	伊佐進一 ———※2075	—————※843
	石 弘光 ———※1229	磯部忠正 ———※45
	—————※1339	—————※465
	—————※1590	—————※712
	—————※2147	磯村隆文 ———※450
	石井威望 ———※703	磯山 雅 ———1025
	石城謙吉 ———※1220	井田徹治 ———※1804
	石川晶康 ———1702	板坂 元 ———258
	石川一郎 ———2355	—————327
	石川忠司 ———※1791	—————※305
	石川理夫 ———2404	〈訳〉 ———※345
	石黒 浩 ———2023	—————※375
	石黒マリーローズ ※1222	—————※376
	—————※1386	—————※394
	—————※1545	—————※485
	石坂正蔵 ———※182	—————※505
	石崎浩一郎 ———※580	市井三郎 ———※121
	石澤靖治 ———※1725	市井雅哉〈監訳〉 ———※1198
	石澤良昭 ———※1295	市川健夫 ———※879
●い		
伊井直行 ———※2051		
飯沢耕太郎 ———1287		
飯島裕一 ———2269		
—————※1423		
—————※2211		
飯田経夫 ———※581		
—————※655		
—————※723		
—————※991		
飯田哲也 ———※2112		
飯塚関外 ———※153		
飯沼健真 ———※900		
家田裕子 ———※1072		
五百沢智也 ———※821		
伊賀 隆 ———※574		
五十嵐太郎 ———1867		
—————※1580		
生田 哲 ———※1290		
—————※1728		
池内 紀 ———※1039		
—————※1188		
—————※1720		
池内 恵 ———1588		
生内玲子 ———※732		
池上 彰 ———1620		
—————2003		
—————2054		
—————2188		
池上季実子 ———※2271		

著者名索引

数字は書目番号です。
※は品切れの書目で、解説文は掲載しておりません。

●あ

逢沢 明 ——※1113
相沢 久 ——※583
相沢 博 ——※172
合田周平 ——※181
会田弘継 ——※1184
会田雄次 ——293
——※84
——※145
——※314
——※413
相場 均 ——※36
——※184
相原 茂 ——987
——※1342
相原博之 ——※1910
青井和夫 ——※367
青江舜二郎 ——※340
青木 聡〈訳〉 ——※1570
青木 理 ——1488
——※1836
青木 薫 ——2219
青木 健 ——2159
青木晴夫 ——※543
——※757
青木美希 ——2472
青木道彦 ——1486
青木やよひ ——※1538
青島広志 ——※1731

青柳まち子 ——※476
青山 南 ——※727
赤石 英 ——※129
赤坂憲雄 ——※1190
赤坂真理 ——1921
——2246
赤塚祝子 ——※1591
赤塚行雄 ——※352
上尾信也 ——※1499
秋岡芳夫 ——※346
秋月龍珉 ——217
——※103
——※473
——※474
——※628
——※790
秋野 豊 ——※1093
秋山さと子 ——※613
——※677
——※841
——※914
龜山貞登 ——※177
吾郷真一 ——※1906
浅井信雄 ——※845
浅井基文 ——※1053
朝倉文市 ——※1251
浅田 敏〈訳〉 ——※373
浅田秀子 ——※1550
浅田 實 ——959
浅野秀剛 ——2058
浅野檜英 ——※1298
浅野裕一 ——1163
朝日新聞経済部〈編〉
——※805
〈編〉 ——※876
〈編〉 ——※1154
浅見ベートーベン
——※1463
芦沢一洋 ——※736
足田輝一 ——※708
飛鳥井雅道 ——※429
東 照二 ——※1515

東 浩紀 ——1575
——1883
——1957
麻生磯次 ——※198
安達忠夫 ——※839
——※892
——※1716
阿辻哲次 ——1193
——※1751
——※1928
姉崎一馬 ——※708
安孫子誠也 ——※1704
ヴァレリー・アフアナシエフ
——2389
阿部 彩 ——2135
阿部和義 ——※1784
阿部勝巳〈訳〉 ——※1344
安倍北夫 ——※364
阿部謹也 ——1262
——1358
阿部恒久 ——※2217
阿部尚樹 ——2342
安倍能成 ——※71
天児 慧 ——※1989
天野 彰 ——※818
雨宮処凛 ——※1983
鮎川 潤 ——※1365
荒 憲治郎 ——※163
荒 正人 ——※101
新井一二三 ——1753
荒井正道 ——※49
荒川幾男 ——※223
荒川洋平 ——2013
荒木経惟 ——※1371
荒木博之 ——※320
——※438
新崎盛紀 ——※508
嵐山光三郎 ——※1569
——※1710
——※1934
有田 潤 ——※185
有馬頼底 ——2337

--	--	--

●わ

- わが愛する夭折画家たち —— ※1101
 若い世代のための人生論 —— ※45
 和解という知恵 —— ㊦ ※2260
 わが子に教える作文教室 —— ㊦ 1810
 若さに贈る —— ※74
 我が詩的自伝 —— ㊦ 2364
 「若作りうつ」社会 —— ㊦ ※2249
 わが友モーツァルト —— ※830
 若者殺しの時代 —— ㊦ 1837
 若者のための政治マニュアル
 —— ㊦ ※1969
 わかりあえないことから —— ㊦ 2177
 分かりやすい日本語の書き方 —— ※1644
 わかりやすく〈伝える〉技術 —— ㊦ 2003
 〈わかりやすさ〉の勉強法 —— ㊦ 2054
 「別れ」の深層心理 —— ※1143
 ワーグナー —— ※1033
 「分ける」こと「わかる」こと —— ※651
 倭国の世界・新書日本史① —— ※423
 早稲田と慶応 —— ㊦ 1958
 私・今・そして神 —— ㊦ 1745
 私とは何か —— ㊦ 2172
 〈わたし〉とは何だろう —— ※1323
 私の歩いて来た道 —— ※162
 私の憲法勉強 —— ※53
 私の紅衛兵時代 —— ※1008
 私の大学 —— ※79
 私のニッポン日記 —— ※653
 私のヒューマニズム —— ※6
 私の万葉集(一) —— ※1170
 私の万葉集(二) —— ※1171
 私の万葉集(三) —— ※1172
 私の万葉集(四) —— ※1173
 私の万葉集(五) —— ※1174
 私はどうして私なのか —— ※1651
 和田の130キロ台はなぜ打ちにくいか
 —— ※1796
 倭の五王の謎 —— ※637
 ワープロ書齋術 —— ※767

- 笑いの人間関係 —— ※738
 笑いの文学 —— ※198
 笑う禅僧 —— ※2080
 われわれはどんな時代を生きているか
 —— ※1400

●り

リアルゆくえ	1957
理系発想の文章術	※1616
リスクに背を向ける日本人	2073
リストカット	1912
リストラと能力主義	※1489
理性の限界	1948
理想の病院	※1495
リーダーシップの心理学	725
立志・苦学・出世	※1038
法令制の虚実・新書日本史②	※424
李白	※213
流通列島の誕生・新書江戸時代⑤	※1261
良寛=魂の美食家	※1226
量子力学の哲学	2122
稟議と根回し	※772
『臨濟録』を読む	2337
輪廻転生を考える	※1303
輪廻転生	2333
輪廻と解脱	※953
倫理という力	1544

●る

ルネサンス・新書西洋史④	※314
--------------	------

●れ

歴史家が見る現代世界	2257
歴史から何を学ぶか	※216
歴史と外交	1971
歴史入門	※38
歴史認識を乗り越える	※1819
歴史を学ぶということ	1811
レギュレーション理論	※1146

レポート・プレゼンに強くなる	グラフの表現術	※1773
レムリア大陸の謎		※562
恋愛の英語		※1285
錬金術		※1128
蓮如		※550

●ろ

老後がこわい	1852
老荘を読む	※846
労働CSR入門	※1906
六〇年安保闘争	※814
ロシア語のすすめ	※95
ロシア市場経済の迷走	※1160
ロシアはどこに行くのか	※1968
ロシアを読み解く	※1255
ロスチャイルド家	1252
ロック	※776
ロックの歴史	2270
ロビイスト	※1060
ロボットとは何か	2023
ロボットの心	1582
ローマ五賢帝	※1389
ローマ人の愛と性	※1476
ローマと長安	※992
ローマはなぜ滅んだか	968
ロマン派芸術の世界	※446
ロマン派の交響曲	1990
ロマン・ロランの言葉と思想	※96
論語	13
「論語」を読む	※756
論証のレトリック	※1298
論文をどう書くか	※576
論理思考の鍛え方	※1729
論理に強い子どもを育てる	※1643

山本勘助 ————— ※1872
山本七平の思想 ————— ㊦2440
山を歩き山を画く ————— ※821
弥生時代の歴史 ————— ㊦2330

●ゆ

勇敢な日本経済論 ————— ㊦2423
友情について ————— ※347
優生学と人間社会 ————— 1511
遊牧騎馬民族国家 ————— ※116
遊牧民族の知恵 ————— ※546
「幽霊屋敷」の文化史 ————— ※1991
ユーゴ紛争 ————— ※1168
「豊かさ」とは何か ————— ※581
「豊かさ」人間の時代 ————— ※941
「豊かさ」のあとに ————— ※723
「豊かさ」のパラドックス ————— ※827
ゆたかな言語生活のために ————— ※208
ユダヤ人 ————— 834
ユダヤ人ゲッター ————— ※1329
ユダヤ人 最後の楽園 ————— ※1937
ユダヤ人とドイツ ————— 1080
ユダヤ人とローマ帝国 ————— 1572
「ゆとり」とは何か ————— ※655
ユニークな日本人 ————— ※560
ユーミンの罪 ————— ㊦2233
夢診断 ————— ※613
ユーロ経済を読む ————— ※1445
ユングとオカルト ————— ※841
ユングの心理学 ————— ※677
ユングの性格分析 ————— ※914

●よ

妖精学入門 ————— ※1419

備兵の二千年史 ————— ㊦1587
ヨーガの哲学 ————— ※924
欲ばり過ぎるニッポンの教育 ㊦1866
「欲望」と資本主義 ————— ㊦1150
四字熟語 ————— ※1264
吉田茂と昭和史 ————— ㊦1999
義経と日本人 ————— ※94
予習という病 ————— ※2024
呼鈴の科学 ————— 2244
読み替えられた日本神話 ————— ※1871
甦るフロイト思想 ————— ※855
「黄泉の国」の考古学 ————— ※1330
読む技法・書く技法 ————— ※1268
読むことからの出発 ————— ※726
読む哲学事典 ————— ㊦1839
夜の画家たち ————— ※519
ヨーロッパ型資本主義 ————— ㊦1628
ヨーロッパ「近代」の終焉 ————— 1088
ヨーロッパの個人主義 ————— ※176
〈弱いロボット〉の思考 ————— ㊦2433

●ら

ラインとスタッフ ————— ※854
羅漢 ————— ※471
ラカンの精神分析 ————— ㊦1278
落語の国からのぞいてみれば ㊦1947
落語論 ————— ㊦2007
「らしさ」の心理学 ————— ※797
ラテン文学のすすめ ————— ※88
ラノベのなかの現代日本 ————— ㊦2213
ラーメンと愛国 ————— ㊦2127
乱世に生きる中国人の知恵 ————— ※55

●む

- 向き合う力 ————— ㊦※2271
無限論の教室 ————— ㊦1420
「無常」の構造 ————— ※465
ムー大陸の謎 ————— ※489
無敵のラーメン論 ————— ※1595
〈むなしさ〉の心理学 ————— 1372
「無」の思想 ————— ※207
村上春樹を読みつくす ————— 2071
室町お坊さん物語 ————— ※1457

●め

- 名演奏のクラシック ————— ※993
迷宮学入門 ————— ※1532
名君と賢臣 ————— ※1313
名山へのまなざし ————— ※1851
明治維新 1858-1881 ————— ㊦2031
「明治維新」の哲学 ————— ※121
明治国家をつくった人びと — ㊦2212
明治の時代 ————— ※124
銘酒誕生 ————— ※1311
名訳と誤訳 ————— ※935
明暦の大火 ————— ※491
メジャーリーグvs.日本野球 — ※1555
メタファー思考 ————— 1247
メッカとリヤド ————— ※913
メディア資本主義 ————— ※1475
メディチ家 ————— 1442
メルヘンの深層 ————— ※1238
メルヘンの世界 ————— ※172

●も

- 毛沢東と周恩来 ————— ※1070
「黙示録」を読みとく ————— ※1434
モスラの精神史 ————— ※1901
モダン・アートへの招待 ————— ※307
モーツァルト ————— ※710
モーツァルトを「造った」男 — ㊦2096
モテたい理由 ————— ㊦1921
本居宣長 ————— ※138
モナ・リザの罨 ————— ※1838
物語論 ————— ※2129
物見遊山と日本人 ————— ※1064
桃太郎と邪馬台国 ————— ※1737
森鷗外 ————— ※467
森田療法 ————— ㊦824
森の力 ————— ㊦2204
森の文化史 ————— ※612
森はよみがえる ————— ※1220
モンゴル帝国の興亡(上) ————— 1306
モンゴル帝国の興亡(下) ————— 1307
問題解決型リーダーシップ — ※1650
問題解決の方法 ————— ※639
「問題」としての人生 ————— ※758

●や

- 野球とアンパン ————— ※1666
やさしさをまとった殲滅の時代
————— ㊦※2232
野心のすすめ ————— ㊦2201
野生チンパンジーの社会 ————— ※602
野生哲学 ————— ㊦2107
野性との対話 ————— ※785
野鳥 ————— ※746
「野蛮」の発見 ————— ※1031
山歩きの楽しみ ————— ※692
邪馬台国をとらえなおす — ㊦2154
大和三山の古代 ————— ㊦※1952
「やまとだまし」の文化史 — ※269

●ま

マイクロマシン	※1147
マイケル・ジャクソン	2045
マイルス・デイヴィス	※1490
魔女とカルトのドイツ史	1705
魔女と聖女	※1125
まだ、タバコですか?	※1898
まちがいだらけの日本語文法	1618
「街的」ということ	※1856
マックス・ウェーバーを読む	■2279
「松代大本営」の真実	※1209
祭の社会学	※582
まなざしの間関係	※641
学び続ける力	■2188
マニエリスム芸術の世界	※482
「間」の日本文化	※495
マフィア	※1041
魔法の心理学	※784
魔法の世界の子どもたち	※1133
〈麻薬〉のすべて	■2097
マヤ文明の謎	※757
迷う心の「整理学」	※1483
マーラーの交響曲	2132
丸山眞男をどう読むか	■※1554
まんが 現代史	■2025
まんが 哲学入門	■2216
マンガと「戦争」	※1384
マンガの遺伝子	■※2137
まんが パレスチナ問題	■1769
〈満洲〉の歴史	1966
マンション格差	■2388
満足死	※1880
マンダラの謎を解く	※1994
マンダラは何を語っているか	※1066
万葉集入門	■※33
万葉集の風土	※493
万葉の秀歌(上)	※733
万葉の秀歌(下)	※734

万葉びとの一生	※502
万葉びとの宴	■2258

●み

見えないアメリカ	1949
三くだり半と縁切寺	※1092
ミシェル・フーコー	989
水争い	※513
ミステリイは誘う	※1645
未曾有と想定外	■2117
「道」——中世の理念	※393
密教	※926
ミトコンドリアの謎	※1455
「認められたい」の正体	■2094
緑の党	※694
ミドルエイジ症候群	※750
南方熊楠を知る事典	※1142
南イタリアへ!	1446
「身の丈企業」のすすめ	※1795
ミヒャエル・エンデ	※892
未病を治そう	※1524
身分差別社会の真実・新書江戸時代②	1258
宮沢賢治	※340
「宮本武蔵」と日本人	※10
妙好人とかくれ念仏	※419
〈未来〉のつくり方	■2315
未来の年表	■2431
未来を変えるちょっとしたヒント	※2063
民族音楽の旅	※568
「民族」で読むアメリカ	1099
民族とは何か	※1579
みんなの朝ドラ	■2427
民法はおもしろい	■2186
民話の世界	※370

文系のための数学教室	■1759
文章構成法	587
文章の書き方	※654
文章表現の技術	※561
粉飾国家	※1721
紛争の心理学	※1570
文明探偵の冒険	■2312
文明と狂気	※211
文明のあけぼの・新書西洋史①	※311
文明の交差点で考える	※1256
文明の条件	※270
分類思考の世界	■2014

●へ

米軍再編	※1818
米軍と人民解放軍	■2277
平家物語	※120
平家物語の女たち	※1424
平成・新語×流行語小辞典	※1449
平成落語論	※1980
米中戦争	■2400
平和研究入門	※199
ベースボールと野球道	※1052
ベートーヴェンの交響曲	1915
ベートーヴェン〈不滅の恋人〉の謎を解く	※1538
ベトナムの現在	※1334
ペーパーバック入門	※803
ペリー提督 海洋人の肖像	※1822
ヘルピングの心理学	※1091
ベルリン	※1136
変革者の思想	※242
変革の企業文化	※927
辺境に生きる	※795
弁護士	※9
弁護士	※978
弁証法入門	※203
弁証法はどういう科学か	■159

〈変態〉の時代	※1815
変な経営論 澤田秀雄インタビュー	■2448
変ぼうする経営者	※35

●ほ

法医学は考える	※129
封建制社会・新書西洋史③	※313
法律より怖い「会社の掟」	※1939
僕がメディアで伝えたいこと	■2223
ぼくも算数が苦手だった	※1946
ぼくらの昆虫記	※1405
「法華経」を読む	※657
星空を歩く	※1503
保守の真髓	■2455
戊辰雪冤	※2012
ポスト大企業体制	※1018
ポスト不況の日本経済	※1212
渤海国の謎	※1104
没落のすすめ	※526
炎の牛肉教室!	■2456
ほめるな	※1777
ホロコーストの罪と罰	※1271
本社はわかってこない	■2308
ほんとうの生き方を求めて	※798
ほんとうの学校を求めて	※729
〈ほんとうの自分〉のつくり方	1586
ほんとうの親鸞	■2150
本とは何か	※558
本音の沖縄問題	■2156
本はどう読むか	■297
本物の英語力	■2353
本物の名湯ベスト100	■2404
翻訳教室	※640
翻訳上達法	※412
翻訳読本	※540

部活があぶない	■2432
不機嫌な職場	■1926
武器としての社会類型論	■※2164
「複雑系」とは何か	—1328
福沢論吉	※110
福島第一原発 1号機冷却「失敗の本質」	—
	■2443
福島第一原発事故 7つの謎	■2295
複数の「古代」	※1914
不屈の棋士	■2378
ふしぎなイギリス	■2317
ふしぎなキリスト教	■2100
不思議な建築	※820
ふしぎな国道	■2282
不思議の国アメリカ	※911
富士山	※344
武士道とエロス	■1239
武士道の逆襲	■1741
不死身の特攻兵	■2451
藤原氏千年	—1322
藤原道長の日常生活	—2196
武装解除	■1767
二つの「競争」	■※2174
部長の資格	■2236
「普通がいい」という病	■1862
物価の経済学	※450
仏教のキイ・ワード	※912
仏教の真実	■2220
仏教の人間観	※192
仏教発見!	—1755
物質の究極は何だろうか	※964
仏像に想う(上)	※353
仏像に想う(下)	※354
物理学者、ゴミと闘う	※1887
物理学的人生論	※32
物理学はむずかしくない	※437
物理の世界	※7
プナ帯と日本人	※879
船旅を楽しむ本	※869
不妊治療は日本人を幸せにするか	—
	※1602
不服従の思想	※227

踏みはずす美術史	—1404
不愉快な現実	■※2149
不要なクスリ 無用な手術	■2395
プライベートバンカー 驚異の資産運用砲	■2467
プラス暗示の心理学	※1245
ブラックボックスの人間論	※541
ブラック・ムービー	※1428
プラネタリウム男	■2374
プラハの憂鬱	※559
フランス現代哲学の最前線	※1263
フランス語の新しい学び方	※610
フランス語のすすめ	※17
フランス文学と愛	■2228
フランスワインの12ヵ月	※1441
ブリッジマンの技術	※1972
「ふり」の自己分析	※949
フリーメイスンとモーツァルト	■1369
フリーメイソン	—930
フリーライダー	※2056
ブルゴーニュ家	※1314
ふるさと考	※401
フルーツひとつばなし	■2222
プレイン・イングリッシュのすすめ	—
	※1225
ブレン政治	※796
フロイト	※383
フロイト以後	※1094
フロイト思想のキーワード	—1585
不老不死	※1108
プロ家庭教師の技	※1678
プロ野球 最強の助っ人論	■2305
プロ野球の一流たち	■1941
プロ野球 名人たちの証言	■※2256
フロンティアと摩天楼・新書アメリカ合衆国史②	—
	※933
文科系のパソコン	※730
文化人類学の考え方	※152
文化人類学の世界	※255
文化大革命	■971
文科の発想・理科の発想	※630
文系にもわかる量子論	※1619

●ひ

ピアニストは語る	■2389
ピアノの名曲	■2446
ヒアリング上達法	※840
東インド会社	—959
光源氏の一生	—2
樋口一葉	※277
ヒゲの日本近現代史	■※2217
非言語表現の威力	■2273
飛行機の戦争 1914-1945	■2438
〈非婚〉のすすめ	※1338
ビジネス英語の方法	※646
ビジネス・エシックス	※1696
ビジネス文章論	※572
ビジネスマンの精神科	■※2020
ビジネスマンのための「行動観察」入門	■2125
ビジネスをつくる仕事	■2229
非社会的社交性	■2208
〈美少女〉の現代史	※1718
微生物vs.人類	※1771
非戦の思想史	※209
ひたむきに生きる	※826
ビッグデータの覇者たち	■2203
ヒッチコック	※819
ヒットの崩壊	■2399
秀吉神話をくつがえす	■※1907
人が集まる建築	■2366
ビートたけしと北野武	■2417
ひとに〈取り入る〉心理学	※1683
ヒトの本性	■2344
人はどう生きるか	※649
ヒトはなぜ子育てに悩むのか	※1280
ヒトはなぜことばを使えるか	■※1427
人はなぜ悩むのか	※693
ヒトラーとナチ・ドイツ	■2318
ヒトラーとユダヤ人	—1249
ひとり旅の設計	※833

ひとり旅の風景	—————※605
ビートルズ	—————※851
ビートルズの謎	■1970
美に生きる	—————※60
美について	—————324
ビバ! メキシコ	—————※718
卑弥呼の謎	—————※294
秘密の心理	—————※812
138億年の音楽史	■2381
百人一首の謎	—————※975
百年前の私たち	—————※1882
ヒューマンズム考	—————※334
氷河時代	—————※414
表現したい人のためのマンガ入門	—————※1847
表現の現場	—————※1661
漂民の記録	—————※197
開かれた鎖国	—————※1377
「ひらきこもり」のすすめ	—————※1631
ピラミッドの謎	—————※554
「ひらめき」の開発	—————※762
琵琶湖水底の謎	—————※404
貧困世代	■2358
ヒンドゥー教	—————1469
貧農史観を見直す・新書江戸時代③	—————※1259

●ふ

ファッションの技法	—————※1374
ファンタジーの世界	—————※517
不安と祈りの心理	—————※579
〈不安な時代〉の精神病理	■※2101
不安の心理学	—————※1324
FIFO式 英語「速読速解」法	—————※1670
フィールド・ワークの記録	—————※190
フィールドワークの方法	—————※688
風水と天皇陵	—————※1736
風蘭	—————※5

はじめての死海写本	※1693		
はじめてのジャズ	※863		
はじめての進化論	※983		
はじめてのシンセサイザー	※928		
はじめてのスペイン語	1183		
はじめての政治哲学	■2084		
はじめての禅	※903		
はじめての中国語	■987		
はじめての朝鮮語	※687		
はじめての〈超ひも理論〉	1813		
はじめてのドイツ語	1073		
はじめての認知療法	■2105		
はじめてのパソコン	※847		
はじめてのヒアリング	※917		
はじめてのビジネス英会話	※1217		
はじめてのフランス語	※1114		
はじめてのポルトガル語	■2081		
はじめての森田療法	■2385		
はじめてのラテン語	■1353		
はじめてのロシア語	※1054		
馬車の文化史	※1140		
芭蕉=その人生と芸術	■※151		
走る意味	■※2037		
パスカル	※202		
パズルで遊ぼう	※690		
パズルとパラドックス	※970		
パソコンが野球を変える!	※1497		
パソコン入門・基礎の基礎	※1299		
パソコン翻訳の世界	※1378		
パソコンを疑う	※1367		
パソコンを鍛える	※1417		
パーソナリティ障害とは何か	■2180		
はだしの医者	※292		
畑村式「わかる」技術	■1809		
働くことは生きること	※1639		
働くということ	648		
働く。なぜ?	■※2230		
'89・東欧改革	※995		
八幡神と神仏習合	■1904		
パチンコと日本人	※728		
客家(はっか)	■※1057		
パックス・チャイナ 中華帝国の野望			■2369
発想法	※634		
発達障害のいま	■2116		
発達障害の子どもたち	■1922		
話すための英語力	■2411		
パニックの心理	※364		
母親はなぜ生きづらいか	■2044		
派閥	※707		
ハーバードで通じる英会話	※1691		
ハプスブルク家	■1017		
ハプスブルク家の女たち	■1151		
ハプスブルク家の宮殿	※1715		
ハプスブルク帝国	■2442		
ハプスブルク帝国を旅する	※1361		
ハプスブルクをつくった男	※1732		
パプ・大英帝国の社交場	※1118		
パブリック・スクール	※1134		
バブルとデフレ	※1431		
はやぶさ2の真実	■※2291		
バランス感覚	※769		
パリ・コレクション	※1144		
バリ島	※1395		
パリの奇跡	※986		
パリの誘惑	※1109		
パリ歴史探偵術	※1610		
バルセロナ	※1067		
春の雲	※107		
パール判決を問い直す	※1954		
バレエの魔力	※1506		
バロック音楽	※291		
ハンガリー狂騒曲	※1072		
反教育論	■2195		
犯罪学入門	※1365		
「反」読書法	※1355		
「反日感情」	※1158		
「反日」中国の真実	■※2197		
「般若心経」を読む	606		
反米主義	※1956		
反米の世界史	※1790		
万里の長城 攻防三千年史	※1674		

●ね

- ネットフリックスの時代 ㊦2340
ねむり姫の謎 1462 ※
年金の常識 1305 ※
年金はどう変わるか 1681 ※
年金をとりもどす法 1764 ※

●の

- ノアの大洪水 398 ※
ノイローゼ 22 ※
ノイローゼ 新訂版 336 ※
脳と音読 1716 ※
脳と記憶の謎 1351 ※
脳のなかの身体 ㊦1929
脳のはたらき 196 ※
脳はどこまでわかったか 1059 ※
「脳疲労」社会 ㊦2349
〈能力主義〉の心理学 1435 ※
能力はどこまでのげせるか 249 ※
能力を高める 受験勉強の技術 1781 ※
脳を活かす! 必勝の時間攻略法
1668 ※
野口英世 175 ※
信長と天皇 1096 ※

●は

- バイオエシックス 759 ※
バイオサイエンス入門 1149 ※
バイオリズム 577 ※
俳句とエロス 1770 ※

- 俳句と川柳 1478 ※
俳句の上達法 882 ※
俳句のたのしさ 440 ※
俳句を味わう 666 ※
俳句をつくろう 1528 ※
排除の空気に唾を吐け ㊦1983 ※
ハイデガー=存在神秘の哲学 1600
ハイデガー『存在と時間』入門 ㊦2437
ハイデガー哲学入門—『存在と時間』を
読む ㊦2341
ハイテク情報を読みこなす 852 ※
バイリンガリズム 1515 ※
「業隠」の叡智 1167 ※
墓と葬送の社会史 1152 ※
萩原朔太郎 441 ※
白隠禅師 790 ※
幕臣たちの明治維新 ㊦1931
パクス・アメリカーナの光と陰・新書
アメリカ合衆国史③ 938 ※
パクス・イスラミカの世紀・新書イス
ラームの世界史② 1166 ※
白村江 1379
爆発する都市 37 ※
博物学の欲望 1110 ※
博物館の楽しみ方 1207 ※
幕末の政争 149 ※
恥と意地 1387 ※
恥の構造 658 ※
はじめてのアラビア語 1659 ※
はじめてのイタリア語 ㊦1396
はじめての一眼レフ 1364 ※
はじめてのインド哲学 1123
はじめての英会話 806 ※
はじめてのオペラ 967 ※
はじめてのギリシア悲劇 1433 ※
はじめての金融工学 1780 ※
はじめてのクラシック 874 ※
はじめての言語学 ㊦1701
はじめての言語ゲーム ㊦2004
はじめての源氏物語 1049 ※
はじめての現代数学 909 ※
はじめての構造主義 ㊦898

日本の企業発展史	—————	※1028	日本列島の歴史	—————	※326
日本の奇僧・快僧	—————	※1277	日本を降りる若者たち	—————	※1917
日本の近代化	—————	※28	日本をきずいた科学	—————	※99
日本の軍事システム	—————	※1543	日本を減ぼす教育論議	—————	1826
日本の経営組織	—————	※792	日本を減ぼす消費税増税	—————	※2181
日本の景気は賃金が決める	■	※2205	日本を減ぼす〈世間の良識〉	—————	2126
日本の(地霊)	—————	※1481	日本をみなおす	—————	※14
日本の検察	—————	※885	日本を甦らせる政治思想	■	※1875
日本の恋の歌	—————	※21	入門! システム思考	—————	※1895
日本の恋の歌	—————	※422	入門・世界の神話	—————	※29
日本の公安警察	—————	1488	入門 哲学としての仏教	■	1988
日本の国防	■	2139	入門 東南アジア近現代史	■	2410
日本の雇用	—————	1997	女人政治の中世	—————	※1294
日本の裁判官	—————	※1195	人形作家	—————	※1633
日本のシャーマニズム	—————	※256	人間イエス	—————	※1350
日本の女帝	—————	※337	人間解放の時代	—————	※134
日本の地名	—————	※342	人間関係の幾何学	—————	※226
日本の伝統	—————	※304	人間関係の心理学	—————	※539
日本の伝統工芸	—————	※498	人間関係のレッスン	■	2062
日本の風景・西欧の景観	—————	1007	人間関係をよくする	—————	※140
日本の方言	—————	※160	人間讃歌	—————	※30
日本の民家	—————	※528	人間社会のゲーム理論	—————	※236
日本の名句・名言	—————	※925	人間にとって科学とは何か	—————	※360
日本の山100	—————	※739	人間の生きがいとは何か	—————	※228
日本の遊園地	—————	※1520	人間の生き方	—————	※254
日本の歴史(上)	—————	※229	人間の教育	—————	※44
日本の歴史(下)	—————	※233	人間の権利	—————	※4
日本のロック名盤ベスト100	■	2329	人間の心のふしぎ	—————	※93
日本美の構造	—————	※397	人間の思想の歩み	—————	※276
日本百年の宗教	—————	※161	人間の発見と創造	—————	※85
日本仏教の思想	—————	※1254	認識論入門	—————	※308
日本文学三六五日(上)	—————	※375	認知症と長寿社会	—————	2079
日本文学三六五日(下)	—————	※376	認知症の「真実」	■	2292
日本文学と風土	—————	※183	認知症を知る	■	2269
日本文化と世界	—————	※280			
日本文化の起源	—————	※108			
日本文化の構造	—————	※278			
日本文化の死角	—————	※478			
日本文化の東と西	—————	※362			
日本文化の表情	—————	※283			
日本料理の贅沢	■	2067			
日本列島の将来像	—————	※77			
			●ぬ		
			スードと愛国	■	2284

日本近代の新しい見方	※56	「日本人英語」のすすめ	※1131
日本軍と日本兵	■2243	日本人=〈殻なし卵〉の自我像	※483
日本経済ここに極まれり	※991	日本人の生き方	※90
日本経済50の大疑問	※1597	日本人の意識構造	—293
日本経済入門	■2416	「日本人の神」入門	■2368
日本経済の奇妙な常識	■2128	日本人の起源	※668
日本経済の構造転換	※957	日本人の言語表現	※410
日本経済を考える	※434	日本人の〈原罪〉	※1975
日本経済を見る目	※530	日本人の行動様式	※320
日本国改造試論	※366	日本人の死生観	※675
日本語誤用・慣用小辞典	※1042	日本人のしつけは衰退したか	■1448
日本語誤用・慣用小辞典(続)	※1250	日本人の周辺	※387
日本古代の国家形成	※128	日本人の信仰心	※712
日本古代の精神	※195	日本人の心情論理	※438
日本国家の成立	※167	日本人の神話的思考	※532
日本語という外国語	■2013	日本人のタブー	※245
日本語と論理	※48	日本人のための日本語文法入門	—
日本語の源流	※594	—	■2173
日本語の故郷を探る	※545	日本人の仲間意識	※447
日本語の語源	※518	日本人の発想	※403
日本語のころ	※372	日本人の法感覚	※950
日本語の成立	※506	日本人の歴史	※525
日本語の表情	※505	日本人の論理構造	—258
日本語の復権	※1459	日本人はどこから来たか	※265
日本語の森を歩いて	※1800	日本人はなぜキツネにだまされなくな	—
日本語のリズム	※488	ったのか	■1918
日本語のレッスン	※1399	日本人はなぜ狐を信仰するのか	—
日本語はどこから来たか	※631	—	※1829
日本語は年速一キロで動く	※1672	日本人論の系譜	※597
日本ゴルフ列島	※1055	日本神話の源流	※420
日本語論理トレーニング	■1981	日本政治の決算	※1694
日本語をみがく小辞典〈形容詞・副詞	—	日本全国 離島を旅する	※1727
篇〉	※969	日本全国 ローカル線おいしい旅	—
日本語をみがく小辞典〈動詞篇〉	※919	—	※1710
日本語をみがく小辞典〈名詞篇〉	※873	日本町人道	※146
日本再生会議	※1713	日本的経営と人材	※860
日本再生の戦略	※1989	日本的思考の原型	※406
日本式育児法	※16	日本的市場経済システム	※1221
日本式育児法 改訂版	※333	日本と中国の百年	※169
日本史の考え方	—1702	「日本」とは何か	※1776
日本資本主義の歩み	※113	日本の安全保障	※1375
日本書紀の読み方	※1709	日本の神々	※664

●な

長崎居留地	※143
中原中也	※365
流れに抗して	※25
ナショナリズム入門	■2263
なぜ外国語を学ぶか	※542
なぜ日本人は学ばなくなったのか	■1943
なぜ日本人は劣化したか	■※1889
なぜフランスでは子どもが増えるのか	■※2052
なぜ僕はドキュメンタリーを撮るのか	■2113
謎解き中国語文法	※1342
謎とき日本合戦史	※1568
謎とき日本近現代史	■1414
謎とき日本経済50の真相	※1671
謎とき 本能寺の変	■※1685
謎の古代都市アレクサンドリア	※1493
ナチス裁判	※1132
ナチス追及	※1015
ナチスの財宝	■2316
「夏目漱石」入門	※101
「名」と「恥」の文化	※261
七三一部隊	■1265
生身の暴力論	■2336
悩む性格・困らせる性格	※1398
ナルシズム	※877
難字と難訓	※897
ナンセンス感覚	※811

●に

西アジアの歴史・新書東洋史⑨	※459
西田幾多郎の生命哲学	※1772
西田・三木・戸坂の哲学	※133

20世紀言語学入門	—————1248
二十世紀の世界・新書西洋史⑧	※318
21世紀の経済学	—————※1451
20代のための「キャリア」と「仕事」入門	—————■2235
二十七度線	—————※273
22歳からの国語力	—————■2035
2025年 日本の農業ビジネス	—————2418
2020年の大学入試問題	—————■2355
ニーチェとの対話	—————501
日米安保を考え直す	—————※1608
日米開戦と情報戦	—————■2398
日米同盟の正体	—————■1985
日蓮	—————135
日韓サッカー文化論	—————※1606
NICS	—————※889
日系アメリカ人	—————※449
日光東照宮の謎	—————1292
日清戦争	—————※1986
日中戦争	—————■1900
ニッポンの音楽	—————■2296
ニッポンの奇祭	—————■2441
ニッポンの刑務所	—————※2042
ニッポンの裁判	—————■2297
ニッポンの思想	—————■2009
ニッポンの大学	—————■※1920
にっぽんの知恵	—————※1923
ニッポンの文学	—————■2356
日本のルールは間違いだらけ	—————■※2017
日本破綻	—————※1583
ニッポン発見記	—————※1720
ニヒリズム	—————※468
日本一の桜	—————■※2041
日本一周 ローカル線温泉旅	—————■※1569
日本音楽の再発見	—————※462
日本海海戦の真実	—————※1461
日本海軍と政治	—————■2299
日本銀行	—————※965
日本銀行は信用できるか	—————■2010
日本近代二百年の構造	—————※432

天皇陛下の全仕事	■1977	東洋資本主義	※1022
電腦遊戯の少年少女たち	※1472	東洋のかたち	※402
天皇論を読む	※1688	東洋の合理思想	※235
天文学のすすめ	※82	動乱の昭和史	※164
天文考古学入門	※660	ドゥルーズの哲学	※1504
電力改革	2145	道路の経済学	※1782
		童話の書き方	※661
		遠山金四郎	■※1974
		都会人	※177
		読書術	※665
		読書の方法	※633
		特捜検察の事件簿	※1418
		独立国家のつくりかた	■2155
		どこでどう老いるか	※1296
		ド・ゴール	※106
		都市計画の世界史	■1932
		都市のコスモロジー	※1178
		都市の文明イスラーム・新書イスラームの世界史①	※1162
		都市防災	※1332
		図書館であそぼう	※1453
		都市を遊ぶ	※802
		ドストエフスキー	※621
		土地の経済学	※499
		「特攻」と日本人	■1797
		TOEFL・TOEICと日本人の英語力	※1605
		杜甫	※212
		トーマス・クックの旅	※1309
		トヨタの強さの秘密	■2362
		トヨタモデル	※1784
		ドライブマップの旅	※732
		ドラキュラ誕生	※1269
		トランスパーソナル心理学入門	1465
		トリックの心理学	※823
		努力は天才に勝る!	■2348
		トルコ民族主義	※1327
		ドン・キホーテの哲学	※435
		ドン・ファン	※514
●と			
ドイツ語の新しい学び方	※250		
ドイツ語のすすめ	※26		
ドイツのこころ	※589		
ドイツの秘密情報機関	※1267		
ドイツ留学記(上)	※595		
ドイツ留学記(下)	※596		
投球論	※1460		
東京裁判	■1924		
東京情報コレクション	※813		
道教と日本人	※411		
東京の原像	※599		
道元とサルトル	※374		
道元入門	217		
統合ヨーロッパの民族問題	※1218		
動作——都市空間の行動学	※816		
唐詩選の旅(上)	※295		
唐詩選の旅(下)	※296		
動詞人間学	※408		
東芝解体 電機メーカーが消える日	■2426		
鄧小平	※1153		
鄧小平	■2345		
統率力	※947		
道徳を基礎づける	※1614		
東南アジアの歴史・新書東洋史⑦	※457		
動物化するポストモダン	■1575		
動物裁判	1019		
動物の行動から何を学ぶか	※359		
動物の生理を探る	※132		

●つ

通産省	※1046
使いこなすパソコン通信	※956
〈つきあい〉の心理学	※645
月影	※76
「次の首相」はこうして決まる	※1964
作ると考える	※1000
伝わる技術	■2468
ツタンカーメンの謎	※749
〈つながり〉の精神史	■※2144
つながる読書術	■2133
妻との修復	■※1934
ツール・ド・フランス	■2214

●て

「出会い」と「ふれあい」	※794
「出会い」の心理学	※870
手足を持った魚たち・生命の歴史③	※1345
DNA医学の最先端	■2191
帝国主義の展開・新書西洋史⑦	※317
帝国陸軍の〈改革と抵抗〉	※1859
定年からの旅行術	■※2015
テイヤール・ド・シャルダン	※257
手紙の書き方	※524
デカルト＝哲学のすすめ	※1325
適応の条件	■300
デザイン戦略	※864
デザインとは何か	※346
デザインの教科書	■2124
デジカメに100万画素はいらない	■※1963
デジタル産業革命	※1426
デジタルは人間を奪うのか	■2283
デジタル・ライフに強くなる	※1697
デジタル・ワビサビのすすめ	■※2259

データベースを使いこなす	※765
データを紡いで社会につなぐ	■2234
手塚治虫	※1004
哲学とは何か	※663
哲学入門一歩前	■916
哲学の最新キーワードを読む	■2465
哲学の最前線	※1406
哲学のすすめ	66
哲学の謎	■1286
哲学の復興	※301
哲学の歴史	977
哲学はいかにして生まれたか	※185
鉄道と国家	■2152
鉄道ひとつばなし	■1680
鉄道ひとつばなし2	■1885
鉄道ひとつばなし3	■2095
鉄理論＝地球と生命の奇跡	※1778
デパートを発明した夫婦	1076
デフレと超円高	※2091
テレコム社会	※865
テレビアニメ魂	※1789
テレビゲーム文化論	※1573
テレビCMを読み解く	※1352
テレビ進化論	※1938
テレビ・ドキュメンタリーの現場から	※1491
天安門落書	※998
天下統一	■2343
転換期の情報社会	※1113
転換する日本企業	※848
天才	※721
天才になる!	※1371
「天才」の育て方	■1890
天智と持続	■※2077
電子マネー革命	※2078
「転職」のすすめ	※1447
伝統中国の完成・新書東洋史④	※454
点と線の不思議	※782
天皇家のお葬式	■2449
天皇と日本の起源	1648
天皇と日本の近代(上)	※1534
天皇と日本の近代(下)	※1535

「知恵」の再発見	※569	中国語はおもしろい	1753
地球外生命	※1471	中国社会の成立・新書東洋史①	※451
地球=誕生と進化の謎	※1006	中国社会の見えない掟	2123
地球時計	※469	中国人の思考様式	※356
地球のなかをのぞく	※899	中国人の知恵	※322
地球は生きている	※61	中国と台湾	※1649
地球は寒くなるか	※400	中国の黒社会	※1604
地図——「遊び」からの発想	※671	中国の大盗賊	※972
地図から消される街	2472	中国の大盗賊・完全版	1746
地図との対話	※509	中国の名句・名言	※837
地図の歴史・世界篇	※368	中国文明の歴史	1761
地図の歴史・日本篇	※369	中国料理の迷宮	※1502
知性の限界	2048	中世シチリア王国	1470
知性はどこに生まれるか	※1335	中世の開幕・新書日本史③	※425
父親とは何か	※643	中世・ルネサンスの音楽	※472
秩父困民党	※531	中世を道から読む	2040
地中海世界・新書西洋史②	※312	〈中東〉の考え方	2053
知的熟年ライフの作り方	※1529	中東を読むキーワード	※845
知的生活の方法	436	中立をまもる	※154
知的創造のヒント	※490	超越者の思想	※413
知的な大人の勉強法 英語を制する「ライティング」	※1831	超解説！ はじめてのカント『純粹理性批判』	2099
知能指数	※1340	超解説！ はじめてのフッサール『現象学の理念』	2169
知の周辺	※556	超解説！ はじめてのヘーゲル『精神現象学』	2050
「知」のソフトウェア	722	超高齢社会の基礎知識	2138
「知」の探検学	※475	超国家E C	※1127
知の編集術	1485	「超」集中法	2332
地方議員の逆襲	2361	超人の哲学	※963
チームの研究	※1443	朝鮮語のすすめ	※614
チームワークの心理学	※791	朝鮮史・新書東洋史⑩	※460
地名で読むヨーロッパ	※1592	朝鮮のこころ	※289
茶人たちの日本文化史	※1878	朝鮮半島「核」外交	※1869
チャーリー・チャップリン	※335	町人から市民へ	※380
中央アジアの歴史・新書東洋史⑧	※458	町人文化の開花	※394
中学入試国語のルール	1935	超能力のトリック	※799
中高年ブラック派遣	2314	直観力	※508
中国医学の健康術	※1316		
中国共産党の経済政策	2184		
中国経済の正体	2047		
中国古代の予言書	※1508		
中国語のすすめ	※23		

孫文と日本 ————— ※104

●た

第一次世界大戦と日本 ———— ㊦ ※2266

大異変 ————— ※319

大英帝国 ————— 934

大学院へ行く ————— ※1803

大学生のための知的勉強術 ———— ㊦ 2046

大学生のためのレポート・論文術
————— ※1603

大学でいかに学ぶか ————— ㊦ 78

大学の歴史と改革 ————— ※230

大学はどこへ行く ————— ※1590

大学論 ————— ㊦ ※2043

退却神経症 ————— ※901

大衆現象を解く ————— ※751

大乘経典を読む ————— ※1129

大正文化 ————— ※565

対人恐怖 ————— ※981

大震災後の社会学 ————— 2136

大聖堂のコスモロジー ————— ※1120

大転換思考のすすめ ————— ※1660

「大東亜共栄圏」の思想 ————— ※1279

「大東亜」戦争を知っていますか
————— ※1617

大統領の英語 ————— ※867

大統領の説得術 ————— ※1194

台風の科学 ————— ※126

太平洋戦争の歴史(上) ————— ※778

太平洋戦争の歴史(下) ————— ※779

大魔術の歴史 ————— ※910

「タイム」を読む ————— ※617

大陸国家の夢・新書アメリカ合衆国史
① ————— ※929

大リーグ物語 ————— ※1043

大恋愛 ————— ※982

対話・心の哲学 ————— ※1817

対話のレトリック ————— ※773

「タオ＝道」の思想 ————— ※1629

高天原の謎 ————— ※361

高村光太郎 ————— ※601

宝塚戦略 ————— ※1050

嵐の話 ————— ※608

多重人格 ————— ※1390

闘うための哲学書 ————— ㊦ 2290

戦うハプスブルク家 ————— 1282

正しい本の読み方 ————— ㊦ 2447

正しく考えるために ————— 285

タテ社会の人間関係 ————— ㊦ 105

タテ社会の力学 ————— ※500

タテマエとホンネ ————— ※745

伊達政宗、最期の日々 ————— ※2060

田中角栄 ————— ㊦ 2382

田中正造の生涯 ————— ※442

他人を見下す若者たち ————— ㊦ 1827

種田山頭火 ————— ※363

楽しく学べる「知財」入門 ———— ㊦ 2412

タバコ ————— ※702

旅について ————— ※389

旅のたのしさ ————— ※536

タブーの漢字学 ————— ※1751

たべもの日本人 ————— ※378

食べものの四季 ————— ※632

だまされない〈議論力〉 ————— ㊦ 1855

タモリと戦後ニッポン ————— ㊦ 2328

誰も教えてくれない 人を動かす文章術
————— ㊦ 2083

だれもが書ける文章 ————— ※522

「タレント」の時代 ————— ㊦ 2303

タロットの秘密 ————— ㊦ 2424

短歌のたのしさ ————— ※740

ダンディ ————— ※973

●ち

〈地域人〉とまちづくり ————— ※1662

小さな農園主の日記 ————— ※1498

石仏	※564	禪の発想	※709
石油・武器・麻薬	■2326	戦乱と一揆・新書日本史④	※426
「世間」とは何か	■1262	戦略思考のすすめ	※1766
絶対王政の時代・新書西洋史⑤	※315	線路を楽しむ鉄道学	■※1995
説得術	※696		
説得の文章技術	※685		
切腹の話	※287		
絶望の裁判所	■2250		
セルフ・クライシス	※763		
セルフコントロール	※717		
セルフコントロールの心理学	※1494		
ゼロからわかるアインシュタインの発見	■※1860		
ゼロからわかる 経済学の思考法	■2178		
ゼロからわかる経済の基本	1641		
ゼロからわかる個人投資	※1692		
全学連と全共闘	※771		
宣教師ニコライとその時代	※2102		
戦後企業事件史	※1191		
「戦国策」の知恵	※962		
戦国誕生	■2106		
戦国の陣形	■2351		
戦後の日本	※512		
戦後文学は生きている	※2175		
「戦後補償」を考える	※1213		
「戦後」を点検する	※2072		
戦前昭和の社会 1926-1945	■2098		
戦前日本の安全保障	■2190		
「戦争学」概論	■1807		
戦争調査会	■2453		
戦争と有事法制	※1699		
戦争の日本近現代史	■1599		
戦争の日本古代史	■2428		
戦争を記憶する	■1540		
戦争を始めるのは誰か	※1184		
先端医療	※974		
先端医療のルール	※1581		
禪のこころ	※153		
禪のことば	※628		
善の根拠	■2293		
禪のすすめ	27		
		●そ	
		創価学会の研究	■1965
		臓器は「商品」か	※1549
		葬祭の日本史	※1724
		漱石と三人の読者	■1743
		漱石の疼痛、カントの激痛	※1527
		創造思考の技術	※231
		創造と狂気	※567
		創造の方法学	■553
		想像力	※1219
		創造力をみがくヒント	※1408
		続 まんが パレスチナ問題	■2331
		続 考える技術・書く技術	※485
		続 知的生活の方法	※538
		ソクラテスはなぜ裁かれたか	※1181
		組織の情報管理	※205
		組織を強くする技術の伝え方	■1870
		ソーシャルブレインズ入門	2039
		蘇州	※1161
		ソシユールと言語学	■1763
		素読のすすめ	※839
		ソビエトとロシア	※979
		ソフト・エネルギー	※598
		素朴と無垢の精神史	※1179
		空飛ぶ巨大技術ジャンボ	※838
		空の戦争史	※1945
		素粒子の世界	※114
		ソ連共産党書記長	※856
		ソ連経済の歴史的転換はなるか	■1037
		ゾロアスターの神秘思想	※888
		損したくないニッポン人	■2335
		「孫子」を読む	1163

スポーツを「視る」技術 ——— ※1630
スラスラ書ける！ ビジネス文書
————— ※1834
駿台式！ 本当の勉強力 ——— ※1546

●セ

性愛奥義 ——— ※1801
西欧文化の条件 ——— ※549
性格 ——— ※263
性格分析 ——— ※704
成果主義と人事評価 ——— ※1574
生活優先の原理 ——— ※309
生活リズムの文化史 ——— ※647
〈税金逃れ〉の衝撃 ——— ㊦2324
税金の論理 ——— ※1229
性=この不思議な原理 ——— ※72
政治家の誕生 ——— ※1206
〈政治参加〉する7つの方法 ——— ※1547
政治社会発展の理論 ——— ※136
青春期内科診療ノート ——— ※862
正常と異常のはざま ——— ※945
生殖医療の衝撃 ——— ㊦2383
聖書の起源 ——— ※448
聖書の奇跡 ——— ※584
聖書のことば ——— ※64
聖書のヒロインたち ——— ※1728
聖書の名句・名言 ——— ※880
聖書の読み方 ——— ※266
聖書は何を語っているか ——— ※828
聖書vs.世界史 ——— ㊦1321
「聖書」名表現の常識 ——— ㊦※1545
精神医学とナチズム ——— ※1363
精神医療ダークサイド ——— 2231
精神科にできること ——— ㊦※1625
精神の危機 ——— ※385
精神病理からみる現代思想 ——— ※1075
贅沢な読書 ——— ※689
性的なことば ——— ※2034

聖典「クルアーン」の思想 ——— ※1711
「生」と「死」のウィーン ——— ※1045
青年期の心 ——— ※1083
「性」の人間学 ——— ※510
〈性〉のミステリー ——— ※1349
性の用語集 ——— ※1762
征服王朝の時代・新書東洋史③ ※453
生物としての人間 ——— ※282
生物と無生物のあいだ ——— 1891
生命誕生 ——— ㊦2262
〈生命〉とは何だろうか ——— ㊦※2193
生命に部分はない ——— 2434
生命のからくり ——— ㊦2268
西洋占星術 ——— ※1105
西洋文化の源をたずねる ——— ※92
性を考える ——— ※8
世界自動車産業の興亡 ——— ※1087
世界史とヨーロッパ ——— ㊦1687
世界史の中のパレスチナ問題 ㊦2189
世界史を変えた薬 ——— ㊦2338
世界人名ものがたり ——— ※1437
世界神話学入門 ——— ㊦2457
世界帝国の形成・新書東洋史② ※452
世界に冠たる中小企業 ——— ㊦2300
世界に呼びかける東洋 ——— ㊦※59
世界のイスラーム建築 ——— ※1779
世界の陰謀論を読み解く ——— ㊦2146
世界の言語入門 ——— ㊦※1959
世界の宗教を読む事典 ——— ※1908
世界の頭脳 ——— ※73
世界の鉄道紀行 ——— ㊦※2275
世界の鉄道旅行案内 ——— ※1518
世界の読者に伝えるということ
————— ㊦※2255
世界のビッグビジネス ——— ※988
世界の村おこし・町づくり ——— ※1035
世界の野菜を旅する ——— ㊦2055
世界は分けてもわからない ——— 2000
世界を動かす思想 ——— ※20
世界を動かす人脈 ——— ㊦※1927
世界を制した中小企業 ——— ※1695
「責任」ってなに？ ——— ※1821

- 人生をどう生きるか ————— ※71
 人生を励ます言葉 ————— ※915
 真説・企業論 ————— ㊦2425
 心臓病 ————— ※735
 人体の不思議 ————— ※825
 新・哲学入門 ————— ※148
 神道の逆襲 ————— ㊦1560
 「神道」の虚像と実像 ————— ㊦2109
 新・日本の階級社会 ————— ㊦2461
 〈心配性〉の心理学 ————— ※1297
 新版 うつ病をなおす ————— ㊦2415
 新版・魏志倭人伝 ————— ※835
 新版・クラシックの名曲・名盤
 ————— ※1320
 新版・経済指標を読みこなす ※1154
 新版 大学生のためのレポート・論文術
 ————— ㊦2021
 新版・車弥呼の謎 ————— ※908
 神秘体験 ————— ※940
 新聞記事が「わかる」技術 ————— ※1665
 新聞記者の現場 ————— ※775
 新文章入門 ————— ※41
 新聞をどう読むか ————— ※809
 新編 日本語誤用・慣用小辞典
 ————— ㊦2033
 人民中国への道・新書東洋史⑤ ※455
 信頼学の教室 ————— ㊦2347
 親鸞入門 ————— ※251
 心理戦争 ————— ※141
 心理テスト ————— ※1228
 真理とは何か ————— ※635
 人類学的宇宙観 ————— ※390
 人類進化の700万年 ————— ㊦1805
 人類の祖先を探る ————— ㊦※47
- す
 「水滸伝」を読む ————— ※1215
 水素エネルギー ————— ※371
- 水族館狂時代 ————— ※1864
 睡眠障害 ————— ※1514
 睡眠の不思議 ————— ※887
 スウェーデンの実験 ————— ※638
 スウェーデンボルグの思想 ————— ※1235
 数学感覚をのぼす ————— ※644
 数学者の眼 ————— ※46
 数学的思考法 ————— ㊦1786
 数学でつまづくのはなぜか ————— ㊦1925
 数学で何を学ぶか ————— ※264
 数学の考え方 ————— ※15
 数学の発想 ————— ※253
 数学へのすすめ ————— ※150
 数学をきざいた人々 ————— ※89
 数字でみるニッポンの医療 ————— ※1967
 枢密院議長の日記 ————— ㊦※1911
 素顔の医者 ————— ※1180
 好きと嫌いの心理学 ————— ※609
 「スキャンダル」の記号論 ————— ※849
 スクープ ————— ※789
 図形あそびの世界 ————— ※624
 すごい「会話力」 ————— ㊦2396
 鈴木大拙の言葉と思想 ————— ※103
 捨聖・一遍上人 ————— ※1281
 捨てられる銀行 ————— ㊦2371
 捨てられる銀行2 非産運用 ————— ㊦2422
 ストライカーのつくり方 ————— ㊦※2111
 ストレス ————— ※627
 ストレス・コントロール ————— ※780
 ストレス対処法 ————— ※1198
 「頭脳国家」シンガポール ————— ※1135
 スピノザの世界 ————— ㊦1783
 スピリチュアルの冒険 ————— ※1899
 スピルバーグ ————— ※875
 スペイン ————— ※479
 スペイン語のすすめ ————— ※49
 スペイン巡礼史 ————— ※1820
 スペイン内戦 ————— ※603
 スペース・ツアー ————— ※861
 スポーツ語源クイズ55 ————— ※1632
 スポーツとは何か ————— 1454
 スポーツ名勝負物語 ————— ※1381

純粋文化の条件	※119	ジョークの哲学	※857
巡礼	※623	職場は感情で変わる	■2016
攘夷の幕末史	■2069	食文化の中の日本と朝鮮	※1116
上級をめざす英会話	※829	食をめぐるほんとうの話	■2342
状況倫理ノート	※357	書齋 創造空間の設計	※850
将軍と側用人の政治・新書江戸時代①		女子高生アイドルは、なぜ東大生に知	
	※1257	力で勝てたのか?	■2360
上司につける薬!	※1857	叙事詩の世界	※147
上司の「いじり」が許せない	■2469	女性学とははじめ	※563
小説—いかに読み、いかに書くか		女装と日本人	■1960
	※684	女帝	※252
小説・倫理学講義	※1380	女帝の古代史	※1794
商店街はいま必要なのか	■2325	シーラカンス	※1095
聖徳太子の仏法	※1722	調べる技術・書く技術	■1940
少年法を問い直す	※1474	自立が苦手な人へ	※2057
消費税のカラクリ	※2059	〈自立〉の心理学	※674
消費の記号論	※764	シルクロードの終着駅	※555
〈勝負脳〉の鍛え方	■1861	「死霊」から「キッチン」へ	※1270
情報イノベーター	※1477	城を攻める 城を守る	■2248
情報学の論理	※200	新・学問のススメ	■2147
情報化社会	※187	新・学問論	※936
情報参謀	■2377	進化経済学のすすめ	※1613
情報操作のトリック	1201	進化のなかの人体	※659
〈情報〉帝国の興亡	■2386	シンガポールの日本人学校	※466
情報と国家	※1739	進化論という考えかた	※1598
情報の心理学	※247	進化を忘れた動物たち	※961
縄文の思想	■2454	ジンギス・カンの謎	※907
昭和二十年五月二十九日	※321	新・自衛隊論	■2320
昭和の五十年・新書日本史⑧	※430	秦・始皇帝陵の謎	※1232
昭和の戦争	■2376	人事制度イノベーション	※1845
昭和万葉集秀歌(一)	※753	信じていいのか銀行員	■2346
昭和万葉集秀歌(二)	※754	新 ジャズの名演・名盤	※1548
昭和万葉集秀歌(三)	※755	新宗教と巨大建築	※1580
昭和陸軍全史1	■2272	新宗教の神々	※905
昭和陸軍全史2	■2289	新書アフリカ史	1366
昭和陸軍全史3	■2319	新書 沖縄読本	2092
昭和零年	※1799	新書ヨーロッパ史 中世篇	1664
「昭和」を点検する	1950	心身症	※1159
女王陛下の英語	※1197	ジーンズ物語	※985
職業とは何か	※1955	人生に意味はあるか	■1787
食卓にあがった死の灰	※984	人生の価値を考える	※1391
ジョークとトリック	706	神聖ローマ帝国	■1673

室内化学汚染	※1412	弱者の居場所がない社会	■2135
失敗から何を学ぶか	※768	写真美術館へようこそ	1287
「失敗」の経済政策史	■2267	写真を撮る	※656
失敗を生かす仕事術	■1596	ジャズの名演・名盤	※1029
シティバンクとメリルリンチ	※1438	ジャズの名盤入門	■1808
視点をずらす思考術	■※1930	ジャーナリズムの現場から	■※2276
死と生の記録	■※144	ジャーニーズと日本	■2402
死ぬ力	■2357	ジャパン・プロブレムの原点	※1003
死の国・熊野	※1103	JAL再建の真実	■2176
詩のこころ・美のかたち	※575	シャーロック・ホームズの推理学	
詩のたのしさ	※484		※922
ジプシー	※583	シャーロック・ホームズの履歴書	
自分からの自由	※894		※944
じぶん・この不思議な存在	■1315	ジャン・コクトー	※1274
自分らしく生きる	※705	ジャンヌ・ダルク	※1337
自分を愛する力	■※2198	ジャンヌ・ダルクの神話	※642
〈じぶん〉を愛するということ		上海	※884
	■※1456	上海路上探検	※1336
自分を生かす自己催眠法	※1119	宗教改革の真実	1712
自分をどう表現するか	1275	宗教vs.国家	※1874
自閉症	※697	「集合」の話	※286
自閉症からのメッセージ	※1177	集団の心理学	※714
死別の悲しみに向き合う	■2185	終着駅の旅	※636
シベリア開発	※323	集中力	※895
司法は腐り人権減ぶ	※1893	修道院	※1251
市民革命の時代・新書西洋史⑥	※316	自由とは何か	■1749
自民党	※747	十二人の芸術家	※339
自民党と戦後	※1785	自由の悲劇	※1024
自民党秘史	■2460	自由はどこまで可能か	1542
自民党ひとり良識派	2375	週末作家入門	※1814
シモース・ヴェイユ	※165	16ビットパソコンを使いこなす	※807
社会科学の考え方	※399	縮小ニッポンの衝撃	■2436
社会科学のすすめ	※186	呪術	※218
社会主義	※386	シュタイナー入門	※1458
社会主義市場経済の中国	※1227	酒池肉林	※1139
社会主義の軍隊	※1012	趣味人の日曜日	※844
社会主義の新時代	※122	須弥山と極楽	※330
社会的な身体	※1998	修羅を生きる	※1240
社会保障入門	※1571	シュワイツァーの言葉と思想	※87
社会保障亡国論	■2253	手話のすすめ	※679
社会を動かした個性	※62	純愛心中	※1825
社会を変えるには	2168	春秋戦国の処世術	※1658

裁判員制度の正体	■※1903
裁判の話	※118
催眠のすべて	※607
坂口安吾	※421
酒の話	676
鎖国=ゆるやかな情報革命・新書江戸時代④	※1260
坐禅の精神	※464
錯覚の心理学	※1233
作家という病	■2323
サッカーの国際政治学	※1730
作曲家の発想術	※1731
作曲入門	※682
「さとり」と「廻向」	※711
「覚り」と「空」	※1082
サバがトロより高くなる日	※1804
サラリーマン社会小事典	※1564
サラリーマン武士道	※1541
「サルトル」入門	※70
参勤交代	1394
三国志と日本人	※1637
三国志の英傑	※1030
「三国志」の知恵	※761
算数・数学が得意になる本	■1840
算数のできる子どもを育てる	1522
参謀本部と陸軍大学校	■1707

●し

C I A	※774
地アタマを鍛える知的勉強法	■2027
幸せのメカニズム	■2238
J・S・バッハ	1025
シェイクスピア名言集	※57
自衛隊は誰のものか	※1584
潮だまりの生物学	※586
塩の道	※382
詩が生まれるとき	※1196
自我の哲学史	※1792

時間と人間	※439
時間の分子生物学	■1689
時間の本質をさぐる	※1005
時間は実在するか	1638
「時間」を哲学する	■1293
指揮官の条件	■2339
史記=司馬遷の世界	※527
『史記』の人間学	※1775
事業再生と敗者復活	※1717
「しきり」の文化論	■1719
死刑と正義	■2183
試験に受かる「技術」	■2298
試験に出ない英単語	※1333
自己愛とエゴイズム	※955
自己愛と献身	※1124
自己愛な人たち	※2160
思考停止社会	■1978
時刻表ひとり旅	■620
「死語」コレクション	※1304
自己コントロール	※194
自己弛緩法	※859
自己実現の方法	※662
〈自己責任〉とは何か	※1403
仕事の技法	■2350
死後の世界	※1115
〈自己発見〉の心理学	1044
自己表現上達法	※960
自己不安の構造	※616
自己分析	※166
自己変革の心理学	1011
自己抑制と自己実現	※843
思索の源泉としての鉄道	■2285
自殺の心理学	1348
志士たちの詩	※552
史上最大の恐龍ウルトラサウルス	※1013
システム工学	※237
自然観察の方法	※557
実存主義入門	※168
知っておきたい薬の常識	※1530
知ってはいけない	■2439
知ってる古文の知らない魅力	■1841

古代東北と王権	※1559	ゴールキーパー論	※1539
古代日本の都	※351	ゴルバチョフの2500日	※1093
古代文明の発見	※222	これが現象学だ	1635
ゴダールと女たち	■※2118	これがニーチェだ	■1401
コーチングの技術	■1656	これがビートルズだ	1653
国会議員	※770	これがほんまの四国遍路	※1879
国家・個人・宗教	※1919	これからの〈古い〉	※1077
国家破産	※1010	これからの労使関係	※75
国境をこえるドイツ	※1107	これで通じる超・慣用英会話	※1415
孤独死のリアル	■2264	コロンブスは何を「発見」したか	
孤独なアメリカ人	※407		※1100
孤独な日銀	■2242	こんなにやくの中の日本史	※1833
孤独を生きぬく	■※777		
古都の近代百年	※381		
ことば遊びコレクション	※808		
言葉・狂気・エロス	※1002		
ことばと人間関係	※248		
言葉と脳と心	■2085		
言葉と無意識	■871	●さ	
言葉のアヴァンギャルド	※1214	財界の正体	■※2087
ことばの生活のために	※102	西鶴の世界	※201
ことばの未来学	※1086	西行と定家	※384
ことばの力学	※534	最強の経営学	※1552
「ことば」を生きる	※1187	最強の競馬論	■※1657
ことばを失った若者たち	※787	最強の駒落ち	※1757
子ども虐待	2076	「最強のサービス」の教科書	※2066
子どもに教えたい算数	1679	最強のファイナンス理論	※1647
〈子どもの虐待〉を考える	1567	最強のプロ野球論	■1510
〈子ども〉のための哲学	■1301	最高裁判所	※842
子どものトラウマ	■1376	西郷隆盛と明治維新	■2202
子どもをのばす自由教室	※681	西郷伝説	※262
ことわざの英語	※951	最高に贅沢なクラシック	■※2161
ことわざの知恵・法の知恵	※866	最後の遣唐使	※520
コナン・ドイル	※1061	最新・アメリカの軍勢力	※1594
子の世話にならずに死にたい	※1798	最新・アメリカの政治地図	※1714
小林一茶	※591	最新・北朝鮮データブック	※1636
珈琲の世界史	■2445	最新・世界地図の読み方	※1464
コピーライターの発想	※724	財政危機と社会保障	■2068
コミュニケーションの英語	※1164	埼玉県立浦和高校	■2470
子守り唄の誕生	※1190	最適社会の経済学	※130
コーランと聖書の対話	※1169	「在日」としてのコリアン	※1410
ゴリラとヒトの間	※1156	再入門の英語	※1318
		サイバネティックスの考え方	※181

現代人のための仏教	※238
現代人のための名著	※145
現代中国「解体」新書	■※2108
現代中国事典	※298
現代中国入門	※100
現代中国を見る眼	※600
現代哲学事典	※225
現代哲学の考え方	※174
現代ドイツ史入門	※1242
現代日本の問題集	※1726
現代の青年像	※142
現代美術コレクター	■2393
現代物理学の考え方	※125
現代文の書き方	※54
現代米語慣用句コーパス辞典	※720
現代米語コーパス辞典	※678
現代若者気質	※343
現代を生きる心理学	※3
現代をどうとらえるか	※219
原発社会からの離脱	■※2112
原発報道とメディア	■※2110
原発労働者	■2321
憲法「押しつけ」論の幻	※1850
憲法改正のオモテとウラ	■2251
憲法という希望	■2387
憲法を読む	※760
原理主義とは何か	※1669

●こ

恋と革命	※329
公会計革命	※1748
「高感度人間」を解説する	※822
好奇心と日本人	※275
交響曲の名曲・名盤	※1081
皇軍兵士の日常生活	■1982
甲骨文字の読み方	※1905
孔子	※1354
交渉力	※1509

交渉力の英語	※923
高層建築物の世界史	■2301
構造主義	※171
光太郎と朔太郎	※570
校長という仕事	2245
行動は進化するか	※418
幸徳秋水と片山潜	※290
業と宿業	※244
高度選択社会	※234
幸福の探求	※19
幸福の哲学	■2406
幸福論	1744
合理主義	※84
高齢化社会	※604
高齢社会・何がどう変わるか	※1236
厚労省と新型インフルエンザ	■2026
国語審議会	※1916
国語のできる子どもを育てる	■1468
国際共通語としての英語	■2104
国際正義の論理	1961
国際政治のキーワード	※1623
国際テロネットワーク	※1823
国際マナー戦争	※872
国際メディア情報戦	■2247
国税局査察部24時	■2407
国力とは何か	■2115
語源をつきとめる	※996
心が痛い	※700
心とは何か	※388
心にひびく短詩の世界	※1331
心のケア	※2121
心のマルチ・ネットワーク	※1519
心のメッセージを聴く	1241
古事記と日本書紀	1436
故事成語	※1074
ゴシックとは何か	※1487
50年前の憲法大論争	■1888
個性と適性の心理学	※744
古代インドの神秘思想	※529
古代オリエントの宗教	■2159
古代中国の虚像と実像	■2018

魏志倭人伝	※284	共和党と民主党	※1234
絆の構造	■2224	京童から町衆へ	※379
季節性うつ病	※1098	今日を生きる	※259
北国農民の物語	※137	巨樹	※801
北朝鮮データブック	※1359	居住のソフトウェア	※818
北朝鮮難民	※1621	拒食症と過食症	※1416
北朝鮮に潜入せよ	※1836	巨大機関投資家	※999
北朝鮮の外交戦略	※1526	巨大銀行の構造	※1157
「気」で観る人体	1126	ギリシア人の心	※58
「気」で読む中国思想	※1244	キリスト教英語の常識	■1386
気になるアメリカ雑誌	※793	キリスト教と日本人	※1551
「気」の構造	※352	キリスト教の人生論	※173
「気」の不思議	※1056	キリスト教は信じるか	※243
牙を研げ	■2421	キリスト教文化の常識	■1222
〈希望〉の心理学	※1577	キリストとイエス	■179
基本英単語を使いこなす	※1106	議論のウソ	■1806
金正日と日本の知識人	※1897	キング牧師とマルコム X	■1231
金正日の正体	※1953	銀行革命・勝ち残るのは誰か	※1496
きむら式 童話のつくり方	1708	銀行と証券	※942
キャラ化するニッポン	※1910	銀行問題の核心	■2252
キャラクター小説の作り方	※1646	禁酒法＝「酒のない社会」の実験	※1284
9・11後の現代史	■2459	近世の日本・新書日本史⑤	※427
9・11と日本外交	※1622	近代スポーツの誕生	※1512
旧約聖書の智慧	※1021	近代日本の宗教	※571
教育と国家	1742	近代の潮流・新書日本史⑦	※429
教育の力	■2254	近代文学の誕生	※395
京医師の歴史	※521	金融指標を読みこなす	※918
行革と規制緩和の経済学	※1266	金融ビッグバン	※1362
「行政」を変える!	※1734	金融不安	※1397
協奏曲の名曲・名盤	※1204		
競争社会の心理学	※193		
京都学派	■2466		
京都のおねだん	■2419		
教養としてのキリスト教	※34		
教養としての世界史	※80		
教養としての中国史	※63		
教養としての〈まんが・アニメ〉	※1553		
教養としての歴史学	※1385		
「教養」とは何か	■1358		
恐龍はなぜ滅んだか	※906		
恐竜ルネサンス	※1205		
		●く	
		「空気」と「世間」	■2006
		空洞化のウソ	※2163
		空と無我	997
		句会入門	※2074
		下り坂をそろそろと下る	■2363
		国の借金	※1339

カレーライスと日本人	※937	感動！ブラジルサッカー	※1835
カレーを作る子は算数もできる		カントの人間学	1383
	※1863	カントリーライフ讃歌	※817
河合塾マキノ流！ 国語トレーニング		カンヌ映画祭	※1199
	※1626	観念論ってなに？	※1758
為替市場の読み方	※1409	がんの常識	※1356
変わった世界 変わらない日本		観音・地藏・不動	※1326
	■2261	観音のきた道	※1341
変わる家族と介護	2082	「韓非子」の知恵	※853
変わる中国 変わるメディア	※1951	カンブリア紀の怪物たち・生命の歴史	
がん医療の選び方	※1682	①	1343
「考え方」の風土	※551	漢文入門	※156
考える技術・書く技術	327	ガン予防	※511
考える脳・考えない脳	※1525	管理社会	※223
環境ホルモン・何がどこまでわかったか		官僚	※12
	※1425	官僚の構造	※355
関係する女 所有する男	■2008	がんを生きる	■2030
「関係の空気」「場の空気」	■1844		
韓国	※831		
韓国人のしくみ	※1536		
韓国のグローバル人材育成力	■2194		
韓国のニューリーダー	※1009		
韓国は一個の哲学である	※1430		
看護婦の現場から	※1155		
漢字	※497		
漢字遊び	※783		
漢字雑談	■2200		
漢字と日本語	■2367		
漢詩のこころ	※1824		
漢字の字源	1193		
漢字の常識・非常識	※954		
漢字の知恵	※883		
漢詩の名句・名吟	1026		
漢字はすごい！	■2237		
感情はいかにしてつくられるか	※680		
漢詩をたのしむ	※1440		
漢字を楽しむ	※1928		
感性の限界	■2153		
感染症の時代	※1523		
環太平洋関係史	※170		
がんで死ぬのはもったいない	※1611		
がん闘病とコメディカル	※1894		
		●き	
		樹	※708
		消えゆく森の再生学	※1479
		記憶力	※443
		記憶力をよくする	※670
		企画力！	※1686
		利き酒入門	※1429
		聞き上手・話し上手	※535
		気球の歴史	※492
		企業数字を読む	※858
		起業戦略	※1615
		企業のなかでどう生きるか	※650
		企業のパラダイム変革	※890
		企業買収の焦点	※1816
		企業を高めるブランド戦略	1624
		〈聞く力〉を鍛える	■※1933
		汽車・電車の社会史	※713
		技術大国幻想の終わり	■2322
		騎手の一分	■2210
		気象で読む身体	※1047

怪談の心理学	※1223
回復力	■1979
解剖男	※1828
解放の世紀・新書東洋史①	※461
外務省「失敗」の本質	※1640
海洋開発	※81
科学vs.キリスト教	■2241
「科学技術大国」中国の真実	※2075
科学時代をどう生きるか	※123
科学者の言葉	※91
科学する麻雀	■1765
科学と人生	※83
科学の現在を問う	■1500
化学のすすめ	※131
科学の知恵 怒りを鎮める うまく謝る	■2444
科学の目	※504
化学兵器犯罪	※1698
華僑	※980
画狂人北斎	※325
科挙の話	※592
隠された神々	※405
核時代の生存条件	※220
核時代を生きる	※699
学生を思う	※67
核戦略ゲーム	※719
格闘する現代思想	※1040
核武装論	■※1884
核兵器と原発	■2458
核兵器のしくみ	■1700
学問の世界(上)	※515
学問の世界(下)	※516
学問のヒント	※1360
かぐや姫の誕生	※306
確率のはなし	※210
「家計破綻」に負けない経済学	※1750
かけがえのない人間	■1936
賭ける魂	※1942
数の不思議	※715
「数」をどう読むか	※691
化石の分子生物学	■2166
画像検査で読む人体	※1165

家族関係を考える	■590
華族総覧	※2001
「家族」と「幸福」の戦後史	※1482
家族とは何か	※367
家族の文化構造	※507
家族をめぐる法の常識	※1300
かたちの不思議	※741
刀の日本史	■2380
学級再生	※1561
学校という舞台	※893
学校は誰のものか	※1909
勝つための経営	■2151
活断層=地震の謎をさぐる	※548
加藤周一を記憶する	2310
カトリックと日本人	※338
カーニヴァル化する社会	■1788
可能性の探検	※111
カフェと日本人	■2287
歌舞伎 家と血と藝	■2221
歌舞伎の見方	※358
株式会社とは何か	※1388
株式市場	※904
株入門	※42
カペー朝	■2005
鎌倉新仏教の誕生	※1273
神風と悪党の世紀	※1243
上方の笑い	※716
神々と人間	※391
神々の花園	※204
神と女の民俗学	※626
神と仏	698
神と祭り日本人	※302
神なき時代	※431
〈神〉の証明	※1392
からだと心の健康百科	※1393
「からだ」と「ことば」のレッスン	1027
体の知性を取り戻す	■2280
からだの法則を探る	※18
ガラパゴス化する日本	■2038
カラー版 東京の森を歩く	■2420
カラー版ハッブル望遠鏡 宇宙の謎に挑む	※2011

- エロスの人間論 ————— ※239
 演技と演出 ————— ㊦1723
 演劇入門 ————— ㊦1422
 冤罪と裁判 ————— ㊦2157
 冤罪はこうして作られる — ㊦1145
 エンディングノートのすすめ ㊦2165
 円とドル ————— ※876
 エントロピーからの発想 ——— ※695
 「円」の経済学 ————— ※221
 「円」の経済学 第2版 ——— ※281
- お
- 御家騒動 ————— ※1137
 老いる家 崩れる街 ————— ㊦2397
 老いるということ ————— ㊦1865
 オイルマネー ————— ※1973
 黄金郷伝説 ————— ※1084
 黄金の五〇年代アメリカ ——— ※943
 王政復古 ————— ㊦2462
 王朝貴族物語 ————— 1208
 王朝人のこころ ————— ※392
 近江から日本史を読み直す — ㊦1892
 「大きなかぶ」はなぜ抜けた？ - ※1848
 大蔵省 ————— ※932
 大阪弁おもしろ草子 ————— ※786
 「お金」のダイナミズム ——— ※669
 オカルト ————— ※832
 沖縄からの出発 ————— ※1121
 オーク・ヴィレッジだより ——— ※737
 大佛次郎の「大東亜戦争」 ——— ※2019
 教えること、裏切られること - ※1663
 オスとメス=性の不思議 ——— ※1138
 オスマン帝国 ————— 1097
 「おたく」の精神史 ————— ※1703
 織田信長(天下人)の実像 ——— ㊦2278
 織田信長の城 ————— ㊦2405
 男と女の法律戦略 ————— ※1768
 大人のための「学問のススメ」 - ※1896
- 大人のための文章教室 ——— ㊦1738
 大人のひきこもり ————— ㊦2286
 おどろきの中国 ————— ㊦2182
 鬼平と出世 ————— ※1607
 オペラ歳時記 ————— ※1246
 思い出の人々 ————— ※65
 思いやりの日本人 ————— ※1886
 親子関係学 ————— ※611
 親子という病 ————— ㊦1962
 親子不全=〈キレない〉子どもの育て方
 ————— ※1505
 親と子の愛情と戦略 ————— ※2090
 親と子の食物アレルギー ——— ※2170
 親の介護をする前に読む本 — ㊦2403
 折口信夫を読み直す ————— ※1230
 オリープの罨 ————— ㊦2288
 音楽のヨーロッパ史 ————— ※1499
 温泉の医学 ————— ※1423
 温泉をよむ ————— ※2088
 女たちのアメリカ ————— ※1062
 女たちの大英帝国 ————— ※1407
 女の眼 ————— ※50
- か
- 海外経営の鉄則 ————— ※1902
 海外ひとり旅 ————— ※752
 海外ミステリ歳時記 ————— ※1211
 改革と維新・新書日本史⑥ ——— ※428
 会計が変わる ————— ※1612
 外交官 ————— ※1053
 外国語としての日本語 ————— 1200
 外国語をどう学んだか ————— ※1090
 介護ビジネスの罨 ————— ㊦2334
 介護保険・何がどう変わるか - ※1484
 会社コンプライアンス ——— ㊦1877
 会社を変える会議の力 ——— ㊦2240
 会社を変える戦略 ————— ※1642
 会社を変える分析の力 ——— ㊦2218

奪われる日本	※1853
馬の世界史	※1562
海の世界史	※1480
海の向こうから見た倭国	■2414
産む・産まない・産めない	※1876
古いと中世人	■2089
ウルトラマンが泣いている	■2215
運動神経の科学	■※1735

●え

AI	※920
AIの衝撃	■2307
英会話上達法	※470
英会話の常識・非常識	※1102
英会話のすすめ(上)	※39
英会話のすすめ(下)	※40
映画・快楽装置の仕掛け	※902
映画芸術への招待	※409
映画の創造	※731
映画をどう見るか	※463
英語遊び	※652
英語アナログ上達法	※1373
英語小論文の書き方	※1122
英語的思考	※990
英語と日本語のあいだ	■2086
英語—何をどう書くか	※748
英語の新しい学び方	※52
英語の語源	※480
英語の辞書を使いこなす	※810
英語の常識・非常識	※891
英語の世界・米語の世界	※1288
英語のできる子どもを育てる	※1533
英語の発想	※686
英語の名句・名言	※1402
英語の歴史	958
英語パズル	※966
英語表現のトレーニング	※994
英語表現をみがく〈動詞編〉	※1069

英語表現をみがく〈名詞編〉	※1176
英語メディアを使いこなす	※1186
英語力を身につける	※1566
エイズの常識	※1130
エイズの生命科学	※1290
映像のトリック	※804
英単語この意味を知ればこわくない	※1492
「英文法」を疑う	※1444
易の話	※303
エコシフト	※1868
エコロジー入門	※271
SISは企業を変える	※1063
SFキイ・パーソン&キイ・ブック	※815
SFを実現する	■2265
越境者的ニッポン	※1987
エッセーの書き方	※743
AT&TとIBM	※952
江戸奥女中物語	※1565
江戸古川柳の世界	※1185
江戸語・東京語・標準語	※1216
江戸三百年(1)	※415
江戸三百年(2)	※416
江戸三百年(3)	※417
江戸時代の設計者	■1830
江戸っ子の世界	※588
江戸の気分	■2065
江戸の小判ゲーム	■2192
江戸の性風俗	■1432
江戸の無意識	※1079
江戸遊里盛衰記	※1224
「FEN」を聴く	※673
AV空間の設計	※878
M & A	※1048
MBA	※1065
選ばれる男たち	■2002
選び取る「停年」	※1089
エリザベスI世	1486
エレクトロニクス	※109
エレクトロニクス社会	※703
エロイカの世界	※1589

1日20分! 英会話速習法 —— ※1601	●う
一休 —— ※477	ヴァルター・ベンヤミン —— ※1071
一生モノの英文法 —— ㊦2158	ヴァロワ朝 —— ㊦2281
一神教の誕生 —— ㊦1609	ワイトゲンシュタイン —— ※345
逸脱するエロス —— ※1014	ワイトゲンシュタインはこう考えた —— 1675
いつだって大変な時代 —— ㊦2114	ウイルスは生きている —— ㊦2359
一歩すすんだ英会話 —— ※939	ウイルスvs.人体 —— ※1370
偽りの大化改新 —— ※1843	ウィンストン・チャーチル —— ※43
イデオロギーとは何か —— ※341	ウィーン・ブルジョアの時代から世紀 末へ —— ※1276
伊東静雄 —— ※585	「上から目線」の時代 —— ㊦※2141
移動する大陸 —— ※373	ヴェネツィア —— 1111
生命あるすべてのものに —— 667	ウェブが創る新しい郷土 —— ※1873
いのちの科学 —— ※11	ウェブ×ソーシャル×アメリカ —— ㊦2093
eビジネスに強くなる —— ※1507	ウェブでの〈伝わる〉文章の書き方 —— ㊦※2187
今こそアーレントを読み直す ㊦1996	浮世絵は語る —— 2058
今こそマルクスを読み返す —— ㊦1001	「うき世」の思想 —— ※396
いますぐ使える実践ビジネス英語 —— ※1463	「動かない」と人は病む —— ㊦2207
今なぜ戦後補償か —— ※1578	動きが心をつくる —— ㊦2119
今を生きるための現代詩 —— ㊦2209	失われた化石記録・生命の歴史② —— ※1344
いまを生きるための思想キーワード —— ㊦2134	失われた大陸 —— ※672
イメージ体験の心理学 —— ※1117	失われた都市・島・民族 —— ※349
イメージを読みとる —— ※781	失われた文明 —— ※274
癒しのランニング —— ㊦2239	うそとパラドックス —— ※881
イルカと人間 —— ※310	うその心理学 —— ※36
岩倉使節団 —— ※487	うたと日本人 —— ※1513
岩崎彌太郎 —— ※2051	宇宙空間を開く —— ※214
インサイダー取引 —— ※1068	宇宙時代の常識 —— ※68
インターネット完全活用編 大学生の ためのレポート・論文術 —— ※1677	宇宙生物学で読み解く「人体」の不思議 —— ㊦2226
インタビュー術! —— ㊦1627	宇宙はなぜこのような宇宙なのか —— ㊦2219
インテリアの近代 —— ※1058	宇宙論がわかる —— ※1051
インド人の「力」 —— ㊦2354	美しい日本の私 —— 180
インド対パキスタン —— ※1413	うつ病の現在 —— ㊦※2211
インドの歴史・新書東洋史⑥ —— ※456	うつ病の時代 —— ※622
インフレとデフレ —— ※1016	うつ病をなおす —— ※1752
	奪われた「三種の神器」 —— ㊦※2022

アメリカ文学史のキーワード - ※1521
 アメリカ文学のレッスン ———— 1501
 アメリカ・メディア・ウォーズ
 ————— 2227
 アメリカを動かす思想 ———— 2179
 アメリカン・アート ———— ※580
 アメリカン・ウーマン ———— ※537
 アメリカン・スピリット ———— ※615
 アメリカン・ヒーロー ———— ※1148
 「誤り」の心理を読む ———— ※836
 アーユルヴェーダの知恵 ———— ※1237
 アラビアンナイトの世界 ———— ※241
 アラブとイスラエル ———— 1085
 アラブ・ムスリムの日常生活 ※1112
 アルペール・カミュ ———— ※260
 アンコール・ワット ———— ※1295
 暗示と催眠の世界 ———— ※206
 安楽死と尊厳死 ———— 1141

●い

「いい会社」とは何か ———— ※2061
 井伊直虎 ———— 2394
 イエスとその弟子 ———— ※523
 いかに愛するか ———— ※625
 いかに生き、いかに学ぶか ———— ※98
 いかに生きるか ———— ※445
 怒らぬ若者たち ———— ※566
 いきいきと生きよ ———— 157
 いきいきと手紙を書く ———— ※1467
 「生きがい」と「豊かさ」 ———— ※619
 生き方のコモンセンス ———— ※766
 生き方の人類学 ———— ※1655
 生きづらい〈私〉たち ———— 1740
 生きていることの科学 ———— 1846
 「生きている」を見つめる医療 - 1881
 生き残った帝国ビザンティン - ※1032
 生きものの世界 ———— ※544
 イギリス王室物語 ———— 1283

イギリス型〈豊かさ〉の真実 1976
 イギリス貴族 ———— ※1078
 イギリス近代史講義 ———— 2070
 イギリス紳士のユーモア ———— ※1023
 イギリス人と日本人 ———— ※496
 イギリス名宰相物語 ———— ※1452
 生きる希望を忘れた若者たち
 ————— 2142
 生きることと愛すること ———— ※503
 生きることと考えること ———— 240
 生きることと読むことと ———— ※1192
 生きるための幸福論 ———— ※593
 生きるということ ———— ※299
 池田屋事件の研究 ———— ※2131
 居酒屋の世界史 ———— 2120
 石川啄木 ———— ※578
 意識革命 ———— ※31
 意識と存在の謎 ———— ※1317
 〈意識〉とは何だろうか ———— 1439
 意思決定の統計学 ———— ※268
 いじめの構造 ———— 1984
 異常とは何か ———— ※2049
 異常の構造 ———— 331
 異常の心理学 ———— ※184
 イースター島の謎 ———— ※481
 出雲神話 ———— 444
 イスラムからの発想 ———— ※629
 「イスラム国」と「恐怖の輸出」 2327
 イスラム聖者 ———— ※1291
 イスラームとは何か ———— 1210
 イスラムの世界 ———— ※246
 「イスラムvs.西欧」の近代 ———— ※1832
 イスラーム復興はなるか・新書イスラ
 ムの世界史③ ———— ※1175
 偉大な芸術家たち ———— ※127
 イタリア人 ———— ※547
 イタリア・都市の歩き方 ———— ※1347
 イタリア・ルネサンス ———— ※1557
 異端審問 ———— ※1312
 市川新之助論 ———— ※1654
 一日一禪(上) ———— ※473
 一日一禪(下) ———— ※474

書目索引

数字は書目番号です。

※は品切れの書目で、解説文は掲載していません。

■マークがついている作品は、電子版配信中です(2018年3月現在)。

●あ

- ああアメリカ ————— ※305
- 愛国者は信用できるか —■※1842
- 愛する家族を喪うとき ————— ※1368
- 愛すること信ずること ————— ※279
- アイデアを形にして伝える技術
————— ■2103
- 相手に「伝わる」話し方 ————— ■1620
- アイデンティティの心理学 ————— 1020
- 愛と狂瀾のメリークリスマス ■2401
- 愛と暴力の戦後とその後 —■2246
- 愛に生きる ————— ■86
- 愛について ————— ※272
- アイヌ学入門 ————— ■2304
- アインシュタイン相対性理論の誕生
————— ■1704
- アインシュタインの発想 ————— ※618
- アガペーの愛・エロスの愛 —※1272
- 明るく乗りきる男と女の更年期
————— ※1591
- 赤ん坊から見た世界 ————— ※1202
- 悪女入門 ————— 1667
- アクティブラーニング ————— ■2471
- 悪の対話術 ————— 1517
- 悪の読書術 ————— ※1684
- 悪の恋愛術 ————— 1563
- 悪魔の話 ————— ※1039
- 曙 ————— ※191
- アサーション入門 ————— ■2143
- アジアからの直言 ————— ※377
- アジア菜食紀行 ————— ※1421

- アジアの歩き方 ————— ■※1576
- アジアのビッグビジネス ————— ※948
- アジアの見方 ————— ※69
- アジア文化探検 ————— ※139
- 明日、機械がヒトになる —■2370
- 明日のプランニング ————— ■2302
- 味と文化 ————— ※486
- アステカ文明の謎 ————— ※533
- 「遊び」の文化人類学 ————— ※476
- あたたかい家族 ————— ※800
- 頭が良くなる議論の技術 —■2206
- 新しい「教育格差」 ————— ■1993
- 新しい左翼入門 ————— ■2167
- 新しい世界史の見方 ————— ※288
- 新しいソ連経済 ————— ※158
- 新しい福沢論吉 ————— ※1382
- 新しい仏教のこころ ————— ■※117
- 新しいヘーゲル ————— ■1357
- 新しいリハビリテーション ————— 1706
- アトランティス大陸の謎 ————— ※328
- あなたの会社の評判を守る法 —※1913
- 「あなた」の哲学 ————— ※2032
- 兄小林秀雄との対話 ————— ※215
- アーバン・アウトドア・ライフ ※736
- 安倍官邸の正体 ————— ■2294
- アボトースとは何か ————— ※1308
- 「天下り」とは何か ————— ■※2028
- アメリカ・インディアン ————— ※543
- アメリカ外交 ————— ■※1774
- アメリカ合衆国大統領 ————— ※900
- アメリカ経済は甦るか ————— ※931
- アメリカ経済を読む ————— ※976
- アメリカ現代史 ————— ※232
- アメリカ情報コレクション —※727
- アメリカ人 ————— ※115
- アメリカ人と日本人 ————— ※573
- アメリカ大統領の嘘 ————— ※1725
- アメリカ帝国の終焉 ————— ■2413
- アメリカ南部 ————— ※1253
- アメリカのグローバル化戦略 —※1676
- アメリカの軍事戦略 ————— ※1319
- アメリカは語る ————— ※701